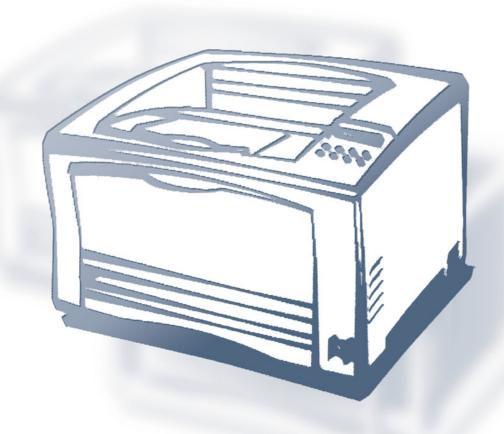
レーザープリンター

DocuPrint 181/211

ドキュプリント

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

はじめに

このたびは、DocuPrint 181/211をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、DocuPrint 181/211で印刷するための準備、トラブルの対処方法や消耗品の交換方法などを記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
本書は、接続対象となるコンピューター、およびそれらのシステムで動作するOS（オペレーティングシステム）、アプリケーションソフトの基本操作や概念について、理解されていることを前提に記述しています。これらの操作については、それぞれの関連の説明書を参照してください。

富士ゼロックス株式会社

本機器は社団法人日本事務機器工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス1のレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ご注意

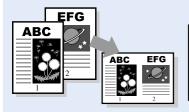
① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全規制法（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

DocuPrint 181/211では、こんな印刷ができます

次の項目について詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

オンラインヘルプの使い方、目次については、「3.4 オンラインヘルプで説明していることについて」を参照してください。

まとめて1枚

1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。

画像繰り返し

1ページ分の原稿を、1枚の用紙に繰り返し印刷します。

はがき、封筒など

官製はがき、封筒などの特殊紙に印刷できます。

OHP合紙

OHPフィルムを1枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。

快速印刷

快速で印刷します。文書のレイアウトを確認するときなどに使用します。

IDプリント

印刷物の特定の位置に、ユーザーIDを印刷します。

バナーシート

バナーシートとは、印刷した日付やファイル名などが印刷されたものです。

Aさん　Bさん　Cさん

拡大連写

ポスターなどを作製するときに使用します。

スタンプ

印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。

両面印刷

用紙の両面に印刷します。
（両面印刷モジュール（オプション）装着時）

小冊子作成

正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。
（両面印刷モジュール（オプション）装着時）

次の項目について詳しくは、本書、または『ネットワークガイド』（net.pdf）を参照してください。

受信制限

TCP/IPプロトコルを使用する場合、印刷を受け付けるIPアドレスを制限できます。

Status Messenger

TCP/IP環境で使用する場合、ユーザーと本機の間で電子メールを使った情報の送受信ができます。

知りたいことは、何ですか

どの説明書を参照すればいいかわかるように、DocuPrint 181/211の説明書の構成について次ページで説明します。ページをめくってください。

トラブルが発生したら

- EPカートリッジ（ドラム/トナーカートリッジ）を交換する→P.174
- 操作パネルにエラーメッセージが表示されている→P.151
- ランプが点灯、点滅、または消えている→P.129
- 印刷に汚れ、抜けが発生する→P.136
- 紙づまり→P.160

こんなときは、この説明書を参照してください

プリンターを設置する

セットアップガイド

1. プリンターを梱包から取り出し、設置します。

●プリンター本体を設置する
●オプション品がある場合は、取り付ける
●ケーブルを接続する

取扱説明書

2. コンピューター側の設定をします。

ローカルプリンターの場合

●プリンタードライバーをインストールする
→「1.1　プリンター環境の設定の流れ」
「第2章　プリンタードライバーのインストール」

ネットワークプリンターの場合

●ネットワークの設定をする
→「1.1　プリンター環境の設定の流れ」
「1.2　使用環境を設定する」
＊NetWare環境、Port9100、IPP(インターネット印刷)などの設定については、『ネットワークガイド』を参照してください
●プリンタードライバーをインストールする
→「第2章　プリンタードライバーのインストール」

3. プリンターの設置は、これで終了です。
あとは、必要に応じて説明書を参照してください。

PDF簡単印刷ガイド

これ以降の説明書は、「Software Pack」CD-ROMに格納されています。
＊PDFファイルで格納されている説明書を、参照したり、印刷したりするには、Adobe® Acrobat® Readerが必要です。Adobe Acrobat Readerは、「Software Pack」CD-ROMに格納されています。必要に応じて、コンピューターにインストールしてください。

ネットワークガイド
(net.pdf)

●ネットワークの設定について、詳しく知りたい
●NetWare環境、Port9100、IPP(インターネット印刷)などの設定をする

ソフトウェアパック
操作ガイド
(Manual.exe)

●「セットアップディスク」を作成し、プリンタードライバーのインストール作業を軽減する
＊ ネットワーク上に複数の同じOSのWindowsマシンがある場合に「セットアップディスク」は有効です

プリンター設置後

便利な機能を追加する	オプション品を追加する	その他 こんな説明をしています
	●追加したオプション品を取り付ける	
	●プリンタードライバーで、オプション品構成を変更する →「3.7　オプション品の構成を変更する」	●プリンターの基本操作 ・印刷の中止 ・オンラインヘルプについて ・印刷方法、など ●用紙について ・使用できる用紙と、できない用紙 ・用紙のセット方法、など ●プリンター操作パネルについて ●トラブル対処 ●EPカートリッジの交換 ●オプション品、消耗品の紹介 ●主な仕様
		●PDFダイレクトプリント機能について
CentreWare Simple Status Notification ネットワーク上のプリンターを監視し、その結果を、ダイアログボックスやアイコンの形状でコンピューター側に表示するソフトウェアです ●CentreWare SSNをインストールする CentreWare SSNを使用する		●ネットワークに関するトラブル対処 ●TCP/IP Direct Print Utilityのアンインストール方法 ●受信制限の設定 ●Status Messengerの設定
		●「Software Pack」CD-ROMのファイル構成 ●プリンタードライバーのアンインストール方法

目　次

第 4 章 使用できる用紙とセットの仕方

第 5 章　操作パネルについて

第 6 章　困ったときには

第 7 章　用紙が詰まったときには

第 8 章　消耗品の交換と日常の取り扱い

付　録

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足　補足事項を記述しています。
参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
参照「　　」：参照先は、本書内です。
参照『　　』：参照先は、本書ではなく、ほかの説明書です。
「　　」　：ファイル名やウィンドウ、ダイアログボックス、入力内容、キーボードのキーを表します。
［　　］　：ウィンドウ内のメニュー、ダイアログボックス内の項目、および各種ボタン、操作パネルのボタンを表します。
【　　】　：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージや項目を表します。

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、されていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタン（オプションボタン）がチェックされている項目が、選択されている項目です。

⑥ 本文中では、「［××］をクリックしたあとに、［○○］をクリックします。」を、［-］を使用して略して記述している場合があります。
例：［スタート］メニューの［プログラム］から、[Fuji Xerox] - [Simple Status Notification] - [Simple Status Notification] をクリックします。

⑦ 本文中では、製品の名称を次のように略して記述している場合があります。

製品の名称	略　称
カセットフィーダー（A3/250 枚）	カセットフィーダー
カセットフィーダー（A4/500 枚）	カセットフィーダー
増設 RAM モジュール（128MB）	増設 RAM モジュール
増設 RAM モジュール（256MB）	増設 RAM モジュール
パラレルインターフェイスケーブル（PC AT 用）フルピッチ	パラレルケーブル
パラレルインターフェイスケーブル（PC98 用）フルピッチ　36P	パラレルケーブル
パラレルインターフェイスケーブル（PC98 用）ハーフピッチ　36P	パラレルケーブル

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

設置および移動時の注意

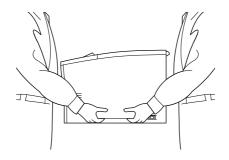
⚠注意

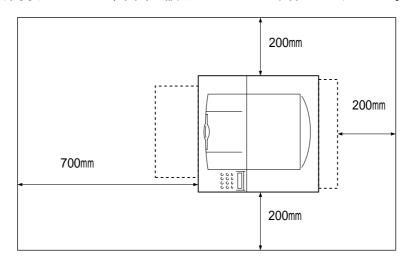
高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

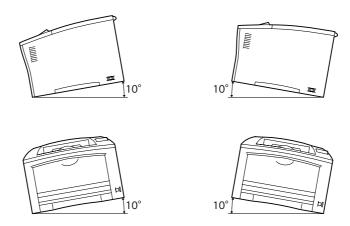
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は、重さ 21.4kg（本体、用紙カセット（A3/250 枚）、EP カートリッジ含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械の重さは 21.4kg（本体、用紙カセット（A3/250 枚）、EP カートリッジ含む）です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。

機械を持ち上げるときは、2 人で機械正面（操作パネル側）および背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを、両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。
機械を下ろすとき、手を挟むおそれがあります。

機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

機械の左右の側面および背面には通気口があります。機械は壁などから 200㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。
また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつもよい状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度 10 ～ 32 ℃　　　湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
  温度が 32 ℃のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

  補足

  冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、湿度や温度が低いところから高いところにプリンターを移動した場合は、プリンター内部に水滴が付着し（結露）、印字品質が低下することがあります。結露が生じた場合には、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

- **直射日光にあたる場所には機械を置かないでください。故障の原因になることがあります。**

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は 100V、8.5A となっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグとともに出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

電気を通しやすい紙(折り紙・カーボン紙・コート紙など)は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

1 か月に一度は機械の電源スイッチ切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

● 受信障害について

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、機械の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 機械とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- 機械とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 機械とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類が入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

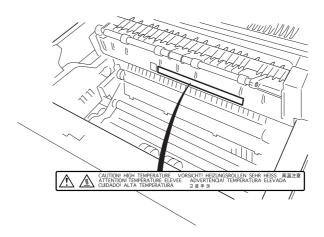
万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

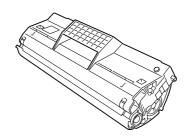
機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この装置は、レーザーの国際規格 IEC60825-1(Class 1)に準拠しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは装置内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

節電モード（モード 1）（モード 2）について

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する節電機能をもっています。
節電モードには、モード 1 とモード 2 があります。
本機は、節電モードに移行していても、印刷を指示してから印刷が開始されるまでの待ち時間が少ないことが特長です。エネルギー節約のため、節電モードの使用をお勧めします。
工場出荷時には、この機械が 1 分以上使用されなかった場合に、機械の働きを部分的に抑える節電モード（モード 1）に移行する設定になっています。節電モード（モード 1）に移行したあと、この機械が 9 分以上使用されなかった場合に、機械の働きを部分的に休止する節電モード（モード 2）に移行する設定になっています。これらの設定は変更できます。

参照

詳細については「第 5 章　操作パネルについて」を参照してください。

補足

オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合は、節電モード（モード 2）の機能は無効です。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 紙幣 (外国紙幣を含む)、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン件、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
   - □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - □ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図面、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
   - (1)複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
   - (2)改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
   - (3)送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線 (インターネットを含む) を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

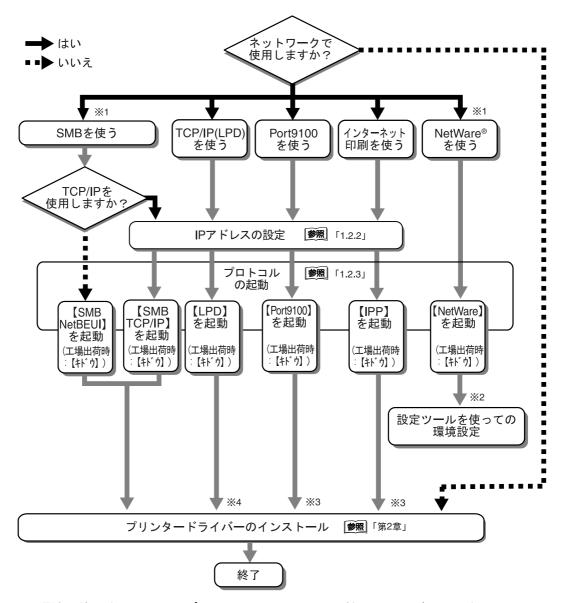
   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - □ 学校教科書への掲載。ただし、権利者への補償金が必要です。
   - □ 学校その他教育機関における複製。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - □ 試験問題としての複製。ただし、権利者への補償金が必要です。

使用環境の設定

1章

1.1 プリンター環境の設定の流れ

本機の環境を設定する流れについて説明します。
下の図に沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。

参照
本機で使用できる環境については、「1.2.1　使用できる環境について」を参照してください。

※１　これらの環境で使用するには、オプション品のネットワーク拡張カードが必要です。
※２『ネットワークガイド』の「NetWare 環境での設置」を参照してください。
※３『ネットワークガイド』の「TCP/IP 環境での設置」を参照してください。
※４ Windows NT 4.0 や Windows 2000/Windows XP では、共有プリンターを作成できます。共有プリンターを作成する方法、およびクライアントコンピューターから共有プリンターを使用して印刷する方法については、『ネットワークガイド』の「TCP/IP 環境での設置」を参照してください。

1.2 使用環境を設定する

本機を使用する環境を確認し、必要な設定をします。

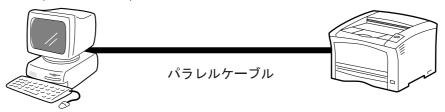
1.2.1 使用できる環境について

本機をコンピューターに直接接続すると、ローカルプリンターとして使用できます。
また、本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。本機は、異なったネットワーク環境でも、1 台のプリンターを共有できます。

ローカル

本機とコンピューターを、パラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続して印刷します。

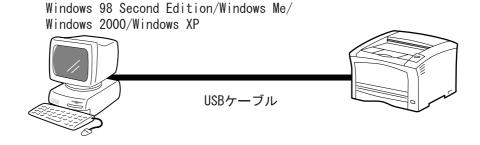
<パラレルケーブル接続の場合>

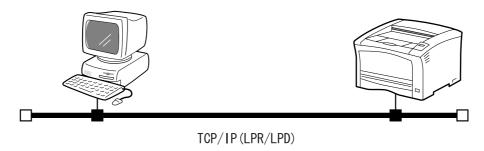
Windows 95/Windows 98/Windows Me
Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP

注記
パラレルケーブルは、弊社が提供するオプション品を使用してください。弊社のオプション品以外のケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあり、正常に印刷できない場合があります。

< USB ケーブル接続の場合>

次の条件を満たす場合は、本機と USB ケーブルで接続して印刷できます。ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

- **Windows Me/Windows 98 Second Edition/Windows 2000/Windows XPの各プレインストールモデルのコンピューター**

Windows 98 Second Edition/Windows Me/
Windows 2000/Windows XP

TCP/IP（Windows NT® 4.0/Windows® 2000/Windows® XP）

本機は、TCP/IP(LPD) プロトコルをサポートしているため、Windows NT 4.0 や Windows 2000/Windows XP から、LPR で印刷データを直接送信して、印刷できます。この場合は、本機と Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP コンピューターに、IP アドレスの設定が必要です。

■Windows 2000/Windows XP では、次のような印刷もできます

- 本機は、Port9100 をサポートしているため、設定したポートに印刷データを直接送信して印刷できます。
- 本機は、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。

TCP/IP (Windows® 95/Windows® 98/Windows® Me)

TCP/IP 環境で、Windows 95/Windows 98/Windows Me から印刷する場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。
TCP/IP Direct Print Utility とは、コンピューターからネットワーク上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。この場合、本機と Windows 95/Windows 98/Windows Me コンピューターに、IP アドレスの設定が必要です。
また、TCP/IP Direct Print Utility のプロトコルは、LPD または Port9100 が使用できます。

■IPP が利用できる Windows Me では、次のような印刷もできます

本機は、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。

SMB（Windows ネットワーク）

オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けると、本機が SMB(Server Message Block) プロトコルを利用できるようになります。SMB とは、Windows 95 や Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMB プロトコルを使用すれば、サーバーは必要ありません。印刷データを直接送信し、印刷できます。
SMB のトランスポートプロトコルは、NetBEUI、または TCP/IP が使用できます。

Windows 95/Windows 98/Windows Me/
Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP

NetBEUI*1またはTCP/IP

*1 ：NetBEUIは、Windows XPではサポートされていません。

NetWare®

オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けると、本機が IPX/SPX プロトコルを利用できるようになります。ネットワーク OS として Novell 社製の NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J/4.2J/5.0J を使用している環境で、NetWare クライアントコンピューターから印刷できます。

NetWareクライアント　NetWareサーバー

NetWare(IPX/SPX)　NetWare(IPX/SPX)

こんなときはネットワークガイドを参照してください

本機は、次のようなネットワーク機能も持っています。これらについては、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

■各ネットワーク環境では、次のような対応ができます。

- TCP/IP 環境では ....本機の IP アドレスを、DHCP サーバーで管理したい。
  WINS サーバーに本機を登録したい。

注記

DHCP で運用したい場合には、IP アドレスが変更されることがあるので、定期的に IP アドレスを確認して使用する必要があります。また、WINS 環境下で DHCP を使う場合は、オプション品のネットワーク拡張カードが必要です。

- SMB 環境では ....ホスト名やワークグループ名を任意に変更したい。

■TCP/IP 環境では、CentreWare Internet Services が使用できます。

Web 画面から本機の状態確認や、本機の設定ができます。
この機能を「CentreWare Internet Services」と呼びます。

■TCP/IP と NetWare の環境で、SNMP エージェント機能を持っています。

SNMP エージェント機能を起動する (工場出荷時：起動) ことによって、各種 SNMP マネージャーから、本機を管理できます。
また、CentreWare Simple Status Notification ツールを使用して、ネットワーク上のコンピューターから、本機の状態を確認できます。

■TCP/IP 環境では、電子メールを送受信できます。

企業内のネットワークやインターネットを経由して、ユーザーと本機の間で電子メールを使った情報の送受信ができます。この機能を「Status Messenger」と呼びます。

1.2.2 IP アドレスを設定する

ここでは、操作パネルを使用して、IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する方法を説明します。手順は次のとおりです。

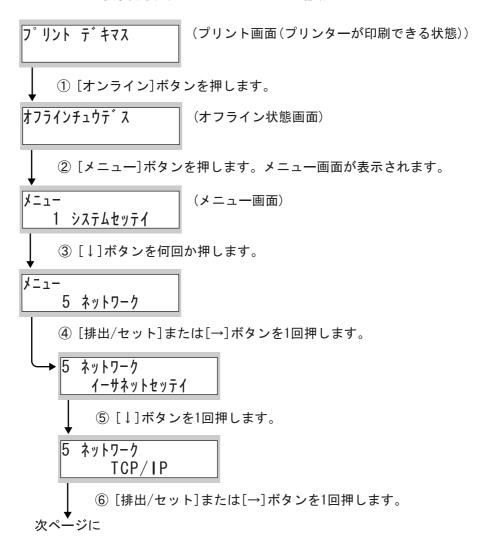
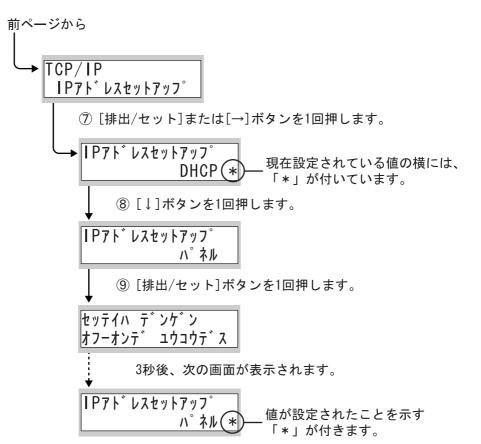
注記

- IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
- 本機の TCP/IP 設定において、クラスレスアドレスは使用できません（CIDR 未対応）。

参照

- 「5.3.5　ネットワーク」
- 操作パネルの操作方法については、「5.2　メニュー画面の基本操作」、および「付録 B　操作パネルメニュー一覧」を参照してください。

IP アドレスの取得方法を【パネル】に設定する

次ページに

⑩ [取消/中止]または[←]ボタンを1回押します。
下段に【IPアドレスセットアップ】が表示されている画面に戻ります。

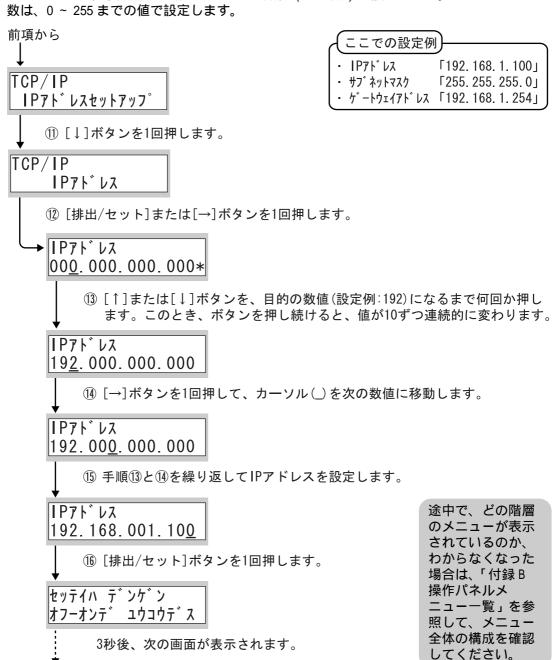
注記

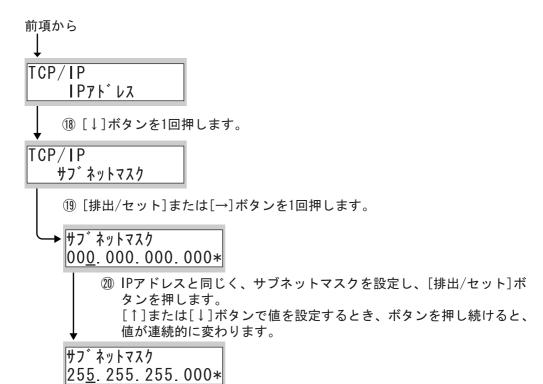
プリンターの電源は、ゲートウェイアドレスまで設定してから、最後に入れ直します。このまま先に進んでください。

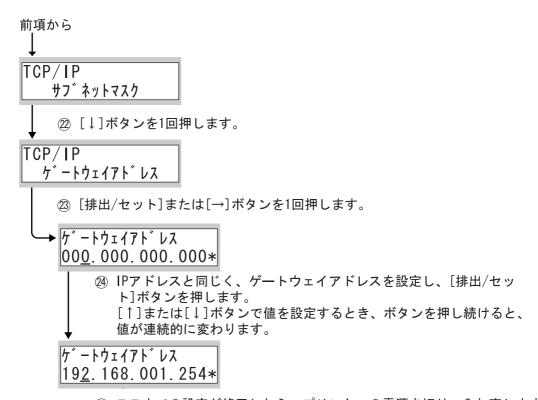
IP アドレスを設定する

補足

IP アドレスは、小数点で区切られた 4 つの数値 (10 進数) を設定します。それぞれの 10 進数は、0 ～ 255 までの値で設定します。

途中で、どの階層のメニューが表示されているのか、わからなくなった場合は、「付録B 操作パネルメニュー一覧」を参照して、メニュー全体の構成を確認してください。

⑰ [取消/中止]または[←]ボタンを1回押します。
下段に【IPアドレス】が表示されている画面に戻ります。

サブネットマスクを設定する

㉑ [取消/中止]または[←]ボタンを1回押します。
下段に【サブネットマスク】が表示されている画面に戻ります。

ゲートウェイアドレスを設定する

㉕ ここまでの設定が終了したら、プリンターの電源を切り、入れ直します。

1.2.3　プロトコルを設定する

注記

工場出荷時には、【Status Messenger】と【FTP】以外のプロトコルは、【キドウ】に設定されています。本機を購入して、はじめてネットワークの設定をする場合には、ここでの操作は必要ありません。
これでプリンター側の設定は終了です。「1.2.4　設定を確認する」に進んでください。

ネットワークプリンターで使用する場合は、本機側で、設置するネットワーク環境に応じたプロトコルを起動しておく必要があります。

- **TCP/IP(LPD) の場合　→〔LPD〕プロトコル**
- **Port9100 の場合　→〔Port9100〕プロトコル**
- **IPP の場合　→〔IPP〕プロトコル**
- **SMB（トランスポートプロトコル :TCP/IP)　→〔SMB TCP/IP〕プロトコル**
- **SMB（トランスポートプロトコル :NetBEUI）→〔SMB NetBEUI〕プロトコル**
- **NetWare の場合　→〔NetWare〕プロトコル**

また、SNMP エージェント機能を使用するには、本機側でネットワーク環境に合わせたプロトコルを起動する必要があります。

- **TCP/IP 環境の場合　→〔SNMP UDP/IP〕プロトコル**
- **NetWare 環境の場合　→〔SNMP IPX〕プロトコル**

手順は次のとおりです。

補足

本体と電子メールの送受信をしたい場合には、同様の手順で、【Status Messenger】プロトコルを起動してください。

補足

ここでは、オプション品のネットワーク拡張カードを本機に取り付けたときの画面例で説明しています。ネットワーク拡張カードを取り付けていないときは、手順中にある次のプロトコルは表示されません。

- SMB TCP/IP
- SMB NetBEUI
- NetWare
- SNMP IPX

参照

操作パネルの操作方法については、「5.2　メニュー画面の基本操作」、および「付録 B　操作パネルメニュー一覧」を参照してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
（プリント画面（プリンターが印刷できる状態））
① [オンライン]ボタンを押します。
ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ
（オフライン状態画面）
② [メニュー]ボタンを押します。メニュー画面が表示されます。
ﾒﾆｭｰ
1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ
（メニュー画面）
③ [↓]ボタンを何回か押します。
ﾒﾆｭｰ
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
④ [排出/セット]または[→]ボタンを1回押します。
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
ｲｰｻﾈｯﾄｾｯﾃｲ
⑤ [↓]ボタンを何回か押します。
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
⑥ [排出/セット]または[→]ボタンを1回押します。

次ページに

前ページから
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
LPD
[→]ボタン
[←]ボタン
⑦ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
Port9100
⑧ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
IPP
⑨ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SMB TCP/IP
⑩ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SMB NetBEUI
⑪ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
NetWare
⑫ [↓]ボタンを2回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SNMP UDP/IP
⑬ [↓]ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SNMP IPX
プロトコルを起動する
❶ [排出/セット]ボタンを1回押します。xxxの部分には、プロトコル名が表示されます。
XXX
ﾃｲｼ *
❷ [↓]ボタンを1回押します。
XXX
ｷﾄﾞｳ
❸ [排出/セット]ボタンを1回押します。【セッテイハ デンゲン オフ-オンデ ユウコウデス】と3秒間表示されたあと、次の画面になります。
XXX
ｷﾄﾞｳ *
❹ ほかのプロトコルを起動する場合は[取消/中止]または[←]ボタンを1回押し、次の手順に進みます。
設定を終了する場合は、手順⑭に進んでください。
⑭ プリンターの電源を切り、入れ直します。

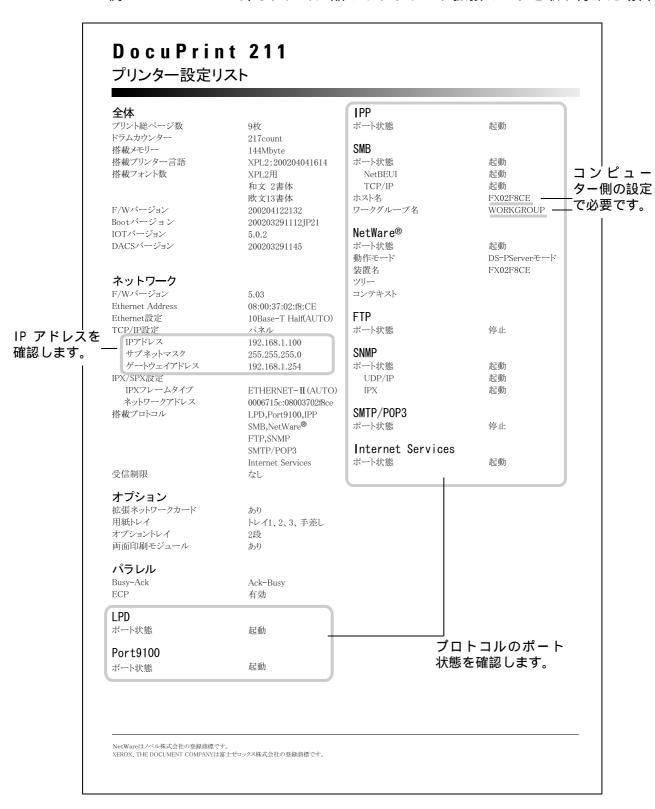
1.2.4　設定を確認する

**プリンター設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。
また、プリンター設定リストには、コンピューター側の設定をするときに必要な情報も印刷されます。あわせて確認しておきます。**

参照
プリンター設定リストの印刷方法は、「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」を参照してください。

プリンター設定リストの印刷例

次ページの例を参考に、内容を確認してください。

例:DocuPrint 211で、オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けた場合

2章

プリンタードライバーのインストール

2.1 プリンタードライバーについて

本機の設置が終了したら、コンピューター側の設定をします。
ローカルプリンターで使用する場合は、本機を接続しているコンピューターに、ネットワークプリンターで使用する場合はネットワークに接続しているコンピューターに、プリンタードライバーをインストールします。
また、TCP/IP環境に設置してあるプリンターに、Windows 95/Windows 98/Windows Meから直接印刷する場合は、Windows上にTCP/IP Direct Print Utilityをインストールします。

2.1.1 プリンタードライバーとは

プリンタードライバーとは、コンピューター上の印刷データや指示を、プリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。
DocuPrint 181/211は、次のコンピューター（OS）用のプリンタードライバーを用意しています。

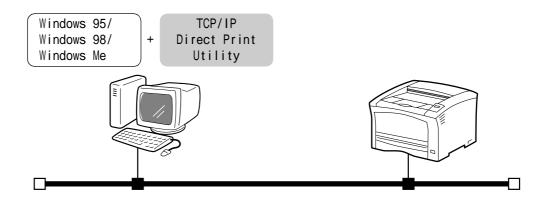
- **Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版用**
- **Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版用**
- **Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版用**
- **Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版用（Service Pack 4以上）**
- **Microsoft® Windows NT® Server 4.0日本語版用（Service Pack 4以上）**
- **Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版用**
- **Microsoft® Windows® 2000 Server日本語版用**
- **Microsoft® Windows® XP Professional日本語版用**
- **Microsoft® Windows® XP Home Edition日本語版用**

プリンタードライバーは、「Software Pack」CD-ROM内に収録されています。同CD-ROM内のセットアップメニュー（Windowsの場合）を使用して、インストールします。

補足
Windows NT 4.0用のプリンタードライバーは、Intel x86版NT 4.0に対応しています。

2.1.2 TCP/IP Direct Print Utility とは

FX TCP/IP Direct Print Utility（以降、TCP/IP Direct Print Utility と記載します）とは、コンピューターからネットワーク上の本機に、サーバーなどを経由しないで印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。
TCP/IP Direct Print Utility は、「Software Pack」CD-ROM 内に収録されています。
この説明書では、TCP/IP 環境で Windows 95/Windows 98/Windows Me から印刷する場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用することを前提に説明します。

参照
TCP/IP Direct Print Utility についての詳細は、同 CD-ROM 内の『ネットワークガイド　第 2 章　TCP/IP 環境での設置』（PDF ファイル「net.pdf」）を参照してください。

注記
- TCP/IP Direct Print Utility をインストールするコンピューターには、次の条件が必要です。
  コンピューター名を ASCII 文字（1 バイトの大小英文字 / 数字 / ハイフン（-）/ アンダーバー（_））で設定していること
  コンピューター名を、ASCII 文字以外で設定している場合は、［コントロールパネル］ウィンドウの［ネットワーク］の［ユーザー情報］タブで変更してください。
- TCP/IP プロトコルを組み込んでいること
  ［コントロールパネル］ウィンドウの［ネットワーク］を開いて、次のことを確認してください。
  ・**Windows 98/Windows Me の場合**
  ［ネットワークの設定］タブの［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP］があること
  ・**Windows 95 の場合**
  ［ネットワークの設定］タブの［現在のネットワーク構成］に［TCP/IP］があること

  参照
  ［TCP/IP］がない場合は、『ネットワークガイド』（PDF ファイル「net.pdf」）、または Windows 関連の説明書を参照して追加してください。

2.2 プリンタードライバーをインストールする (Windows 95/Windows 98/Windows Me)

ここでは、Windows 95/Windows 98/Windows Me に、プリンタードライバーをインストールする手順について、Windows 98 に DocuPrint 211 プリンタードライバーをインストールする例で説明します。ネットワークプリンターとして使用する場合は、コンピューターに、使用するネットワーク環境のクライアント設定が済んでいることが前提になります。

2.2.1 プリンタードライバーをインストールする

操作手順

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続している場合は、Windows 98 の起動後、次のダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は、［キャンセル］をクリックして、ダイアログボックスを閉じてください。

3 NetWare 環境の場合は、目的のファイルサーバーにログインします。

4 「Software Pack」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

自動的に、言語選択のためのダイアログボックスが表示されるので、［Japanese］を選択します。

[セットアップメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

補足

言語選択のためのダイアログボックスが自動的に表示されない場合は、CD-ROM 内の [Install_j.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

5 ［プリンタードライバーインストール］をクリックします。

「ドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

6 ［機種選択］で該当するプリンターが選択されていることを確認し、［プリンタドライバのインストール］をクリックします。

例：DocuPrint 211 を選択した場合

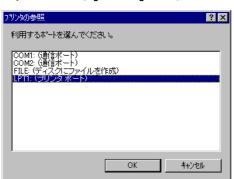
7 「プリンタドライバインストール」ダイアログボックスの各項目を設定します。

①プリンタの設定
本機に取り付けられているオプション品をクリックします。

②このプリンタを通常のプリンタとして使用
このプリンターを通常使用するプリンターにする場合は、クリックします。

③プリンタ名
プリンター名を変更したい場合は、プリンター名を入力します。

④出力先ポート
◆ローカルプリンターの場合と、TCP/IP Direct Print Utility を使用して印刷する場合
［その他］を選択し、［参照］をクリックします。
表示されたダイアログボックスの一覧から［LPT1:］を選択し、［OK］をクリックします。手順 8 に進みます。

補足
TCP/IP Direct Print Utility を使用して印刷する場合は、あとでポートの設定をします。ここでは、［LPT1:］を選択してください。

◆SMB や NetWare 環境でネットワークプリンターとして使用する場合

［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。
表示されたダイアログボックスで、使用環境に合った出力先ポートを設定します。

- **SMB 環境の場合**

1.プリンターを探し、選択します。プリンターは、「ホスト名 -P」という名前でホスト名のアイコンの下に表示されます。工場出荷時は、ワークグループ名は「Workgroup」、ホスト名は「FXnnnnnn」（nnnnnn：本機の Ethernet アドレスの下 6 桁）に設定されています。

補足
プリンターのワークグループ名やホスト名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンター設定リストを印刷して確認してください。

参照
「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

2.［OK］をクリックします。手順 8 に進みます。

- **NetWare 環境の場合**

1.プリントキューを探し、選択します。プリントキューは、NetWare ファイルサーバーのアイコンの下に表示されます。

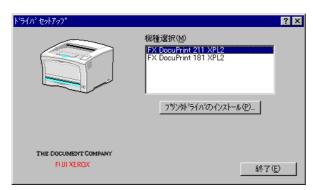
補足
プリントキュー名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

2.［OK］をクリックします。手順 8 に進みます。

8 **「プリンタドライバインストール」ダイアログボックスの［出力先ポート］に、手順 7 で設定したポート名が表示されていることを確認し、［インストールの開始］をクリックします。**

プリンタードライバーのインストールが始まります。

9 **インストールが終了すると、次のダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックします。**

10 **「ドライバセットアップ」ダイアログボックスの［終了］をクリックします。**

これでプリンタードライバーのインストールは終了です。

11 **使用する環境に応じて、必要な設定に進みます。**

■TCP/IP Direct Print Utility を使用して印刷する場合

続けてソフトウェアをインストールします。「2.2.2　FX TCP/IP Direct Print Utility を設定する」に進んでください。

■コンピューターと本機を USB ケーブルで接続して印刷する場合

「2.4　USB ポートの設定をする」に進んでください。

上記以外の場合は、「セットアップメニュー」ダイアログボックスの［終了］をクリックし、「印字テストをする」に進んでください。

印字テストをする

接続を確認するために、テストページを印刷します。

注記

TCP/IP Direct Print Utility を使用して印刷する場合は、設定が終了していません。「2.2.2 FX TCP/IP Direct Print Utility を設定する」に進んでください。

操作手順

1 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 プリンタードライバーのインストールによって、本機のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。

正しく印刷できたかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

4 印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。

5 「プロパティ」ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

2.2.2　FX TCP/IP Direct Print Utility を設定する

ここでは、Windows 95/Windows 98/Windows Me から、FX TCP/IP Direct Print Utility（以降、TCP/IP Direct Print Utility と記載します）を使用して印刷するために必要な設定について、Windows 98 の例で説明します。

TCP/IP Direct Print Utility をインストールする

補足
前節から続けて操作している場合で、コンピューターの画面上に「セットアップメニュー」ダイアログボックスが表示されている場合は、手順 3 から行ってください。

操作手順

1　コンピューターの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

2　「Software Pack」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

自動的に、言語選択のためのダイアログボックスが表示されるので、［Japanese］を選択します。

[セットアップメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

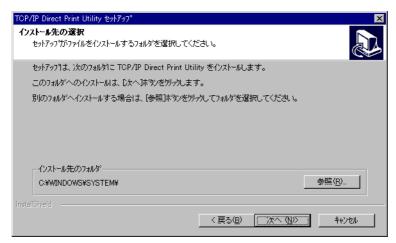
補足
言語選択のためのダイアログボックスが自動的に表示されない場合は、CD-ROM 内の [Install_j.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

3　［TCP/IP Direct Print Utility インストール］をクリックします。

注記
［TCP/IP Direct Print Utility インストール］をクリックしたときに、システムに TCP/IP プロトコルが組み込まれていないというメッセージが表示された場合は、［OK］をクリックして作業を中断し、コンピューターに TCP/IP プロトコルを組み込んでから、再度インストールしてください。

参照
TCP/IP プロトコルの組み込み方法については、『ネットワークガイド』（PDF ファイル「net.pdf」）、または Windows 関連の説明書を参照してください。

4 画面の内容を読み、［次へ］をクリックします。

5 インストール先ディレクトリーを確認し、［次へ］をクリックします。

TCP/IP Direct Print Utility のインストールが始まります。

6 **インストールが終了すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出します。**
[はい、直ちにコンピュータを再起動します。] を選択して、[OK] をクリックします。

補足
システムを再起動すると、設定有効になります。

続いて、「2.2.3　ポートを設定する」に進みます。

2.2.3　ポートを設定する

作成したプリンターに、TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定をします。

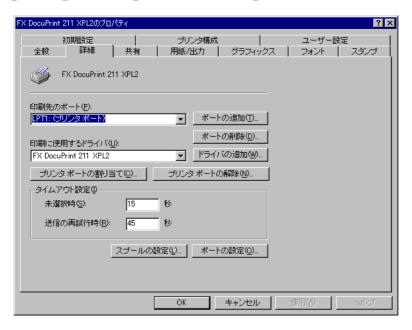
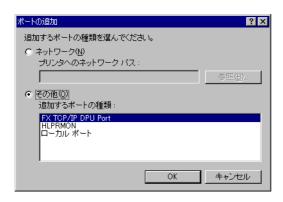
操作手順

1　**コンピューターを起動し、［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

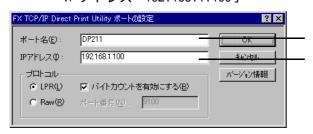
2　**プリンタードライバーのインストールによって、本機のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3　**［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。**

4 ［その他］を選択し、［追加するポートの種類］から［FX TCP/IP DPU Port］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

「FX TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定」ダイアログボックスが表示されます。

6 各項目を入力して、［OK］をクリックします。

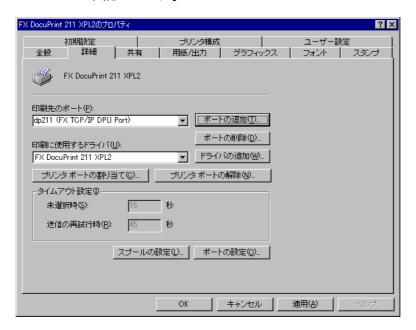
入力例：ポート名 「DP211」
IP アドレス「192.168.1.100」

項　目	説　明
①ポート名	**プリンターを識別するための名前を、任意に入力します。** 注記 TCP/IP Direct Print Utility ポートを複数追加する場合は、追加するポートに次のようなポート名を使用しないでください。既存のポート名が「printer」の場合を例に説明します。なお、使用する文字に大文字 / 小文字の区別はありません。 • 既存のポート名の最後に、文字を追加したポート名 例：「printer1」、「printer-01」など • 既存のポート名の先頭から 1 文字以上を抽出したポート名 例：「prin」、「print」など
② IP アドレス	**本機の IP アドレスを入力します。DNS(Domain Name System) が設定されている場合は、本機のホスト名を入力できます。**

補足

本機の IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンター設定リストを印刷して確認してください。

参照

「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

7 **「プロパティ」ダイアログボックスの［印刷先のポート］に、手順 6 で入力したポート名に続いて「(FX TCP/IP DPU Port)」と表示されていることを確認します。**

8 **接続を確認するために、テストページを印刷します。**

［適用］をクリックして設定を確定してから、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。

正しく印刷できたかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

9 **印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。**

10 **「プロパティ」ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

2.3 プリンタードライバーをインストールする (Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP)

ここでは、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XPにプリンタードライバーをインストールする手順について、Windows NT 4.0にDocuPrint 211プリンタードライバーをインストールする例で説明します。ネットワークプリンターとして使用する場合は、コンピューターに、使用するネットワーク環境のクライアント設定が済んでいることが前提になります。

注記
Windows 2000/Windows XPで、Port9100、またはIPPポートにプリンタードライバーをインストールする場合は、『ネットワークガイド』(PDFファイル「net.pdf」)を参照してください。

補足
TCP/IP環境では、プリンタードライバーをインストールする前に、次のことを確認してください。

- **Windows NTの場合**
  システムに［TCP/IP プロトコル］と［Microsoft TCP/IP 印刷］を組み込んでおく必要があります。［TCP/IPプロトコル］と［Microsoft TCP/IP印刷］については、Windows NT関連の説明書を参照してください。
- **Windows 2000/Windows XPの場合**
  システムに［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を組み込んでおく必要があります。［インターネットプロトコル(TCP/IP)］については、Windows 2000またはWindows XP関連の説明書を参照してください。

2.3.1 プリンタードライバーをインストールする

操作手順

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターの電源を入れます。

Windows NT 4.0を起動し、Administratorグループに属するユーザー、またはAdministratorでログインします。

補足
Windows 2000/Windows XPで、本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続している場合は、Windowsの起動後、新しいハードウェアを追加するためのダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は［キャンセル］をクリックして、ダイアログボックスを閉じてください。

3 NetWare環境の場合は、目的のファイルサーバーにログインします。

4 「Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に、言語選択のためのダイアログボックスが表示されるので、［Japanese］を選択します。

[セットアップメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

補足
言語選択のためのダイアログボックスが自動的に表示されない場合は、CD-ROM 内の[Install_j.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

5 **［プリンタードライバーインストール］をクリックします。**

「ドライバセットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

6 **［機種選択］で該当するプリンターが選択されていることを確認し、［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**

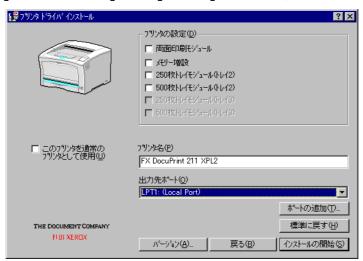
例：DocuPrint 211 を選択した場合

7 **「プリンタドライバインストール」ダイアログボックスの、各項目を設定します。**

①プリンタの設定
本機に取り付けられているオプション品をクリックします。

②このプリンタを通常のプリンタとして使用
このプリンターを通常使用するプリンターにする場合は、クリックします。

③プリンタ名
プリンター名を変更したい場合は、プリンター名を入力します。

④出力先ポート
◆ローカルプリンターの場合
［出力先ポート］から［LPT1:］を選択し、手順 8 に進んでください。

◆ネットワークプリンターで、［出力先ポート］の一覧に利用したいポートが表示されない場合
［ポートの追加］をクリックします。
「ポートの追加」ダイアログボックスが表示されます。
表示されたダイアログボックスで、使用環境に合った出力ポートを設定してください。

- SMB 環境の場合

1.［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

2.ネットワークの一覧から、利用するプリンターを探し、選択します。プリンターは、「ホスト名 -P」という名前でホスト名のアイコンの下に表示されます。工場出荷時は、ワークグループ名は「Workgroup」、ホスト名は「FXnnnnnn」（nnnnnn: 本機の Ethernet アドレスの下 6 桁）に設定されています。

補足
プリンターのワークグループ名やホスト名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンター設定リストを印刷して確認してください。

参照
「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

3.［OK］をクリックします。

4.「ポートの追加」ダイアログボックスの［プリンタへのネットワークパス］に、「\\ ホスト名￥ホスト名 -P」と表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。手順 8 に進んでください。

• NetWare 環境の場合

1.［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

2.ネットワークの一覧からプリントキューを探し、選択します。プリントキューは、NetWare ファイルサーバーのアイコンの下に表示されます。

補足
プリントキュー名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

3.［OK］をクリックします。

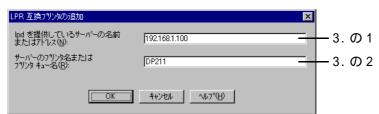
4.「ポートの追加」ダイアログボックスの［プリンタへのネットワークパス］に、「\\NetWare ファイルサーバー名￥プリントキュー名」と表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。手順 8 に進んでください。

• TCP/IP 環境の場合（Windows NT 4.0 の場合）

参照
Windows 2000/Windows XP の場合は、P.40 を参照してください。

1.［その他］を選択し、［利用可能なプリンタポート］から［LPR Port］をクリックします。

2.［OK］をクリックします。
「LPR 互換プリンタの追加」ダイアログボックスが表示されます。

3.各項目を入力します。
入力例：IP アドレス　「192.168.1.100」
プリンター名「DP211」

項目	説明
3. の 1 **lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス**	**本機の IP アドレスを入力します。ただし、WINS などの名前解決サービスが使用できる場合は、登録されているプリンターの名前を入力できます。** 注記 「XXX.XXX.00X.0XX」のように、IP アドレスに 3 桁に満たない数字が含まれる場合は、数字の前に桁を合わせるための「0」は入力しないでください。正常に動作しません。
3. の 2 **サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名**	**本機では、任意の名前を付けて入力します。**

補足

IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンター設定リストを印刷して確認してください。

参照

「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

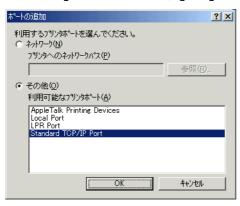
4.［OK］をクリックします。手順 8 に進んでください。

• TCP/IP 環境の場合（Windows 2000/Windows XP の場合）

参照

Windows NT 4.0 の場合は、P.38 を参照してください。

1.［その他］を選択し、［利用可能なプリンタポート］から［Standard TCP/IP Port］をクリックし、［OK］をクリックします。

参照

Windows 2000/Windows XP で、［LPR Port］を選択することもできます。その場合は、「TCP/IP 環境の場合（Windows NT 4.0 の場合）」(P.38) を参照してください。

2.［次へ］をクリックします。

3.各項目を入力します。
入力例：IP アドレス　「192.168.1.100」
ポート名　「IP_192.168.1.100」

項目	説明
3. の 1 プリンタ名または IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。ただし、WINS などの名前解決サービスが使用できる場合は、登録されているプリンターの名前を入力できます。 注記 「XXX.XXX.00X.0XX」のように、IP アドレスに 3 桁に満たない数字が含まれる場合は、数字の前に桁を合わせるための「0」は入力しないでください。正常に動作しません。
3. の 2 ポート名	［プリンタ名または IP アドレス］を入力すると、自動的に設定されます。変更したい場合だけ、入力してください。

補足
IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンター設定リストを印刷して確認してください。

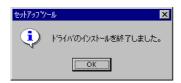
参照
「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

4.［次へ］をクリックします。

5.［完了］をクリックします。手順 8 に進んでください。

8 「プリンタドライバインストール」ダイアログボックスの［出力先ポート］に手順で設定したポート名が表示されていることを確認し、［インストールの開始］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

9 **インストールが終了すると、次のダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。**

10 **「ドライバセットアップ」ダイアログボックスの［終了］をクリックします。**

これでプリンタードライバーのインストールは終了です。

11 **「セットアップメニュー」ダイアログボックスの［終了］をクリックします。**

■コンピューターと本機を USB ケーブルで接続して印刷する場合

「2.4　USB ポートの設定をする」に進んでください。

上記以外の場合は、「印字テストをする」に進んでください。

印字テストをする

接続を確認するために、テストページを印刷します。

操作手順

1 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP の場合は、［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックします。

2 プリンタードライバーのインストールによって、本機のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。

正しく印刷できたかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

4 印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。

5 「プロパティ」ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

2.4 USB ポートの設定をする

コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する場合は、プリンタードライバーのインストールに続けて、次の手順を実行してください。

2.4.1 Windows 2000/Windows XP の場合

ここでは、Windows 2000 の例で説明します。

操作手順

1 コンピューターの電源が入っていることを確認し、本機の電源を切ります。

2 USB ケーブルを接続します。

参照

「USB ケーブルを接続する」(P.48)

3 本機の電源を入れます。

コンピューターが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。これで、USB ポートの設定は完了です。

4 接続を確認します。

[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

5 プリンタードライバーのインストールによって DocuPrint 181/211 のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

6 **［ポート］タブの［印刷するポート］に USB ポートが追加されているので、このポートを選択し、［適用］をクリックします。**

7 **［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。**

正しく印刷できたかどうかを確認するダイログボックスが表示されます。

8 **印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。**

9 **「プロパティ」ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

これで、本機を使用するための設定は完了です。

2.4.2 Windows 98/Windows Me の場合

Windows 98/Windows Me で USB ポートを使用して印刷する場合は、USB Print Utility を使用します。ここでは、USB ポートを使用するために必要な設定について、Windows 98 の例で説明します。

USB Print Utility をインストールする

補足
プリンタードライバーのインストールから続けて操作している場合で、コンピューターの画面上に「セットアップメニュー」ダイアログボックスが表示されている場合は、手順 3 から操作してください。

操作手順

1 **USB ケーブルが接続されている場合は、いったん取り外します。**

2 **「Software Pack」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。**

自動的に、言語選択のためのダイアログボックスが表示されるので、［Japanese］を選択します。

[セットアップメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

3 **［CD-ROM の参照］をクリックします。**

4 **「USB98Me」フォルダーを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックします。**

5 **「設定言語の選択」ダイアログボックスで［日本語］を選択し、［OK］をクリックします。**

USB Print Utility のインストーラーが起動されます。

6 **［次へ］をクリックします。**

7 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択して、［完了］をクリックします。**

8 **コンピューターが起動したら、Windows 98 の［スタート］メニューにある［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

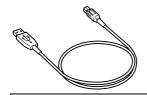
9 **プリンタードライバーのインストールによって DocuPrint 181/211 のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

10 **［詳細］タブの［印刷先のポート］に［FXUSB:(USB Printer Port)］が追加されていることを確認します。**

11 **［OK］をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。**

USB ケーブルを接続する

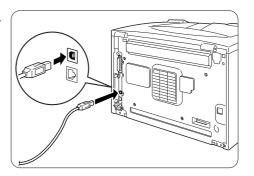
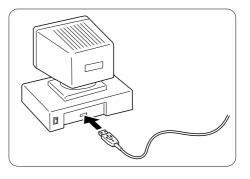
USB ケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

> ⚠注意
> インターフェイスケーブルを接続するときには、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

■USB ハブを経由したコンピューターと本機の USB 接続について

コンピューターと本機を USB ケーブルで接続するときに、間に USB ハブを介さずに接続することをお勧めしています。ハブ製品の種類によっては動作を保証できない場合がありますので、本機を USB ケーブルで接続するときは、コンピューターの USB コネクターと、本機の USB コネクターを 1 本のケーブルで直接接続してください。

操作手順

1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 本機背面の USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。

3 USB ケーブルの他方を、コンピューターの USB インターフェイスコネクターに接続します。

USB ポートを設定する

操作手順

1　本機の電源を入れます。

コンピューターが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。

2　［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

3　DocuPrint 181/211 のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4　［詳細］タブの［印刷先のポート］に［FXUSB_x_DocuPrint 181/211:(USB Printer Port)］が追加されています。このポートを選択してください。［FXUSB_x_・・・］の［x］には、使用している環境によって、0 ～ FF の値が表示されます。

5　接続を確認するために、テストページを印刷します。

［適用］をいったんクリックして設定を確定してから、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。

正しく印刷できたかどうかの確認するダイアログボックスが表示されます。

6　印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、［はい］をクリックします。

7　「プロパティ」ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

これで、本機を使用するための設定は完了です。

2.5 プリンタードライバーのアンインストールについて

**プリンタードライバーのアンインストールは、「Software Pack」CD-ROM 内のプリンタードライバーアンインストールツールで行います。
操作手順については、『ソフトウェアパック操作ガイド』を参照してください。**

補足
『ソフトウェアパック操作ガイド』は、「Software Pack」CD-ROM をドライブにセットして言語を選択すると表示される「セットアップメニュー」ダイアログボックスの、[ソフトウェアパック操作ガイド] をクリックすると表示されます。

TCP/IP Direct Print Utility のアンインストールについて

**Windows 95/Windows 98/Windows Me にインストールした TCP/IP Direct Print Utility を削除する場合は、「Software Pack」CD-ROM をドライブにセットして言語を選択すると表示される「セットアップメニュー」ダイアログボックスの、[CD-ROM の参照] をクリックします。
表示された画面から、「DPU」フォルダーを開き、その中にある「readme.txt」を参照して、削除してください。**

USB Print Utility のアンインストールについて

**Windows 98/Windows Me にインストールした USB Print Utility を削除する場合は、「Software Pack」CD-ROM をドライブにセットして言語を選択すると表示される「セットアップメニュー」ダイアログボックスの、[CD-ROM の参照] をクリックします。
表示された画面から、「USB98Me」フォルダーを開き、その中にある「readme.txt」を参照して、削除してください。**

2.6 最新プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーは、インターネットの弊社ホームページで提供しています。ダウンロードしてご利用ください。
なお、通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

操作手順

1 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。

2 本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［用紙 / 出力］タブをクリックします。

4 ［Fuji Xerox ホームページ］をクリックします。

ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。

5 指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。

6 ［OK］をクリックして、「プロパティ」ダイアログボックスを閉じます。

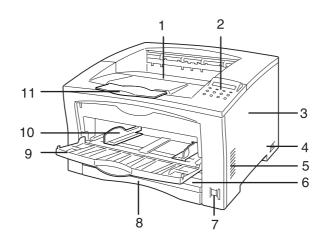
補足

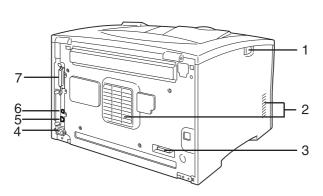
- 富士ゼロックス株式会社のホームページのアドレス (URL) は、次のとおりです。
  http://www.fujixerox.co.jp/
- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

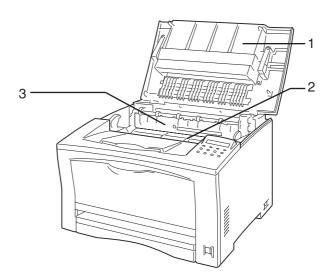
プリンターの基本操作

3.1 各部の名称と働き

本機の各部の名称と働きは、次のとおりです。

前面図

No.	名　称	説　明
1	排出トレイ	印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。
2	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。
3	右カバー	オプション品を取り付けるときに開きます。
4	電源スイッチ	電源を入 / 切するスイッチです。[I] 側に押すと電源が入り、[○] 側に押すと電源が切れます。
5	通気口	本機内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。
6	カセットフィーダー（A3/250 枚）	用紙カセットをセットします。
7	サイズ設定ダイヤル（用紙カセット）	カセットの用紙サイズを設定します。
8	用紙カセット（A3/250 枚）	用紙をセットします。
9	手差しトレイ	手差しで用紙を補給するときに開きます。ラベル用紙、はがき、封筒などに印刷する場合は、このトレイを使用します。セットした用紙の給紙方向の寸法が、A4 サイズの短辺以下の場合は、トレイを閉じて使用できます。
10	サイドガイド	手差しトレイにセットした用紙をおさえます。
11	排出延長トレイ	A4 サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出します。

背面図

No.	名　称	説　明
1	リリースボタン	上部カバーを開くときに押します。
2	通気口	本機内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。
3	両面印刷モジュール接続部	オプション品の両面印刷モジュールを接続します。
4	電源コード接続部	電源コードを差し込みます。
5	イーサネットインターフェイス	ネットワークケーブルを差し込みます。
6	USB インターフェイス	USB ケーブルを差し込みます。
7	パラレルポート	パラレルケーブルを差し込みます。

内部図

No.	名　称	説　明
1	トップカバー	EP カートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開きます。
2	EP カートリッジ （ドラム / トナーカートリッジ）	トナーと感光体（ドラム）が一体化されています。
3	定着ユニット	用紙にトナーを定着させます。本機の使用時には高温になっているので、手を触れないように注意してください。

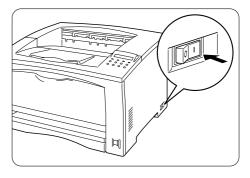
3.2 電源を入れる / 切る

3.2.1 電源を入れる

手順は次のとおりです。

操作手順

1 **本機の右側面にある電源スイッチの、［I］側を押します。**

電源が入ります。

2 **操作パネルのディスプレイに、【シンダンシテイマス】と表示されます。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント　デキマス】に変わり、［オンライン］ランプが点灯することを確認します。**

補足

ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷の準備中です。この間は印刷できません。

参照

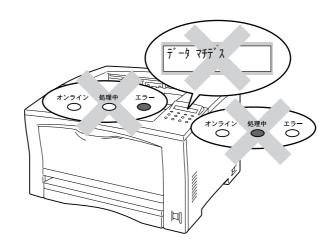
ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、「6.6　操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照して対処してください。

3.2.2　電源を切る

手順は次のとおりです。

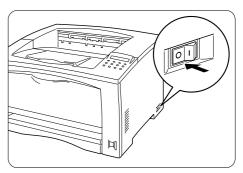
注記

次の場合は、電源を切らないでください。

- 操作パネルのディスプレイに【データ　マチデス】と表示されている
- ［処理中］ランプが点灯している
- ［エラー］ランプが点灯している

操作手順

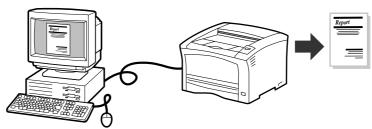
1 **操作パネルのディスプレイに、【プリント　デキマス】と表示されていることを確認します。**

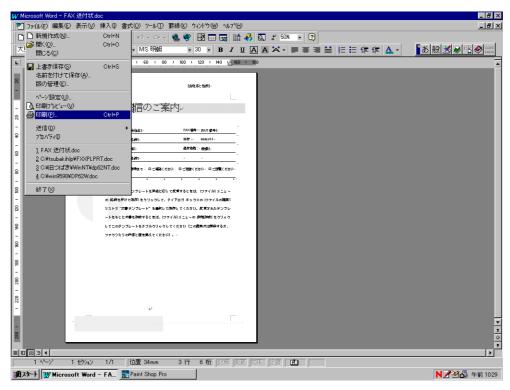
2 **本機の右側面にある電源スイッチの、［O］側を押します。**

電源が切れます。

3.3 コンピューターから印刷する

コンピューター上のアプリケーションで作成した文書の、印刷手順について説明します。ほとんどのアプリケーションソフトでは、［印刷（プリント）］コマンドを選択するだけで、印刷できます。
Windows® 98 の Microsoft® Word 97 で作成した A4 サイズの文書を、A4 サイズの用紙に等倍で、DocuPrint 211 に印刷する例で説明します。

補足

- ダイアログボックスの各タブの設定は、初期値であることを前提にします。
- 印刷の設定をするためのダイアログボックスの表示方法や内容は、使用しているコンピューターの OS やアプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

操作手順

1 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［プリンタ名］を DocuPrint 211 に設定し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［用紙 / 出力］タブをクリックします。

参照

各タブの項目についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「3.4　オンラインヘルプで説明していることについて」を参照してください。

4 ［原稿サイズ］の ▼ をクリックし、［A4］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスに戻ります。

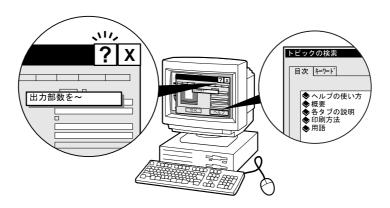
6 ［OK］をクリックします。

印刷データが DocuPrint 211 に送信されます。

3.4 オンラインヘルプで説明していることについて

3.4.1 オンラインヘルプの目次

DocuPrint 181/211 のプリンタードライバーでは、オンラインヘルプを提供しています。
アプリケーションから印刷を指示するときに、プリンタードライバーの項目について知りたい、印刷方法を確認したい、トラブルについて知りたいと思ったら、オンラインヘルプを参照してください。
オンラインヘルプの目次は次のとおりです。

補足
次の目次は、Windows 用のプリンタードライバーのオンラインヘルプで表示されます。

ヘルプの使い方

- **ヘルプ構成**
- **オンラインヘルプの表記について**
- **禁則マークについて**
- **著作権について**

概要

- **DocuPrint 181/211 の特長**
- **プリンタードライバーの概要**

タブの説明

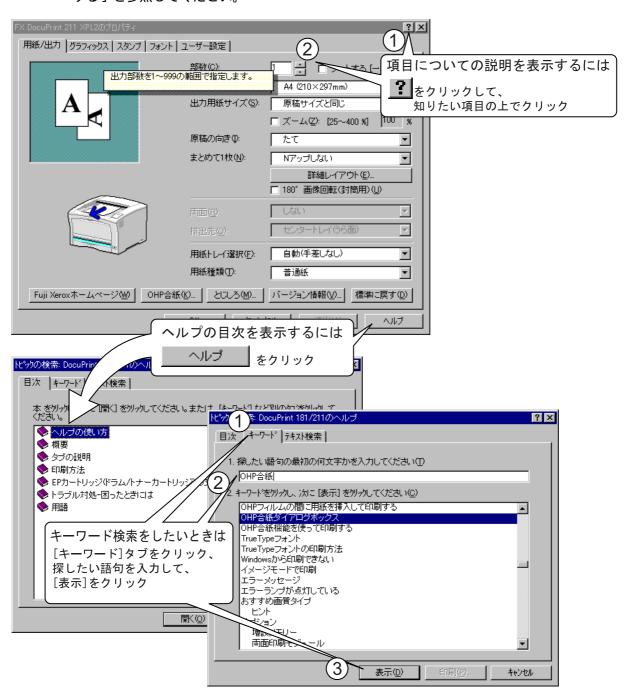
- **[用紙 / 出力] タブ**
- **[グラフィックス] タブ**
- **[フォント] タブ**
- **[スタンプ] タブ**
- **[初期設定] タブ**
- **[プリンタ構成] タブ**
- **[ユーザー設定] タブ**

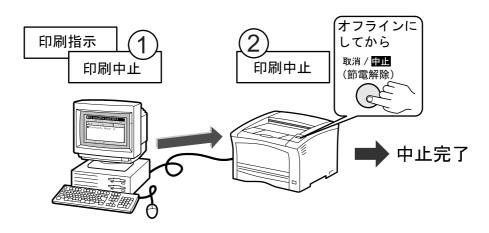
- 印刷方法
  - 特殊紙に印刷する
    - はがきに印刷する
    - 封筒に印刷する
    - OHP フィルムに印刷する
    - OHP 合紙機能を使って印刷する(OHP フィルムの間に用紙を挿入する)
  - 両面に印刷する
    - 普通紙の両面に印刷する（両面印刷モジュールがある場合）
  - グラフィックスの調整をして印刷する
    - 明度、コントラストを調整して印刷する
  - よく使う印刷設定を登録する
    - 印刷設定を登録する
    - 登録した印刷設定を用いて印刷する
  - 「社外秘」など、文字をバックに印刷する（スタンプ）
    - スタンプ文字列を付けて印刷する
  - ソートする / 複数部数を印刷する
    - 複数部数を印刷する
    - ソートする
  - その他の印刷方法
    - 画像繰り返しの機能を使って印刷する
    - 拡大連写の機能を使って印刷する
    - 小冊子作成の機能を使って印刷する
    - 複数ページを 1 枚にまとめて印刷する(N アップ)
    - 原稿と異なるサイズの用紙に印刷する
    - 定形外サイズの用紙に印刷する
    - 「設定できない項目の解消」ダイアログボックスが表示されたら
    - バナーシートを付けて印刷する
- EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換
  - EP カートリッジの交換について
- トラブル対処 - 困ったときには
  - 印刷できない
  - 印字品質が悪い
  - 紙づまり
  - ネットワーク関連のトラブル
  - エラーメッセージが表示されたときには
  - 問題が解決しなかったときには
- 用語

3.4.2 Windows からオンラインヘルプを参照する

「プロパティ」ダイアログボックスを表示し、説明させたい項目が含まれているタブを選択します。

参照

「プロパティ」ダイアログボックスの表示方法については、「3.3　コンピューターから印刷する」を参照してください。

3.5 印刷を中止する

印刷を中止するには、まずコンピューター側で印刷の指示を取り消します。
次に、本機で処理中の印刷データを、操作パネルを使用して中止します。

3.5.1 コンピューター側で取り消す

コンピューター側で印刷を取り消す手順を説明します。

操作手順

1 [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP の場合は、[スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックします。

2 本機のプリンターアイコンを、ダブルクリックします。

プリンターウィンドウが表示されます。

3 中止したいドキュメントを選択し、キーボードの「DELETE」キーを押します。

続いて、「3.5.2 操作パネルで印刷を中止する」に進んでください。

3.5.2　操作パネルで印刷を中止する

コンピューター側で印刷指示を取り消したあと、この操作をすると、本機で処理中のデータの印刷を中止できます。ただし、印刷中のページは印刷されます。

操作手順

1 **印刷処理中のメッセージが表示されていることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ
ﾊﾟﾗﾚﾙ　　　　ﾄﾚｲ1

2 **［オンライン］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

注記

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさによって処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、お待ちください。

自動的に右のメッセージに変わります。

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

3 **［取消 / 中止］ボタンを 1 回押します。**

右のメッセージが表示され、印刷の中止処理が行われます。

ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ

中止処理が終了すると、自動的に印刷できる状態に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

3.6 残ったデータを強制排出する - 印刷が途中で止まったときは -

データの最後がページの途中で終了してしまうと、ジョブタイムアウトが発生する時間まで次のデータ待ちとなり、操作パネルのディスプレイには【データ　マチデス】のメッセージが表示されます。
強制排出は、このようなときに自動排出する時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的に印刷します。

参照

- ジョブタイムアウトが発生する時間は、工場出荷時は 30 秒に設定されています。この時間は、操作パネルでオフ、5 ～ 300 秒の間で設定できます。ジョブタイムアウトの詳細については、「5.3　メニュー画面項目の説明」を参照してください。
- 操作パネルの操作方法についての詳細は、「5.2　メニュー画面の基本操作」を参照してください。

操作手順

1 **印刷処理中のメッセージが表示されていることを確認します。**

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ
ﾊﾟﾗﾚﾙ        ﾄﾚｲ1
```

2 **［オンライン］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

```
ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
```

注記

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさによって処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、お待ちください。

自動的に右のメッセージに変わります。

```
ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ
```

3 **［排出 / セット］ボタンを 1 回押します。**

右のメッセージが表示され、印刷の中止処理が行われます。

```
ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ
```

中止処理が終了すると、自動的に印刷できる状態に戻ります。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

3.7 オプション品の構成を変更する

DocuPrint 181/211 を設置したあとで、次のオプション品を追加した場合は、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。

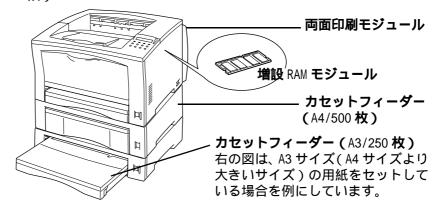
補足
ここでは、オプション品の取り付けは完了していることを前提に説明します。

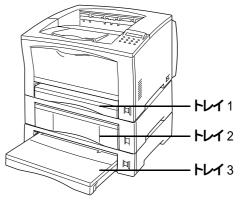
参照
オプション品の取り付け手順については、『セットアップガイド』を参照してください。
オプション品については、「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。

- **カセットフィーダー（A3/250 枚）**

補足
A3/250枚の用紙カセットは、カセットの取っ手を引き伸ばして、A3サイズまでの用紙をセットできます。

参照
「用紙カセット（A3/250 枚）に A4 サイズより大きい用紙をセットする」(P.99)

- **カセットフィーダー（A4/500 枚）**
- **両面印刷モジュール**
- **増設 RAM モジュール**

カセットフィーダーは、次のような組み合わせで使用できます。

補足
- 表中では、オプション品を次のように省略して記載しています。
  - カセットフィーダー（A3/250 枚）→ A3/250 枚
  - カセットフィーダー（A4/500 枚）→ A4/500 枚
- プリンタードライバーなどでは、本機標準のカセットフィーダーを「トレイ 1」と、2 段目に追加されたカセットフィーダーを「トレイ 2」、3 段目に追加されたカセットフィーダーを「トレイ 3」と説明していることがあります。
- オプション品のカセットフィーダー（A3/250 枚）に、A4 サイズよりも大きいサイズの用紙をセットすることが多い場合は、図のように最下段に取り付けることをお勧めします。

	カセットフィーダーの組み合わせ			
トレイ 2	A3/250 枚	A4/500 枚	A3/250 枚	A4/500 枚
トレイ 3	A3/250 枚	A4/500 枚	A4/500 枚	A3/250 枚

Windows 98 の手順を例に説明します。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［プリンタ構成］タブをクリックします。**

4 **追加したオプション品をクリックし、［OK］をクリックします。**

例：カセットフィーダーを 2 段（2 段め－ A3/250 枚、3 段め－ A4/500 枚）と、両面印刷モジュールを取り付けた場合

3.8 両面印刷をする

本機では、オプション品の両面印刷モジュールを取り付けている場合は、用紙の両面に印刷できます。

参照
両面印刷ができる用紙の種類とサイズについては、「4.1.2　両面印刷に使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

普通紙の両面に印刷する

用紙カセットにセットしてある A4 サイズの用紙（標準紙）を使用して、両面印刷を行う例で説明します。

操作手順

1 **用紙カセットに A4 サイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2 **アプリケーションソフトから印刷を指示します。**

◆プリンタードライバーでの設定のポイント
[用紙 / 出力] タブの [両面] で、[長辺とじ] または [短辺とじ] から選択します。

補足
プリンタードライバーの設定は、初期値であることを前提にします。

参照
- 手順の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
『オンラインヘルプ（キーワード：普通紙の両面に印刷する）』
- オンラインヘルプの使用方法について
「3.4.2　Windows からオンラインヘルプを参照する」
- プリンタードライバーでオプション品の設定をしていないと、設定項目がグレーで表示され、設定できません。「3.7　オプション品の構成を変更する」を参照してください。

3.9 はがき、封筒、OHP フィルム、不定形（長尺）サイズの用紙に印刷する

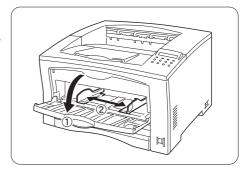
3.9.1 はがきに印刷する

本機では、官製はがきに印刷できます。
はがきは、手差しトレイにセットして印刷します。

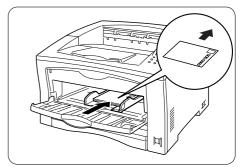
注記
かもめーるなどの多色刷りのはがきに印刷することはお勧めできません。

はがきのあて名を印刷する例で説明します。

操作手順

1 **手差しトレイを開き（①）、サイドガイドをセットする用紙サイズの目盛りに合わせます（②）。**

2 **官製はがきを、図のような向きで、差し込み口に軽く当たるまで入れます。**

注記
最大収容枚数（50 枚）を超える官製はがきをセットしないでください。

補足
手差しトレイを閉じて使用できます。

3 **アプリケーションソフトから、印刷を指示します。**

補足
プリンタードライバーの設定は、初期値であることを前提にします。

参照
- 手順の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
『オンラインヘルプ（キーワード：はがきに印刷する）』
- オンラインヘルプの使用方法について
「3.4.2 Windows からオンラインヘルプを参照する」

◆プリンタードライバーでの設定のポイント
［用紙 / 出力］タブで、次の項目を選択します。
［出力用紙サイズ］で［はがき］、［用紙トレイ選択］で［手差し］、［用紙種類］で［厚紙］を選択

3.9.2 OHP フィルムに印刷する

本機では、弊社の OHP フィルム（XEROX FILM < 枠なし >）を使用して、OHP フィルムに印刷できます。

注記

- フルカラー用の OHP フィルムや、白い枠付きの OHP フィルムは、使用できません。
  適切でない OHP フィルムを使用すると、本機の故障の原因になります。
- 排出された OHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。

白い枠付きの
OHPフィルム

［OHP 合紙］について

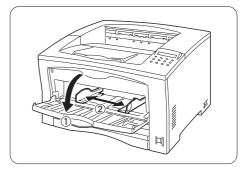
［OHP 合紙］とは、OHP フィルムの間に、用紙を挿入しながら排出する機能です。挿入する用紙は、白紙、または OHP フィルムと同じ印刷をした用紙です。

参照

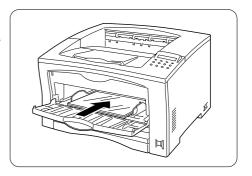
［OHP 合紙］の詳細について
『オンラインヘルプ（キーワード：OHP 合紙）』

操作手順

1 **手差しトレイを開き（①）、サイドガイドをセットする用紙サイズの目盛りに合わせます（②）。**

2 **OHP フィルムを、少量ずつよくさばきます。**

3 **OHP フィルムを、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。**

注記

最大収容枚数（75 枚）を超える OHP フィルムをセットしないでください。

4 **アプリケーションソフトから、印刷を指示します。**

補足

プリンタードライバーの設定は、初期値であることを前提にします。

参照

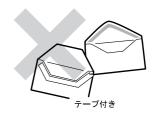
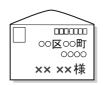
- 手順の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
  『オンラインヘルプ（キーワード：OHP フィルムに印刷する）』
- オンラインヘルプの使用方法について
  「3.4.2　Windows からオンラインヘルプを参照する」

◆プリンタードライバーでの設定のポイント
［用紙 / 出力］タブで、次の項目を選択します。
［出力用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［用紙トレイ選択］で［手差し］、［用紙種類］で［OHP フィルム］を選択

3.9.3　封筒に印刷する

封筒は、次のサイズのものが使用できます。
• 洋形 4 号ケント紙（105 × 234㎜）

注記

封筒は、のりづけ部分に接着テープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、高温多湿時などで、のりづけ部分がベタついていなければ使用できます。

封筒のあて名を印刷する場合を例に説明します。

操作手順

1 **手差しトレイを開き（①）、サイドガイドをセットする用紙サイズの目盛りに合わせます（②）。**

2 **フラップを開き、図のような向きで、差し込み口に軽く当たるまで入れます。**

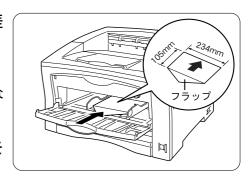
注記

最大収容枚数（10 枚）を超える封筒をセットしないでください。

3 **アプリケーションソフトから、印刷を指示します。**

補足

プリンタードライバーの設定は、初期値であることを前提にします。

参照

- 手順の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
  『オンラインヘルプ（キーワード：封筒に印刷する）』
- オンラインヘルプの使用方法について
  「3.4.2　Windows からオンラインヘルプを参照する」

◆プリンタードライバーでの設定のポイント

- **[初期設定] タブから「ユーザー定義用紙」ダイアログボックスを開いて、用紙サイズを設定します。**
- **[用紙 / 出力] タブで、次の項目を選択します。**
  [出力用紙サイズ] で「ユーザー定義用紙」ダイアログボックスで設定したサイズ、[用紙トレイ選択] で [手差し]、[用紙種類] で [厚紙] を選択

3.9.4　不定形（長尺）サイズの用紙に印刷する

本機では、長さ 900mm までの不定形（長尺）サイズの用紙に印刷できます。

注記

- 長尺サイズの用紙に印刷するには、オプション品の増設 RAM モジュールが必要です。

  参照

  「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」
- アプリケーションソフトの仕様で、任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形（長尺）サイズの用紙に印刷できません。

参照

「4.1.1　使用できる用紙」

操作手順

1 **手差しトレイを開き、サイドガイドをセットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **用紙を、図のように、差し込み口に軽く当たるまで入れます。**

注記

不定形（長尺）サイズの用紙は、1 枚ずつ手で支えながら給紙してください。

3 **アプリケーションソフトから印刷を指示します。**

補足

プリンタードライバーの設定は、初期値であることを前提にします。

参照

- 手順の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
  『オンラインヘルプ（キーワード：不定形サイズの用紙に印刷する）』
- オンラインヘルプの使用方法について
  「3.4.2　Windows からオンラインヘルプを参照する」

◆プリンタードライバーでの設定のポイント

- **［初期設定］タブから「ユーザー定義用紙」ダイアログボックスを開いて、用紙サイズを設定します。**
- **［用紙 / 出力］タブで、次の項目を選択します。**
  ［出力用紙サイズ］で「ユーザー定義用紙」ダイアログボックスで設定したサイズ、［用紙トレイ選択］で［手差し］を選択
  厚紙を使用する場合は、［用紙種類］で［厚紙］を選択

3.10 レポート/リストを印刷する

操作パネルを使用して、次のレポート、リストを出力できます。

- **プリンター設定リスト**

  DocuPrint 181/211 に取り付けられているオプション品の情報や、ネットワークの設定について確認できます。

  参照
  「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」

- **パネル設定リスト**

  操作パネルで設定した値を確認できます。

- **XPL2 フォントリスト**

  DocuPrint 181/211 が搭載しているフォントを確認できます。

- **プリント履歴レポート**

  最新の 22 件までの印刷ジョブについて、正しく印刷されたかどうかを確認できます。

  参照
  「3.10.2　プリント履歴レポートを印刷する」

DocuPrint 211
パネル設定リスト

システム設定
節電モード移行時間
モード1移行時間　5分後
モード2移行時間　5分後
節電モード
モード1　有効
モード2　有効
ジョブタイムアウト　30秒
パネル表示言語　日本語
自動プリンター履歴　しない
トナーエンド検知　しない
IDプリント　しない

メンテナンス
パネル設定保護　しない

パラレル
Busy-Ack　Ack-Busy
ECP　有効

ネットワーク
Ethernet設定　AUTO
TCP/IP設定
IPアドレスセットアップ　パネル
IPXフレームタイプ　自動
プロトコル
LPD over TCP/IP　起動
Port 9100　起動
IPP　起動
SMB over TCP/IP　起動
SMB over NetBEUI　起動
NetWare®　起動
FTP　停止
SNMP over UDP/IP　起動
SNMP over IPX　起動
Status Messenger　停止
Internet Services　起動
受信制限
フィルタ1
アドレス　0.0.0.0
アドレスマスク　0.0.0.0
動作モード　なし
フィルタ2
アドレス　0.0.0.0
アドレスマスク　0.0.0.0
動作モード　なし
フィルタ3
アドレス　0.0.0.0
アドレスマスク　0.0.0.0
動作モード　なし
フィルタ4
アドレス　0.0.0.0
アドレスマスク　0.0.0.0
動作モード　なし
フィルタ5
アドレス　0.0.0.0
アドレスマスク　0.0.0.0
動作モード　なし

NetWareはノベル株式会社の登録商標です。
XEROX、THE DOCUMENT COMPANYは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

DocuPrint 211
XPL2フォントリスト

プリンター搭載書体	書体サンプル
和文	
平成明朝体 W3	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩。
平成角ゴシック体 W5	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩。
欧文	
CS Triumvirate Regular	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Triumvirate Bold	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Triumvirate Italic	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Triumvirate Bold Italic	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Courier Medium	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Courier Bold	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Courier Oblique	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Courier Bold Oblique	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Times Roman	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Times Bold	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Times Italic	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Times Bold Italic	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghijklmno1234567890
CS Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφκλμνο1234567890

XEROX, THE DOCUMENT COMPANYは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

3.10.1 プリンター設定リストを印刷する

操作パネルを使用してプリンター設定リストを印刷すると、DocuPrint 181/211に取り付けられているオプション品の情報や、ネットワークの設定について確認できます。

DocuPrint 211

プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	9枚
ドラムカウンター	217count
搭載メモリー	144Mbyte
搭載プリンター言語	XPL2:200204041614
搭載フォント数	XPL2用
	和文 2書体
	欧文13書体
F/Wバージョン	200204122132
Bootバージョン	200203291112JP21
IOTバージョン	5.0.2
DACSバージョン	200203291145

ネットワーク

F/Wバージョン	5.03
Ethernet Address	08:00:37:02:f8:ce
Ethernet設定	10Base-T Half(AUTO)
TCP/IP設定	パネル
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
IPX/SPX設定	
IPXフレームタイプ	ETHERNET-II(AUTO)
ネットワークアドレス	0006715c:08003702f8ce
搭載プロトコル	LPD,Port9100,IPP
	SMB,NetWare®
	FTP,SNMP
	SMTP/POP3
	Internet Services
受信制限	なし

オプション

拡張ネットワークカード	あり
用紙トレイ	トレイ1、2、3、手差し
オプショントレイ	2段
両面印刷モジュール	あり
Contents Bridge拡張キット	あり

パラレル

Busy-Ack	Ack-Busy
ECP	有効

LPD

ポート状態	起動

Port9100

ポート状態	起動

IPP

ポート状態	起動

SMB

ポート状態	起動
NetBEUI	起動
TCP/IP	起動
ホスト名	FX02F8CE
ワークグループ名	WORKGROUP

NetWare®

ポート状態	起動
動作モード	DS-PServerモード
装置名	FX02F8CE
ツリー	
コンテキスト	

FTP

ポート状態	停止

SNMP

ポート状態	起動
UDP/IP	起動
IPX	起動

SMTP/POP3

ポート状態	停止

Internet Services

ポート状態	起動

NetWareはノベル株式会社の登録商標です。
XEROX、THE DOCUMENT COMPANYは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

プリンター設定リストの印刷方法

注記

プリンター設定リストは、A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙カセットに、A4 サイズの用紙をセットしてください。

参照

操作を間違えたら、「5.2.4　設定を間違えたときには」を参照してください。

操作手順

1 **右のメッセージが表示されていることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2 **［オンライン］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

3 **［メニュー］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

ﾒﾆｭｰ
　1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ

4 **［↓］ボタンを 3 回押します。**

右のメッセージが表示されます。

ﾒﾆｭｰ
　4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ

5 **［排出 / セット］ボタンを 3 回押します。**

右のメッセージが表示され、プリンター設定リストが印刷されます。

ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ1

プリンター設定リストの印刷が終了すると、自動的に印刷できる状態に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

3.10.2 プリント履歴レポートを印刷する

プリント履歴レポートでは、最新の 22 件までの印刷ジョブについて、正しく印刷できたかどうかを確認できます。
ここでは、プリント履歴レポートの印刷方法について説明します。

補足

操作パネルの［1 システム］メニューで、［リレキノ ジドウプリント］を［スル］に設定すると、印刷データが 22 件を超えた場合、自動的にプリント履歴レポートが出力されます。（工場出荷時：［シナイ］）

DocuPrint 211
プリント履歴レポート
プリント総ページ数　66枚

日付	時刻	ポート	ホスト/ユーザ名	ドキュメント名	用紙サイズ	ページ数	枚数	結果
		Report		Printer Settings	A4	1	1	正常終了
2002/03/23	16:17	lpd	Kuroda	aaa.doc	A3	1	1	正常終了
2002/03/28	16:45	lpd	Kuroda	bbb.doc	A3	1	1	正常終了
2002/03/29	16:17	lpd	Kuroda	ccc.doc	A4	2	2	正常終了
		Report		Control Pannel Settings	A4	1	1	正常終了
2002/03/30	16:17	Parallel	Yokota	Printer Test Page	A4	1	1	正常終了
2002/04/03	11:17	Parallel	Yukota	Printer Test Page	A4	1	1	正常終了
		Report		XPL2 Fonts List	A4	3	3	正常終了
		Report		Job History Report	A4	1	1	正常終了
2002/04/04	10:14	lpd	Kuroda	Template.doc				

プリント履歴レポートの印刷方法

注記

プリント履歴レポートは、A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙カセットに、A4 サイズの用紙をセットしてください。

参照

操作を間違えたら、「5.2.4　設定を間違えたときには」を参照してください。

操作手順

1 **右のメッセージが表示されていることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2 **［オンライン］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

3 **［メニュー］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

ﾒﾆｭｰ
1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ

4 **［↓］ボタンを 3 回押します。**

右のメッセージが表示されます。

ﾒﾆｭｰ
4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ

5 **［排出 / セット］ボタンを押します。**

右のメッセージが表示されます。

4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ

6 **［↓］ボタンを 3 回押します。**

右のメッセージが表示されます。

4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ

7 **［排出 / セット］ボタンを 2 回押します。**

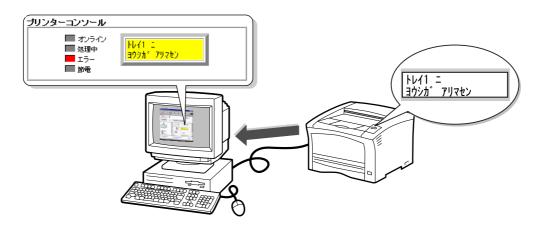
右のメッセージが表示され、プリント履歴レポートが印刷されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾃｲﾏｽ　ﾄﾚｲ1

プリント履歴レポートの印刷が終了すると、自動的に印刷できる状態に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

3.11 コンピューター上でプリンターの状態を確認する -CentreWare Internet Services-

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの WWW ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の各種設定を行ったりできます。
この機能を、「CentreWare Internet Services」と呼びます。
CentreWare Internet Services を利用すると、本機を見に行かなくても、本機が正常に作動しているかどうかがわかります。また、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量も確認できます。

参照
本機では、コンピューター上で本機の状態を確認するツールとして、「CentreWare Simple Status Notification」を提供しています。このツールでは、コンピューターのデスクトップ上に表示されるアイコンの形状によって、本機の状態を確認できます。また、このツールからCentreWare Internet Services を起動することもできます。詳細については、「Software Pack」CD-ROM 内の『ネットワークガイド』(PDF ファイル「net.pdf」)を参照してください。

3.11.1 コンピューター上でプリンターの状態を確認する

CentreWare Internet Services を使用する手順を、Windows 98 の Microsoft® Internet Explorer 4.0 の例で説明します。

操作手順

1 コンピューターの電源を入れ、WWW ブラウザーを起動します。

注記
CentreWare Internet Services が正しく動作するには、WWW ブラウザーが次のように設定されている必要があります。CentreWare Internet Services に接続できない場合は、設定を確認してください。

- [保存しているページの新しいバージョンの確認:] で、[ページを表示するごとに確認する]、または [Internet Explorer を起動するごとに確認する] に設定していること

参照
CentreWare Internet Services の詳細については、「Software Pack」CD-ROM 内の『ネットワークガイド』(PDF ファイル「net.pdf」)を参照してください。

2 WWW ブラウザーのアドレス欄に、本機の IP アドレス、または URL を入力します。

参照

本機の IP アドレスがわからない場合は、プリンター設定リストを印刷して確認してください。プリンター設定リストの印刷方法は、「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」を参照してください。

補足

ネットワークが DNS(Domain Name System) を使用していて、DNS のネームサーバーに本機のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせた「URL」を使用して、本機にアクセスできます。
DNS とは、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。ネットワークで DNS を使用しているかどうかや、本機の URL については、ネットワーク管理者に確認してください。

入力例 1： IP アドレスが 192.168.1.100 の場合

「http://192.168.1.100/」と入力します。

入力例 2： URL が dp211.aaa.bbb.fujixerox.co.jp
(ホスト名：dp211、ドメイン名：aaa.bbb.fujixerox.co.jp) の場合

「http://dp211.aaa.bbb.fujixerox.co.jp/」と入力します。

補足

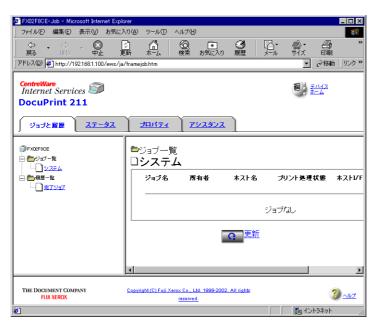
ポート番号を指定する場合には、アドレスのうしろに、「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。

3 「Enter」キーを押します。

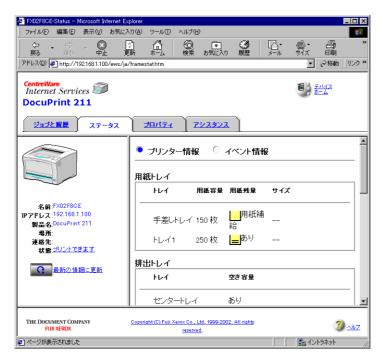
CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

4 ［ジョブと履歴］をクリックします。

5 画面の右側に、各プロトコル、または操作パネルで指示した印刷ジョブに関する詳細な状態が表示されます。

6 ［ステータス］タブをクリックします。

7 画面の右側に、プリンター情報が表示されます。

本機の状態を確認します。

用紙トレイ、排出トレイ、カバーの状態、トナーや消耗品の残量、および出力アカウント情報が確認できます。

8 ［イベント情報］をクリックします。

9 画面の右側の表示内容が、イベント情報に変わります。エラーが発生しているかどうかを確認します。

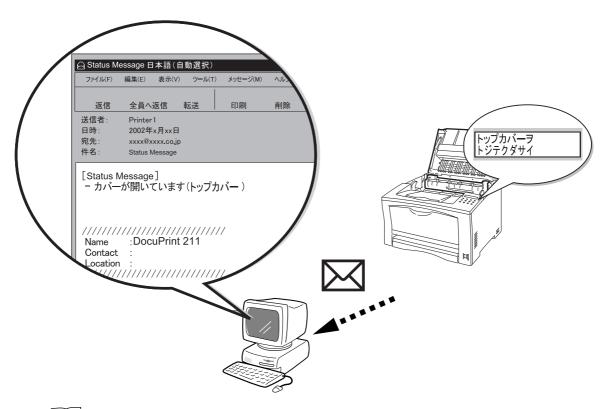
操作パネルの状態も確認できます。

3.11.2 アイコンで状態を確認する

本機では、ネットワーク上の Windows コンピューターで本機の状態を確認するツール「CentreWare Simple Status Notification」が提供されています。このツールでは、コンピューターのデスクトップ上に表示されるアイコンの形状によって、本機の状態を確認できます。また、このツールから CentreWare Internet Services を起動することもできます。
詳細については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

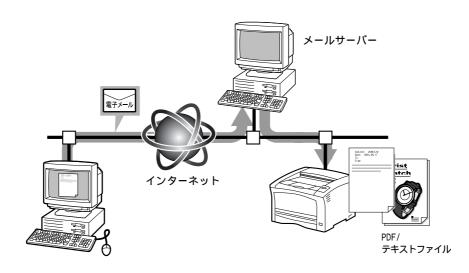
3.11.3 電子メールで状態を確認する ー Status Messenger 機能ー

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ユーザーと本機の間で電子メールを使った情報の送受信ができます。
この機能を「Status Messenger 機能」と呼びます。

- **ユーザーからネットワークの設定や本体の状態を問い合わせると、本体からその結果が電子メールで返信されます。**
- **本体でエラーが発生した場合には、ユーザーにそのことを知らせる電子メールが届きます。**

参照

電子メールを使用するための設定、および電子メールの送信の仕方については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

3.12 E メールプリントをする

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの送受信ができる環境が用意されている場合には、コンピューターからプリンターあてにメールを送信できます。
コンピューターから送信されたメールの本文、および添付文書 (PDF またはテキストファイル) が、プリンターから印刷されます。この機能を、「E メールプリント」と呼びます。

3.12.1 E メールプリントをするための環境設定

E メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー (SMTP サーバーや POP3 サーバーなど) にも設定が必要です。
メール環境の設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
また、CentreWare Internet Services を使用して、本機側に次のような設定を行う必要があります。

項目	設定内容
ポート起動	SMTP/POP3 の [E メールプリント] を起動します。
ポートの設定（SMTP/POP3）	本体メールアドレスや、SMTP サーバーアドレス、POP3 サーバーアドレス、POP ユーザー名、POP パスワードなどのメール環境と E メールプリントの設定をします。 印刷するためのパスワードも、ここで設定します。

参照

- ポートの起動は、操作パネルからもできます。操作パネルを使った起動方法は、「1.2.3 プロトコルを設定する」を参照してください。
- CentreWare Internet Services での設定方法については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

ここでは、これらの環境はすでに設定されていることを前提に説明します。

3.12.2 送信できる添付ファイル

添付文書として送信できるのは、次のファイルだけです。
- **PDF ファイル**
- **テキスト (txt) ファイル**

補足
テキストファイル（メールの本文を含む）を印刷する場合は、操作パネルで、【1 システムセッテイ】の【テキストインサツ】を【スル】に設定してください。【テキストインサツ】の初期値は【シナイ】です。

3.12.3 メールを送信する

E メールプリントをする場合は、コンピューターのメールソフトを使用して、メールのあて先にプリンターの本体メールアドレスを指定します。
そして、メールの件名または本文に、次に示す特定のコマンドを記述し、印刷したい文章を記述、または PDF、txt ファイルを添付します。

参照
メールの送信方法は、使用しているメールソフトによって異なります。各メールソフトの説明書を参照してください。

補足
送信メールの形式は、テキスト形式にしてください。HTML 形式（HTML メール）は対応していません。

メールの本文にコマンドを指定する場合

メール本文に記述できるコマンドは、次のとおりです。
この場合は、メールの件名は何でもかまいません。任意に付けてください。

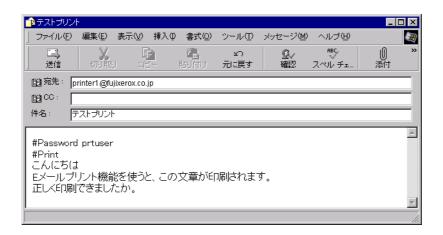
コマンド	パラメータ	説　明
#Password	パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は、必ず先頭にこのコマンドを記述します。パスワードが設定されていない場合は、省略できます。
#Print	-（なし）	#Print コマンドの次行からのテキストを印刷します。 添付文書（PDF、txt ファイル）がある場合は、添付文書を印刷します。

＜記述例＞

コマンドは、次のような規則に従って記述します。
- **コマンドの大文字・小文字は区別しません。**
- **コマンドは、必ず「#」で始め、パスワードが設定されている場合は、メールの本文の先頭は必ず #Password コマンドを記述します。**

- 「#」以外で始まる行は無視されます。
- メール本文 1 行に 1 コマンドを記述し、コマンドとパラメータは、スペースまたはタブで区切ります。
- メール内に複数の同一コマンドがある場合は、2 度め以降のコマンドは無視されます。

次に Outlook Express での記述例を示します。ここでは、本体メールアドレスが「printer1@fujixerox.co.jp」、プリント用パスワードに「prtuser」と設定されていると仮定します。

■記述例 1: メール本文のテキストを印刷する場合

■記述例 2: 添付文書を印刷する場合

補足

- #Print コマンド以降にテキストが記述されていない場合は、テキストは印刷されません。
- 添付文書（PDF、txt ファイル）は複数指定できます。
- メールの本文やテキストファイルを印刷する場合は、操作パネルで、【1 システムセッティ】の【テキストインサツ】を【スル】に設定してください。【テキストインサツ】の初期値は【シナイ】です。

メールの件名にコマンドを指定する場合

メールの件名に記述できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説　明
#Print パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は､#Print のあとにスペースで区切り、パスワードを指定します。 パスワードが設定されていない場合は、「#Print」とだけ指定します。 記述例： #Print #Print prtuser
#Print[パスワード]	プリント用パスワードが設定されている場合は､#Print のあとに [] で囲んで、パスワードを指定することもできます。 #Print と [の間には、スペースは入れないでください。 記述例：#Print[prtuser]

メールの件名に #Print コマンドを指定した場合は、メールの本文全文、および添付文書（PDF、txt ファイル）が印刷されます。
ただし、メール本文の先頭行にテキストが記述されていない場合 (改行だけ、またはスペースだけの場合も含む) は、本文のテキストは印刷されません。

本機からの確認メール

本機は､#Print コマンドが記述されたメールを受信すると､次のような返信メールを返します。
ユーザーは、この返信メールで、プリント指示が正常に受け付けられたかどうかを確認できます。

補足

件名に #Print コマンドを指定した場合は、パスワードの指定にかかわらず、返信メールの件名は「Re:#Print」になります。

```
Subject ： Re: テストプリント
   Date： Fri, 22 Feb 2002 16:11:39 +0900 (JST)
   From ： printer1@fujixerox.co.jp
     To： service@fujixerox.co.jp

[E-Mail Printing]
 -  Command received.
```

3.12.4 メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりすることがないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。
したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用されることをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可メールアドレスの指定

本機では、特定のアドレスからだけのメールを受信するように設定できます。メールの受信を許可するメールアドレスを 2 件まで登録できます。

参照

受信許可メールアドレスの設定方法については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続（ダイヤルアップルーター経由）してメール機能を使用する際のご注意

- インターネットプロバイダーは通常メールサーバーの IP アドレスを開示していません。本機は、IP アドレスの指定しかできないため、メールサーバーを設定できません。もし、IP アドレスを DNS サーバーから取得できたとしても、プロバイダー側のメンテナンスなどの関係で、メールサーバーの IP アドレスが変更される可能性があり、メールの送受信ができなくなる可能性があります。
- インターネットプロバイダーと常時接続しない契約をしている場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りにくいため、その都度電話料金がかかります。

使用できる用紙とセットの仕方

4.1 使用できる用紙と使用できない用紙

本機の性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

4.1.1　使用できる用紙

用紙カセットで使用できる用紙

補足
- 市販されている用紙を一般紙と呼び、弊社推奨の用紙を標準紙と呼びます。一般紙に印刷する場合には、次の表を参照して規格に合った用紙を使用してください。
- メートル坪量とは、1㎡ の用紙 1 枚の質量をいいます。

用紙カセット	用紙サイズ	メートル坪量	用紙の種類	枚数
用紙カセット（A3/250 枚）	A5 横 B5 横 A4 横 B4 縦 A3 縦 8.5 × 11"（レター）横 8.5 × 14"（リーガル）縦	60 ～ 90g/㎡	普通紙（一般紙） 普通紙（標準紙） • FXP 紙 メートル坪量：64g/㎡、連量：55kg	250 枚または高さ 26㎜
用紙カセット（A4/500 枚）	A4 横	60 ～ 90g/㎡	普通紙（一般紙） 普通紙（標準紙） • FXP 紙 メートル坪量：64g/㎡、連量：55kg	500 枚または高さ 54㎜

手差しトレイで使用できる用紙

手差しトレイでは、次のサイズの普通紙を使用できます。

普通紙

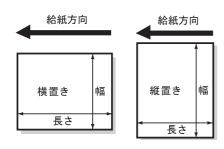
用紙サイズ	メートル坪量	用紙の種類	枚数
A5 横 B5 縦 / 横 A4 縦 / 横 B4 縦 A3 縦 8.5 × 11"（レター）縦 / 横 8.5 × 14"（リーガル）縦 官製はがき 横 ユーザー定義サイズ （幅：87 ～ 297㎜、長さ：100 ～ 900㎜）	60 ～ 135g/㎡（官製はがき 190g/㎡）	普通紙（一般紙 / 標準紙）	150 枚または高さ 16㎜

手差しトレイでは、次の特殊紙を使用できます。

特殊紙

メートル坪量	用紙の種類とサイズ	枚数
60 ～ 135g/㎡	OHP フィルム XEROX P/N JE-001(Japan)　　A4 • FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムのように、白い枠付きのものは使用できません。	75 枚
	ラベル用紙 (A4) XEROX P/N V860(Japan)　　A4 • 使用できるのは、全面がシールで、カットされていないものです。	75 枚
	封筒 洋形 4 号ケント紙 (105 × 234㎜) • 封筒は、のりづけ部分に接着テープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、高温多湿のために、のりづけ部分がベタついていなければ使用できます。	10 枚
190g/㎡	官製はがき • 少しでもはがきが反っていると、紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。また、かもめーるなど多色刷りのはがきに印刷することはお勧めできません。	50 枚
60 ～ 135g/㎡	厚紙 RX110　　A4、B4、A3 KF135　　A4、B4、A3	高さ 16㎜
	カラーペーパー ゼロックスカラーペーパー　　A4、B4	
	第 2 原図用紙 MX 紙　　A4、B4、A3	

補足

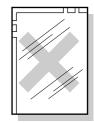
表中の「横置き」、「縦置き」、「幅」、「長さ」の関係は、下図のとおりです。

4.1.2　両面印刷に使用できる用紙の種類とサイズ

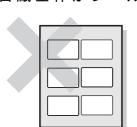
オプション品の両面印刷モジュールを取り付けている場合は、用紙カセットにセットしてある普通紙を使用して、用紙の両面に印刷できます。

給紙方法	用紙サイズ	メートル坪量	用紙の種類
トレイ 1 〜 3 手差しトレイ	A5 横 B5 縦 / 横 A4 縦 / 横 B4 縦 A3 縦 8.5 × 11"（レター）縦 / 横 8.5 × 14"（リーガル 14）縦	60 〜 90g/㎡	普通紙（一般紙） 普通紙（標準紙） • FXP 紙 メートル坪量：64g/㎡、 連量：55kg

4.1.3　使用できない用紙

次のような用紙は、紙づまり、故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

- フルカラー用の OHP フィルムや、白い枠付きの OHP フィルム
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 一度印刷された用紙
- シワや折れ、破れがある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている（カールしている）用紙
- 静電気で密着している用紙
- 張り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 150 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけて印刷されることがあります。そのときは中性紙に替えてください。

白い枠付きの
OHPフィルム

- 凹凸や留め金がある封筒
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- のりづけ部分がのりでベタついている封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないもの

4.1.4 用紙の保管方法

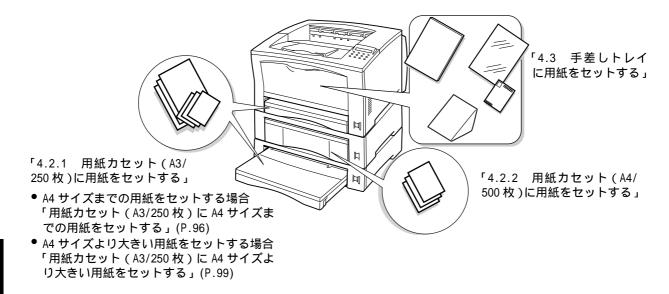
適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまり、印字品質の低下、および故障の原因になります。用紙は、次の条件を満たす場所に保管してください。

- 温度　10 ～ 30 ℃
- 相対湿度　30 ～ 65%
- 湿気が少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどに注意して保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管してください。

4.2 用紙カセットに用紙をセットする

用紙カセットや手差しトレイに用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときに、用紙をセットする方法について説明します。

参照

セットできる用紙の種類やサイズについては、「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」を参照してください。

4.2.1　用紙カセット(A3/250枚)に用紙をセットする

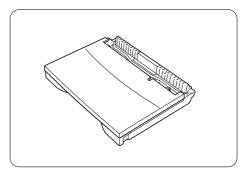
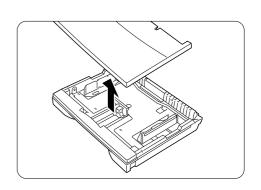
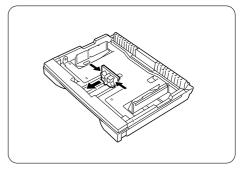
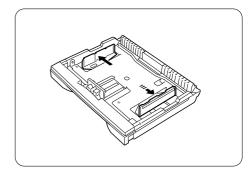
用紙カセット（A3/250 枚）に A4 サイズまでの用紙をセットする

参照

用紙カセット（A3/250 枚）は、A4 サイズより大きいサイズの用紙をセットする場合、カセットを延長して使用します。「用紙カセット（A3/250 枚）に A4 サイズより大きい用紙をセットする」(P.99) を参照してください。

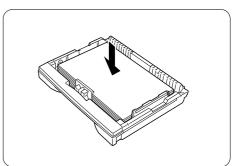
1　用紙カセットを平らな場所に置きます。

補足

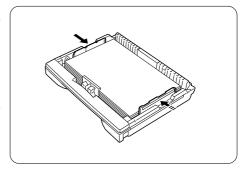
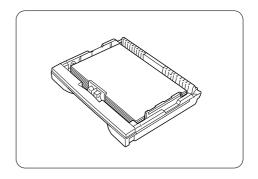
用紙カセットが本機にセットされている場合は、カセットを本機から引き抜きます。

2　用紙カセットのフタを取ります。

3　縦ガイドクリップを指でつまみ、外側いっぱいまでずらします。

4　左側の横ガイドを外側にずらします。

5　用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットします。

このとき、横ガイドに用紙がのり上げないようにしてください。

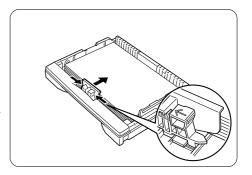
注記

- 折りめやシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数、または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。

6 右側の横ガイドを内側にずらし、用紙の幅に合わせます。

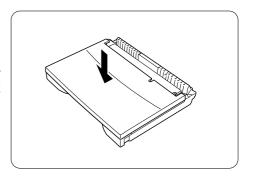
注記

横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

7 用紙の端をそろえます。

8 縦ガイドクリップを指でつまんで内側にずらし、セットした用紙サイズの刻印に合わせます。

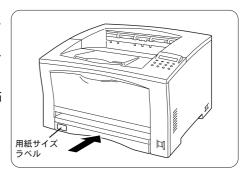
補足

- 用紙の端は、縦ガイドクリップの突起の下に入れてください。
- 縦ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。縦ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

9 用紙カセットのフタを閉めます。

注記

用紙カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれる原因になることがあります。

10 用紙カセットを、本機の奥に突き当たるまで押し込みます。

奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

11 カセットフィーダーのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせます。

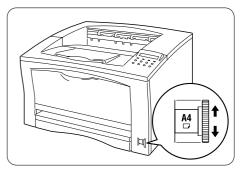
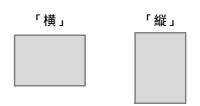
図はA4横にセットした例です。

注記

- サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙サイズと向きに合わせてください。
- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。本機が誤動作する場合があります。

補足

右図を参考に、用紙の向きを確認してください。

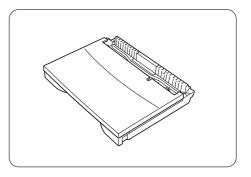
「横」　「縦」

用紙カセット（A3/250枚）にA4サイズより大きい用紙をセットする

1 用紙カセットを平らな場所に置きます。

補足

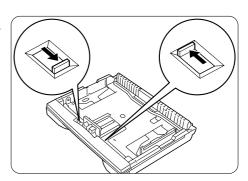
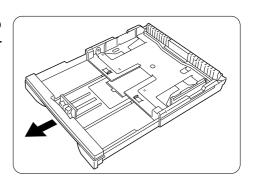
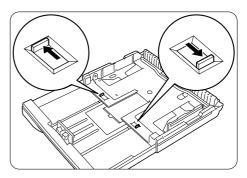
用紙カセットが本機にセットされている場合は、カセットを本機から引き抜きます。

使用できる用紙とセットの仕方

4

2 用紙カセットのフタを取ります。

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、外側いっぱいまでずらします。

4 左側の横ガイドを外側にずらします。

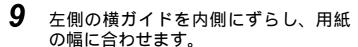
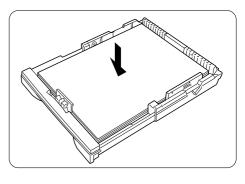
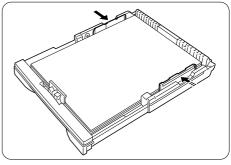
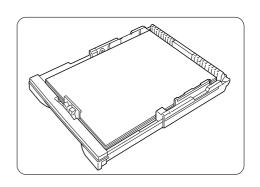
5 用紙カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックを解除します。

6 用紙カセットの持ち手の部分を持って、延長部を手前にいっぱいまで引き出します。

7 用紙カセットの左右の突起部を、外側に動かしてロックします。

8 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットします。

このとき、横ガイドに用紙がのり上げないようにしてください。

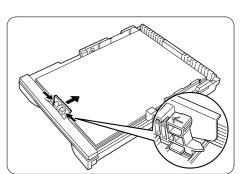
注記

- 折りめやシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数、または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。

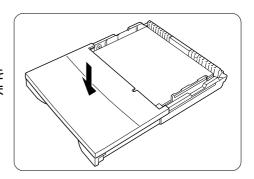
9 左側の横ガイドを内側にずらし、用紙の幅に合わせます。

注記

横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

10 用紙の端をそろえます。

11 縦ガイドクリップを指でつまんで内側にずらし、セットした用紙サイズの刻印に合わせます。

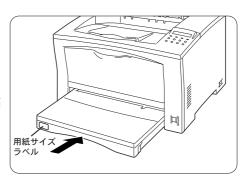
注記

- 用紙の端は、縦ガイドクリップの突起の下に入れてください。
- 縦ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。縦ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

12 用紙カセットのフタを閉めます。

注記

用紙カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれる原因になることがあります。

13 用紙カセットを、本機の奥に突き当たるまで押し込みます。

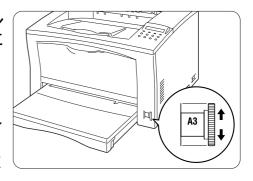
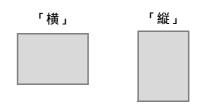
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

14 **用紙カセットのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせます。**

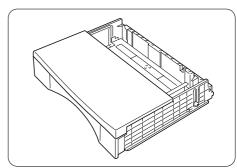
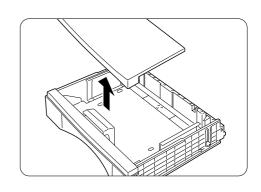
図はA3縦にセットした例です。

注記

- サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙サイズと向きに合わせてください。
- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。本機が誤作動する場合があります。

補足

右図を参考に、用紙の向きを確認してください。

4.2.2 用紙カセット（A4/500枚）に用紙をセットする

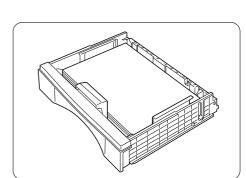
用紙カセット（A4/500枚）に、A4サイズの用紙を横置きでセットする方法を例に説明します。

1 **用紙カセットを平らな場所に置きます。**

2 **用紙カセットのフタを取ります。**

3 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、左右のツメの下にセットします。

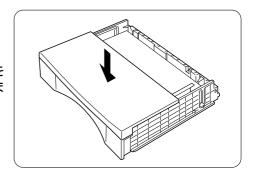
このとき、横ガイドに用紙がのらないようにしてください。

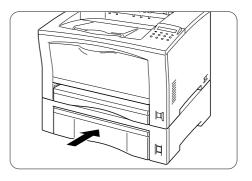
注記

- 折りめやシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- 用紙が左右のツメの上にのらないようにしてください。

4 用紙の端をそろえます。

5 用紙カセットのフタを閉めます。

注記

用紙カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれる原因になることがあります。

6 用紙カセットをカセットフィーダーの奥に突き当たるまで押し込みます。

奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

4.3 手差しトレイに用紙をセットする

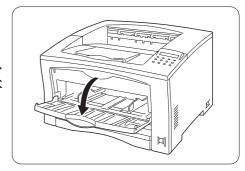
手差しトレイに用紙をセットする手順を説明します。

参照

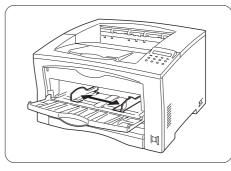
手差しトレイにセットできる用紙の種類やサイズについては、「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」を参照してください。

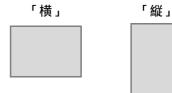
1 手差しトレイを開きます。

注記

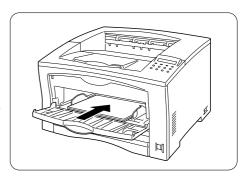
手差しトレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せないでください。破損の原因になります。

2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

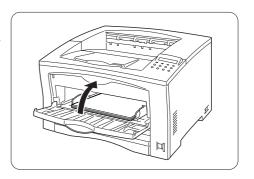
注記

サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

補足

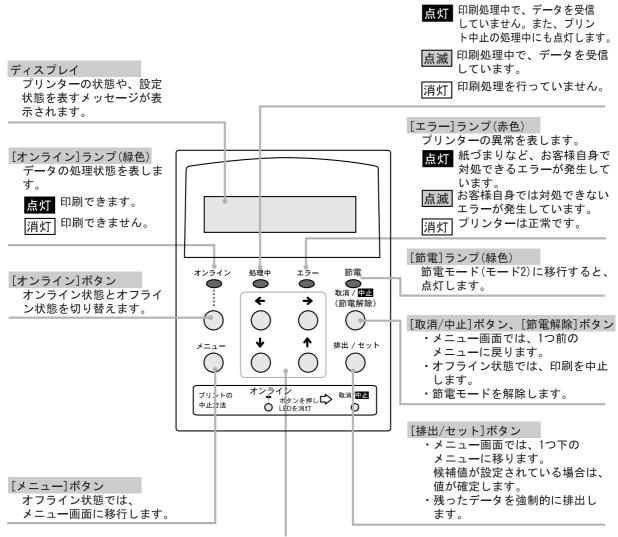
- 同じサイズの用紙を補給する場合には、この手順は必要ありません。
- 右図を参考に、用紙の向きを確認してください。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

注記

- 折りめやシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

4 **セットした用紙の給紙方向の寸法が、A4 サイズの短辺以下の場合は、手差しトレイを閉じて使用できます。**

5章

操作パネルについて

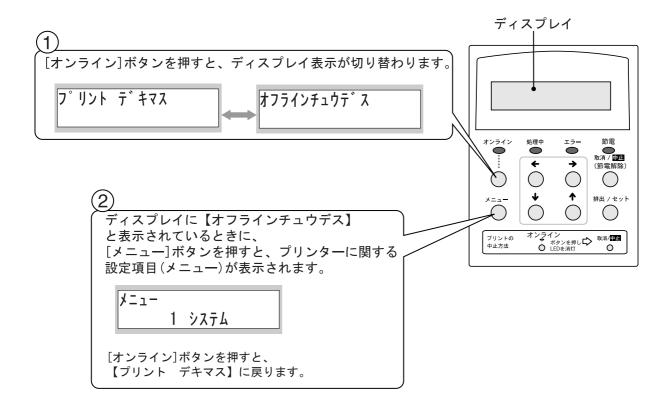
5.1 操作パネルの各部の名称

操作パネルは、ランプ、ディスプレイ、ボタンで構成されています。ここでは、操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。

5.2 メニュー画面の基本操作

メニュー画面では、節電モードやジョブタイムアウトの時間、ネットワークの設定など、本機に関する設定をします。

5.2.1 メニュー画面を表示するには

［オンライン］ボタンを押してから、［メニュー］ボタンを押すと、メニュー画面を表示できます。

5.2.2 メニューの構成

本機の操作パネルを使用して設定できるメニュー名と設定内容は、次のとおりです。

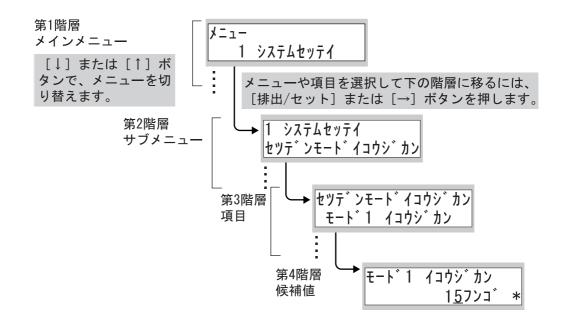
参照

各メニューの詳細については、「5.3　メニュー画面項目の説明」を参照してください。

メニュー	内容
1 システムセッテイ	節電モードやジョブ履歴の設定など、本機の基本的な動作に関する設定をします。
2 メンテナンスモード	本機の NV メモリーを初期化したり、用紙の種類別に転写電圧を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティを設定します。
3 パラレル	パラレルインターフェイスに関する設定をします。
4 レポート / リスト	プリンター設定リスト、パネル設定リスト、XPL2 フォントリスト、プリント履歴レポートを印刷します。
5 ネットワーク	ネットワークに関する設定をします。
6 PDF Bridge	PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。

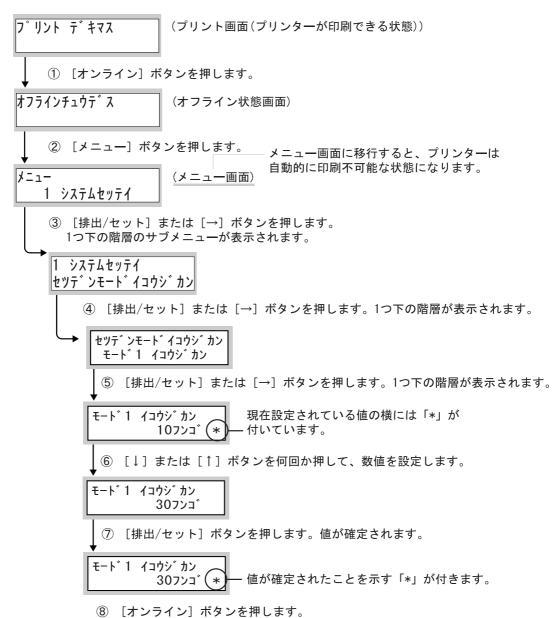
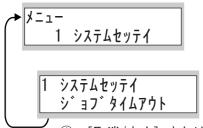
メニューはいくつかの階層から構成されています。それぞれの階層で目的のメニューや項目を選択しながら、本機の設定をします。

補足

メニューによって、3 階層 (項目がない) の場合もあります。

5.2.3 基本的な操作方法（操作例：節電モード移行の設定を変更する）

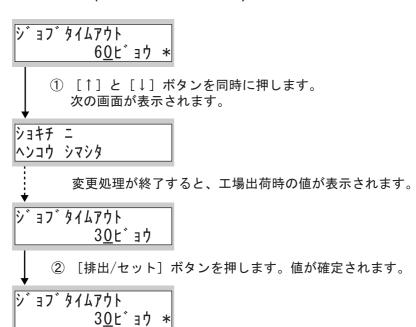
ここでは、【1 システムセッテイ】メニューの【セツデンモードイコウジカン】を【30 フン】に設定する例で、操作パネルの基本的な操作方法を説明します。

補足

- 節電モードには、本機の動きを部分的に抑える［節電モード（モード 1)］と、本機の動きを部分的に休止する［節電モード（モード 2)］があります。
- オプション品のネットワーク拡張カードを取りつけている場合は、節電モード（モード 2）は無効です。

階層を 1 つ上に戻るには

① ［取消/中止］または［←］ボタンを押します。

注記

［取消/中止］ボタンは、1つ上の階層に戻るときに使用します。
一度［排出/セット］ボタンを押して確定した値(「*」が付きます)は、
［取消/中止］ボタンを押しても元に戻りません。

設定を初期値(工場出荷時の値)に戻すには

5.2.4 設定を間違えたときには

プリンター操作パネルで操作を間違えたときは、次のように対処します。

[排出 / セット] ボタンを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

[取消 / 中止] ボタンを押します。

[↓] ボタンを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

[↑] ボタンを押します。

操作を間違えて、元のディスプレイ表示に戻れなくなった場合

[オンライン] ボタンを押して、初めから設定し直してください。

[排出 / セット] ボタンを押して、間違った値を確定してしまった場合 (設定値の後ろに「 * 」が付きます)

この場合は、[取消 / 中止] ボタンを押しても元に戻りません。
設定し直してください。

5.3 メニュー画面項目の説明

メニュー画面で設定できる項目や値について、メインメニュー別に説明します。

注記

メニュー画面の項目の中には、印刷時にコンピューターから指定できるものもあります。コンピューターからの設定と本機での設定が異なる場合は、コンピューターからの設定が本機での設定よりも優先します。

補足

初期値とは、工場出荷時の値です。

5.3.1 システムセッテイ

節電モードやジョブ履歴の設定など、本機の基本的な動作に関する設定をします。

メニュー項目	説明
節電モード移行時間	**節電モードとは、本機を使用していないときの消費電力を節約する機能です。節電モードには、機械の働きを部分的に抑える節電モード 1 と、機械の働きを部分的に休止する節電モード 2 があります。** **節電モードになると、ディスプレイに【プリント デキマス / タイキ】と表示されます。また、通常の状態より、データを受信してから印刷を開始するまでに、数秒長く時間がかかります。** **ここでは、それぞれの節電モードに移行するまでの時間を設定します。** 補足 • 本機は、節電モードに移行していても、印刷を指示してから印刷が開始されるまでの待ち時間が少ないことが特長です。エネルギー節約のため、本機の使用状況に合わせ、節電モード移行時間を短く設定することをお勧めします。 • オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合は、節電モード（モード 2）は無効です。 • 後述の【セツデンモード】で、各節電モードへの移行が無効に設定されている場合は、そのモードに切り替わりません。 • 次のとき、節電モードが解除されます。 　• 節電モード（モード 1）の場合 　印刷データを受け付けたとき / 操作パネルからレポート / リストを印刷したとき / 操作パネルの［取消 / 中止］（節電解除）ボタンを押したとき 　• 節電モード（モード 2）の場合 　ネットワーク経由で印刷データを受け付けたとき / 操作パネルの［取消 / 中止］（節電解除）ボタンを押したとき **• モード 1 イコウジカン（初期値：1 フンゴ）** **1 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎても本機が使用されないと、節電モード（モード 1）に切り替わります。** **• モード 2 イコウジカン（初期値：9 フンゴ）** **シナイ、5 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。節電モード（モード 1）に移行後、ここで設定した時間が過ぎても本機が使用されないと、節電モード（モード 2）に切り替わります。**

メニュー項目	説明
節電モード	**各モードごとに、節電モードへの移行を有効にするかどうかを設定します。【ムコウ】に設定すると、節電モードに移行しません。** 補足 • 本機は、節電モードに移行していても、印刷を指示してから印刷が開始されるまでの待ち時間が少ないことが特長です。エネルギー節約のため、節電モードの使用をお勧めします。 • オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合は、節電モード（モード 2）は無効です。 **• モード 1（初期値：ユウコウ）** **• モード 2（初期値：ユウコウ）**
ジョブタイムアウト	**印刷処理が、設定した時間を経過しても終了しない場合、その処理を強制的に終了させることができます。これをジョブタイムアウトといいます。** **ジョブタイムアウトが発生すると、本機はその時点までに受信したデータだけを印刷します。** 補足 Windows から印刷する場合、ジョブタイムアウトの設定がプリンタードライバーでの設定と異なるときは、プリンタードライバーでの設定が優先されます。工場出荷時は、プリンタードライバーでは、［タイムアウト］（［初期設定］タブ）は［しない］に設定されています。 **• 5 ～ 300 ビョウ (初期値：30 ビョウ)** **ジョブタイムアウトの処理を行う時間を、5 ～ 300 秒の間で、1 秒単位で設定します。** **• オフ** **ジョブタイムアウトの処理を行いません。**
パネル表示言語	**操作パネルに表示される言語を設定します。候補値は次のとおりです。** **• ニホンゴ (初期値)** **• エイゴ**
履歴の自動プリント	**プリント履歴レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。** 注記 印刷処理中は、この項目の設定はできません。 補足 プリント履歴レポートは、【4 レポート / リスト】メニューから印刷することもできます。 **• シナイ (初期値)** **処理した印刷ジョブが 22 件になっても、自動的にはプリント履歴レポートを印刷しません。** **• スル** **処理した印刷ジョブが 22 件になると、自動的にプリント履歴レポートを印刷します。**

メニュー項目	説明
トナーエンド検知	EP カートリッジのトナーが残り少なくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたあと、印刷できる面数を設定します。 ここで設定した面数を印刷すると、新しい EP カートリッジと交換するまで、本機は印刷できなくなります。 • シナイ（初期値） トナーが少なくなっても、印刷が続行されます。EP カートリッジのトナーを使い切りたい場合に選択します。 • 100 〜 1000 メン メッセージが表示されてから何面印刷できるようにするかを、1 面単位で設定します。 注記 • 初期値（【シナイ】）では、トナーが少なくなっても印刷が続行されるため、印刷に白抜けなどが発生します。印刷の白抜けなどを防ぎたい場合は、メッセージ表示後に何面印刷できるようにするかを設定してください。 • メッセージ表示後に印刷できる面数を多く設定すると、印刷に白抜けなどが発生することがあります。少ない面数を設定することをお勧めします。
ID プリント	特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 • シナイ (初期値) • ヒダリウエ • ミギウエ • ヒダリシタ • ミギシタ
テキスト印刷	本機がサポートしている PDL 以外のデータを受信したときに、テキストデータとして印刷するかどうかを設定します。 補足 テキストデータは、A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。 • スル テキストデータとして印刷します。 • シナイ（初期値） テキストデータとして印刷しません。

5.3.2 メンテナンスモード

本機の NV メモリーを初期化したり、用紙の種類別に転写電圧を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティを設定します。

メニュー項目	説明
NV メモリー初期化	**NV メモリーを初期化します。** **NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。** 注記 印刷の処理中は、この項目を実行できません。 • **ハイ** **NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、操作パネルで設定した各メニュー項目が初期値に戻ります。** 注記 このメニューで設定した値を有効にするには、本機の再起動が必要です。設定後、必ず本機の電源を切り、入れ直してください。 • **イイエ** **NV メモリーを初期化しないで、メニューに戻ります。**
セキュリティ	**メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、パスワードを設定できます。** • **パネルセッテイホゴ (初期値：シナイ)** **パスワードを設定する場合は、【スル】に設定します。** • **パスワードヘンコウ** **パスワードは 4 桁の数字で設定します。** **初期値は、0000 です。** 補足 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、【2 メンテナンスモード】の【NV メモリー ショキカ】で【ハイ】にカーソルを合わせた状態で、［↑］、［↓］、［排出 / セット］ボタンを同時に押してください。パスワードが初期化されます。

操作パネルについて

5

5.3.3　パラレル

パラレルインターフェイスに関する設定をします。

メモリー項目	説明
Busy-Ack	パラレルインターフェイスの BUSY 信号と ACK 信号の、出力タイミングを設定します。 BUSY 信号は、プリンター部がコンピューターに対してデータを受信できない状態であることを表す信号です。 ACK 信号は、プリンター部がコンピューターに対して受信の準備ができていること、またはデータを正しく受信したことを表す信号です。 • Ack-Busy（初期値） ACK 信号を受信したあとに、BUSY 信号が変化します。 • Ack-Busy-Ack BUSY 信号が先に変化し、信号を出力します。 • Busy-Ack ACK 信号を出力中に、BUSY 信号が変化します。 Ack-Busy　Busy-Ack　Ack-Busy-Ack Busy　Busy　Busy Ack　Ack　Ack
ECP	パラレルインターフェイスの通信モードである、ECP モードについて設定します。 • ユウコウ (初期値) ECP による印刷データを受け付けます。 • ムコウ ECP による印刷データを受け付けません。

5.3.4 レポート / リスト

各種リストやレポートを印刷します。

補足

各種リストやレポートはA4サイズの用紙に印刷されます。用紙カセットにA4サイズの用紙をセットしてください。

メニュー項目	説明
プリンター設定リスト	本機のハードウェア構成、および各種設定の内容を印刷します。 参照 プリンター設定リストの印刷例は、「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」を参照してください。
パネル設定リスト	操作パネルの各メニューで設定されている内容を印刷します。
XPL2 フォントリスト	XPL2 データで、印字できるフォントの情報を印刷します。
プリント履歴レポート	処理した印刷ジョブに関する情報 (最大 22 件) を印刷します。プリント履歴レポートでは、正しく印刷できたかどうかを確認できます。 参照 プリント履歴レポートの印刷例は、「3.10.2　プリント履歴レポートを印刷する」を参照してください。

5.3.5 ネットワーク

ネットワークに関する設定をします。メニュー中の一部の項目は、オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ表示されます。

注記

- 印刷中にメニュー画面に移行した場合は、このメニューの設定はできません。
- このメニューで設定した値を有効にするには、本機の再起動が必要です。設定後、必ず本機の電源を切り、入れ直してください。

メニュー項目	説明
Ethernet 設定	Ethernet の通信速度やモードを設定します。 • ジドウ (初期値) 10Base ハーフ、10Base フル、100Base ハーフ、100Base フルを自動的に切り替えます。 • 10Base　ハーフ • 10Base　フル • 100Base　ハーフ • 100Base　フル

操作パネルについて

5

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>TCP/IP</td><td>
TCP/IP プロトコルを使用するために必要な情報を設定します。このメニューには、次の項目があります。
• IP アドレスセットアップ
IP アドレスの取得方法を設定します。候補値は次のとおりです。
•【DHCP】(初期値)
ネットワーク上の DHCP サーバーから、IP アドレスを取得します。
•【パネル】
操作パネルで IP アドレスを設定します。
• IP アドレス
本機の IP アドレスを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 〜 255 の間で設定します。
ただし、次の設定はできません。
224 〜 255.xxx.xxx.xxx
127.xxx.xxx.xxx
注記
•【IP アドレスセットアップ】で【DHCP】が設定されている場合は、ここでの設定は無効です。操作パネルからの設定を有効にするには、【IP アドレスセットアップ】を【パネル】に設定してください。
• IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
• 本機の TCP/IP 設定において、クラスレスアドレスは使用できません（CIDR 未対応）。
詳細は次のとおりです。
• クラス A のアドレスを使用する場合は、上位 8 ビットより短いサブネットマスク（「254.0.0.0」など）を設定して運用できません。
• クラス B のアドレスを使用する場合は、上位 16 ビットより短いサブネットマスク（「255.254.0.0」など）を設定して運用できません。
• クラスCのアドレスを使用する場合は、上位24ビットより短いサブネットマスク（「255.255.254.0」など）を設定して運用できません。
• サブネットマスク
サブネットマスクを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を使用して設定します。
• ゲートウェイアドレス
ゲートウェイアドレスを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 〜 255 の間で設定します。
ただし、次の設定はできません。
224 〜 255.xxx.xxx.xxx
127.xxx.xxx.xxx
</td></tr>
</table>

メニュー項目	説明
IPX フレームタイプ	**IPX/SPX(NetWare) 環境で使用する場合の、フレームタイプを設定します。** 注記 このメニューは、オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ、表示されます。 • **ジドウ（初期値）** **フレームタイプを自動設定します。** • **802.3** **IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使用します。** • **802.2** **IEEE802.3/802.2 仕様のフレームタイプを使用します。** • **SNAP** **IEEE802.3/802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使用します。** • **Ethernet- II** **Ethernet- II 仕様のフレームタイプを使用します。**

メニュー項目	説明
プロトコル	**次の項目について、プロトコルを使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** 補足 項目名の横に「*」が付いているものは、オプション品のネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ、表示されます。 **• LPD（初期値：キドウ）** **TCP/IP 環境で、LPD を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** **• Port9100（初期値：キドウ）** **TCP/IP 環境で、Port9100(Raw Data Socket) を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP で有効です。** **• IPP（初期値：キドウ）** **TCP/IP 環境で、IPP(Internet Printing Protocol) を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。Windows Me/Windows 2000/Windows XP で有効です。** **• SMB TCP/IP（初期値：キドウ）*** **トランスポートプロトコルにTCP/IPを使用した、SMB(Windowsネットワーク）環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** **• SMB NetBEUI（初期値：キドウ）*** **トランスポートプロトコルに NetBEUI を使用した、SMB(Windows ネットワーク）環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** **• NetWare（初期値：キドウ）*** **NetWare 環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** **• FTP（初期値：テイシ）** **TCP/IP 環境で、FTP（File Transfer Protocol）を使用して印刷する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** **• SNMP UDP/IP（初期値：キドウ）** **TCP/IP 環境で、SNMP エージェント機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** **• SNMP IPX（初期値：キドウ）*** **NetWare 環境で、SNMP エージェント機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** **• Status Messenger（初期値：テイシ）** **TCP/IP 環境で、SMTP/POP3 サーバーを経由した、メールによるプリンターの管理機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** **• E メールプリント（初期値：テイシ）** **TCP/IP 環境で、SMTP/POP3 サーバーを経由した、メールによる印刷をする場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** **• InternetServices（初期値：キドウ）** **CentreWare Internet Services を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。**

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>受信制限</td><td>受信制限について設定します。
【フィルタ X アドレス】(X は 1 〜 5) に受信制限を設定する IP アドレスを、【フィルタ X マスク】(X は 1 〜 5) にサブネットマスクを、0 〜 255 の数値で入力します。また、【フィルタ X モード】(X は 1 〜 5) には、設定したアドレスに対する制限を、【シナイ】(初期値)、【キョヒ】、【キョカ】から選択します。
最大 5 件が設定でき、フィルタ 1 の設定が最も優先されます。複数の制限を設定する場合は、範囲の狭いアドレスに対する制限から順に設定していきます。

参照
• 受信制限は、CentreWare Internet Services やネットワークユーティリティでも設定できます。設定例については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。
• CentreWare Internet Services については、「3.11.1 コンピューター上でプリンターの状態を確認する」を参照してください。

• フィルタ 1
• フィルタ 2
• フィルタ 3
• フィルタ 4
• フィルタ 5</td></tr>
<tr><td>NV メモリー初期化</td><td>ネットワークカード上の NV メモリーを初期化します。
NV メモリーとは、電源を切っても設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。

注記
印刷の処理中は、この項目を実行できません。

• ハイ
NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、【5 ネットワーク】メニューで設定した内容が初期値に戻ります。

注記
このメニューで設定した値を有効にするには、本機の再起動が必要です。設定後、必ず本機の電源を切り、入れ直してください。

• イイエ
NV メモリーを初期化しないで、メニューに戻ります。</td></tr>
</table>

5.3.6 PDF Bridge

PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。PDF ダイレクトプリント機能とは、PDF ファイルをプリンタードライバーを介さないで、直接プリンターに送信して印刷する機能です。
弊社ユーティリティの「Contents Bridge」を使用しないで、PDF ファイルを印刷する場合は、ここでの設定が有効になります。

メニュー項目	説明
両面	両面印刷について設定します。 • シナイ (初期値) 両面印刷を行いません。 • チョウヘントジ 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。 • タンペントジ 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。
部数	印刷する部数を 1 ～ 999 部の間で設定します。（初期値：1）
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート（1,2,3...1,2,3...）して印刷するかどうかを設定します。 • オフ (初期値) • オン
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを指定しておきます。パスワードは、最大 32 ケタの ASCII 文字で設定します。 印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合だけ、印刷できます。 なお、パスワードの入力画面は、次のような階層になっています。入力する文字に応じて、階層を移動しながら設定してください。 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《0》 ▲▼で数値を選択、ｾで確定 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《A》 ▲▼で英大文字を選択、ｾで確定 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《a》 ▲▼で英小文字を選択、ｾで確定 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《 》 ▲▼で記号を選択、ｾで確定 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｹｯﾃｲ ｾ ■設定手順の流れ ①パスワードの先頭文字に対応する階層に < ▼ >< ▲ > ボタンで移動します。 ② < ▼ >< ▲ > ボタンで入力する文字を表示し、< ｾｯﾄ / 排出 > ボタンを押します。選択した文字が下段に表示され、1 文字確定されます。 ③手順①、②を繰り返し、すべてのパスワードを入力します。 ④ < ▼ > ボタンで「ケッテイ」画面まで移動し、< ｾｯﾄ / 排出 > ボタンを押します。入力したパスワードが「****************」と表示され、確定されます。

メニュー項目	説明
レイアウト	印刷方法を設定します。 • ジドウバイリツ (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A3/A4/Letter サイズのいずれかを自動的に判別し、印刷されます。ただし、A3 サイズ /Letter サイズと判別される場合でも、該当サイズの用紙がセットされていなければ、A4 サイズに印刷されます。 • 100% トウバイ 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 • カタログ 印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのように、A4 または A3 サイズの用紙にページ割り付けされて両面印刷されます。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、[ジドウバイリツ] で印刷されます。 【カタログ】を選択すると、【リョウメン】の設定は無効です。 • 2 アップ 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。 • 4 アップ 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。
用紙サイズ	出力する用紙のサイズを設定します。 • A4（初期値） A4 サイズの用紙に印刷されます。 • ジドウ 印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
用紙種類	出力する用紙の種類を設定します。 • フツウシ（初期値） • OHP フィルム • アツガミ 補足 「Contents Bridge」ユーティリティの [用紙種類] で [プリンタ設定] を選択すると、ここでの設定が有効となります。
印刷モード	印刷の処理の仕方を指定します。 • コウソク 速度を優先して印刷します。 • ヒョウジュン（初期値） 標準的な速度、画質で印刷します。 • コウガシツ 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。

6章

困ったときには

6.1 電源が入らない

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない	本機の電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「3.2.1　電源を入れる」
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	本機の電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。
	正しい電圧（100V）のコンセントに接続していますか。	本機は、定格電圧 100V(ボルト) で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で接続してください。 コンピューターの背面にあるコンセントには、接続できません。
たびたび電源が切れる	本機が故障している可能性があります。	本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	本機の電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。

6.2 印刷できない

6.2.1 ランプが点灯、点滅している、または消えている

症状	チェック項目	対処方法
エラーランプが点灯している	**操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。**	**操作パネルに表示されているエラーメッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。** 参照 「6.6　操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」
エラーランプが点滅している	**お客様自身では対処できないエラーが発生しています。**	**表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**
オンラインランプが消えている	**本機がオフライン状態になっていませんか。**	**操作パネルの［オンライン］ボタンを押してオンライン状態に切り替えてください。** 参照 「5.1　操作パネルの各部の名称」
印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	**パラレルケーブルや USB ケーブル、ネットワークケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。**	**本機の電源を切り、パラレルケーブルや USB ケーブル、ネットワークケーブルを差し込み直してください。** 参照 • パラレルケーブル、ネットワークケーブルの場合 『セットアップガイド』 • USB ケーブルの場合 「2.4　USB ポートの設定をする」の「USB ケーブルを接続する」(P.48)
	ネットワーク拡張カード (オプション) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	**本機の電源を切り、ネットワーク拡張カードを本機に正しく取り付け直してください。** 参照 『セットアップガイド』

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	パラレルケーブルやUSBケーブル、ネットワークケーブルは、コンピューターや本機の仕様に合っていますか。	本機では、接続するコンピューターに合わせたパラレルケーブルを用意しています。こちらを使用してください。 また、本機でサポートしているイーサネットインターフェイスは、10BASE-Tと100BASE-TXです。ネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを使用してください。なお、100BASE-TXの場合は、カテゴリー5のケーブルが必要です。 参照 •「付録A　オプション品と消耗品の紹介」 • パラレルケーブル、ネットワークケーブルの接続について『セットアップガイド』 • USBケーブルの接続について「2.4　USBポートの設定をする」の「USBケーブルを接続する」(P.48)
	コンピューター側の環境は、正しく設定されていますか。	コンピューター側で次の設定を確認し、違っている場合は、設定し直してください。 • 使用しているコンピューターのOSに合った本機用のプリンタードライバーを正しくインストールしていること • プリンタードライバーで印刷先のポートを正しく設定していること 参照 「第2章　プリンタードライバーのインストール」
	本機に適正なIPアドレスが設定されていますか(TCP/IP環境使用時)。	ネットワーク管理者に確認し、正しいIPアドレスを設定してください。現在設定されているIPアドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」 •「1.2.2　IPアドレスを設定する」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	本機側のネットワーク環境は正しく設定されていますか(ネットワーク使用時)。	プリンター設定リストを印刷し、ネットワーク環境が正しく設定されているかどうかを確認してください。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照 •「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」 •「1.2　使用環境を設定する」 •『ネットワークガイド』
	ネットワーク上に異常が発生した可能性があります(ネットワーク使用時)。	本機の電源が入っていることを確認してから、再度コンピューターから印刷を指示してください。 それでも、同様の症状が発生する場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
	本機の電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「3.2.1　電源を入れる」
処理中ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	本機内にデータが残っている可能性があります。	印刷を中止するか、残っているデータを強制排出してください。 参照 •「3.5　印刷を中止する」 •「3.6　残ったデータを強制排出する -印刷が途中で止まったときは -」

6.2.2 Windows から印刷できない

症状	チェック項目	対処方法
印刷できない	**プリンターウィンドウで本機の状態表示が「一時停止」になっていませんか。**	**印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止した場合、本機の状態が「一時停止」になることがあります。「一時停止」になっているときは、次の手順で解除してください。** **①[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。(Windows XP では、[スタート] メニューから、[プリンタと FAX] をクリックします。)** **②本機のプリンターアイコンをダブルクリックします。** **③プリンターウィンドウの [ファイル] メニューをクリックします。** **④[一時停止] の左にチェックが付いている場合は、[一時停止] をクリックします。**
	本機の電源が切れていませんか。	**電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。** 参照 「3.2.1　電源を入れる」
	パラレルケーブルや USB ケーブル、ネットワークケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	**本機の電源を切り、パラレルケーブルや USB ケーブル、ネットワークケーブルを差し込み直してください。** 参照 • パラレルケーブル、ネットワークケーブルの場合 『セットアップガイド』 • USB ケーブルの場合 「2.4　USB ポートの設定をする」の「USB ケーブルを接続する」(P.48)
	ネットワーク拡張カード (オプション) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	**本機の電源を切り、ネットワーク拡張カードを本機に正しく取り付け直してください。** 参照 『セットアップガイド』
	-	**使用しているハブの種類によっては、コンピューターから本機への転送速度が著しく遅くなる場合があります。しばらくお待ちください。**

症状	チェック項目	対処方法
印刷できない	[節電] ランプが点灯していませんか。	USB またはパラレル接続でご使用の場合、節電モード (モード 2) 中に印刷を指示しても、自動で節電解除されません。[取消 / 中止 (節電解除)] ボタンを押して、節電を解除してから印刷を指示してください。
TCP/IP プロトコル使用時に印刷できない	IP アドレスは正しく設定されていますか (TCP/IP プロトコル使用時)。	IP アドレスが変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。 現在本機に設定されている IP アドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」 •「1.2.2　IP アドレスを設定する」
	受信制限が設定されていませんか。	受信制限が設定されていないかどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
TCP/IP Direct Print Utility を使用していて印刷できない	プリンターアイコンの「プロパティ」ダイアログボックスで、[詳細] タブのスプール設定が [プリンタに直接印刷データを送る] になっていませんか (Windows® 95 で使用時)。	[詳細] タブの [スプールの設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスで [印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う] を選択してください。
	プリンターウィンドウで本機の状態表示が「印刷不可能」になっていませんか。	TCP/IP Direct Print Utility を使用していて印刷できない場合は、『ネットワークガイド』を参照して、対処してください。 参照 『ネットワークガイド　TCP/IP 環境でのトラブル』
SMB 環境で印刷できない (ネットワーク拡張カード取り付け時)	コンピューターに、「サーバ上にファイルを格納する領域がありません」のメッセージが表示されていませんか。	複数のコンピューターから同時に印刷要求があった、またはほかのプロトコルで印刷中に印刷を指示した場合、このようなメッセージが表示されることがあります。 印刷前に、印刷先のプリンターウィンドウを表示し、印刷中のデータがないことを確認してから、印刷を指示してください。

困ったときには

6

症状	チェック項目	対処方法
（前ページから） SMB環境で印刷できない（ネットワーク拡張カード取り付け時）	コンピューターに、「書き込みエラー」が表示されていませんか。	Windows ネットワークに同時に接続できる数の制限を超えている場合には、このようなメッセージが表示されることがあります。 印刷前に、印刷先のプリンターウィンドウを表示し、印刷中のデータがないことを確認してから、印刷を指示してください。
NetWare環境で印刷できない（ネットワーク拡張カード取り付け時）	ハブなどのネットワーク構成機器がフレームタイプの自動設定に適合していますか。	本機が接続されているネットワーク構成機器のポートのデータリンクランプが点灯しているかどうかを確認してください。 点灯していない場合は、操作パネルを使用して、フレームタイプをNetWareファイルサーバーの設定と同じ値にしてください。 参照 「5.3　メニュー画面項目の説明」
	NetWareファイルサーバーやプリントサーバー（リモートプリンターモードで使用時）は、起動していますか。	NetWare ファイルサーバーやプリントサーバー（リモートプリンターモードで使用時）を起動してください。
	NetWareファイルサーバー上で、NetWare環境が正しく設定されていますか。	ネットワークユーティリティを使用して、環境が正しく設定されているかどうかを確認してください。 参照 •『ネットワークガイド　Fuji Xerox ネットワークユーティリティでの設定』 •『ネットワークガイド　NetWare環境でのトラブル』
コンピューター側にエラーメッセージが表示されている	本機に何らかのエラーが発生している可能性があります。	メッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。

6.3 印字品質が悪い

6.3.1 白紙、または全体が黒く出力される

症状	チェック項目	対処方法
何も印刷されない	**一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか。**	**用紙をいったん取り出し、よくさばいてください。そのあと、用紙をセットしてください。**
	EP カートリッジのトナーシールが引き抜かれていません。	**トナーシールを引き抜いてください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	EP カートリッジは、正しくセットされていますか。	**EP カートリッジを正しくセットしてください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	本機が故障している可能性があります。	**本機の電源を切り、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**
用紙全体が黒く印刷される	**EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。**	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	本機が故障している可能性があります。	**本機の電源を切り、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**

6.3.2 印字が薄い、汚れ、白抜け、シワ、にじみ

症状	チェック項目	対処方法
印刷が薄い(かすれる) Printer	**適切な用紙を使用していますか。**	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	EP カートリッジの交換時期ではないですか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	プリンタードライバーでトナーセーブ機能を設定していませんか。	**プリンタードライバーの [グラフィックス] タブを確認して、トナーセーブの設定を変更してください。** 参照 『オンラインヘルプ』
	用紙カセットのフタを閉め忘れていませんか。	**用紙カセットのフタを閉めてください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
汚れの点が印刷される Printer	**適切な用紙を使用していますか。一度印刷した用紙などを使用していませんか。**	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

症状	チェック項目	対処方法
黒線が印刷される	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しい EP カートリッジに交換してください。 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
等間隔に汚れが起きる	用紙の搬送路に汚れが付着している可能性があります。	汚れを取るために数枚印刷してください。
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しい EP カートリッジに交換してください。 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか (特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
黒く塗りつぶされた部分の周りに影のようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか (特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」

症状	チェック項目	対処方法
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れる	**適切な用紙を使用していますか。** **折りめやシワが入った用紙を使用していませんか。**	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
部分的に白抜けする	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙カセットのフタを閉め忘れていませんか。	**用紙カセットのフタを閉めてください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
縦長に白抜けする	**EP カートリッジは、正しくセットされていますか。**	**EP カートリッジを正しくセットしてください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
	EP カートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
指でこするとかすれる	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」

症状	チェック項目	対処方法
用紙にシワがつく	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。 反っている用紙を使用していませんか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	本機の内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	**本機の電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。 本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**
	用紙カセットのフタを閉め忘れていませんか。	**用紙カセットのフタを閉めてください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	用紙の継ぎ足しをしていませんか。	セットしてある用紙を使いきる前に用紙を継ぎ足すと、用紙にしわがつくことがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使いきってから補給してください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
文字がにじむ Printer Printer Printer Printer	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

症状	チェック項目	対処方法
斜めに印刷される思った位置に印刷されない Printer Printer Printer	用紙カセットのガイドは、正しい位置にセットされていますか。	用紙カセットの縦横のガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 「第 4 章　使用できる用紙とセットの仕方」
	用紙カセットのサイズ設定ダイヤルの位置は、セットした用紙サイズと合っていますか。	用紙カセットの、サイズ設定ダイヤルの位置を確認してください。 参照 「第 4 章　使用できる用紙とセットの仕方」
	手差しトレイの用紙ガイドは、使用する用紙サイズの目盛りに合っていますか。	手差しトレイの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 「4.3　手差しトレイに用紙をセットする」

6.3.3 きれいに印刷されない

症状	チェック項目	対処方法
OHP フィルムにきれいに印刷されない	適切な OHP フィルムを使用していますか。	適切な OHP フィルムはを使用してください。 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	手差しトレイに正しくセットしていますか。	OHP フィルムを、手差しトレイに正しくセットしてください。 参照 「3.9.2　OHP フィルムに印刷する」
	プリンタードライバーで、用紙の種類を [OHP フィルム] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブで､用紙の種類を [OHP フィルム] に設定してください。 参照 「3.9.2　OHP フィルムに印刷する」
はがきにきれいに印刷されない	適切なはがきを使用していますか。	官製はがきをセットしてください。 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	プリンタードライバーで、用紙の種類を [厚紙] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブで、用紙の種類を [厚紙] に設定してください。 参照 「3.9.1　はがきに印刷する」
封筒にきれいに印刷されない	適切なサイズの封筒を使用していますか。	適切なサイズの封筒を使用してください。 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	プリンタードライバーで、用紙の種類を [厚紙] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブで、用紙の種類を [厚紙] に設定してください。 参照 「3.9.3　封筒に印刷する」

症状	チェック項目	対処方法
きれいに印刷されない	プリンタードライバーで、トナーセーブ機能を設定していませんか。	プリンタードライバーの［ グラフィックス ］タブで、設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』

6.4 用紙が正しく送られない

症状	チェック項目	対処方法
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	用紙を正しくセットしていますか。 特殊紙は、手差しトレイに正しくセットしていますか。	用紙を正しくセットしてください。 また、OHP フィルムやラベル紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙カセットが外れていませんか。	用紙カセットを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	用紙が詰まっていませんか。	詰まった用紙を取り除いてください。 ローラーなどに付着した接着テープや、のりが原因になっていることもあります。本機内部をよく点検し、完全に取り除いてください。 参照 「第 7 章　用紙が詰まったときには」
	本機は、水平な場所に設置していますか。	本機を安定した平面の上に移動してください。 参照 「8.4.1　プリンターを持ち運ぶときの注意」
	用紙カセットのフタを閉め忘れていませんか。	用紙カセットのフタを、正しい位置に合わせて閉めてください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	**プリンタードライバーで、給紙方法を正しく設定していますか。**	**プリンタードライバーで、給紙方法の設定を確認してください。また、オプション品のカセットフィーダーを取り付けている場合は、本機のオプション構成を変更しないと、トレイ2やトレイ3から給紙されません。設定を変更してください。** 参照 「3.7　オプション品の構成を変更する」
	用紙カセットの縦横のガイドは、正しい位置にセットされていますか。	**用紙カセットの縦、横の用紙ガイドを、正しい位置にセットしてください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
	用紙の継ぎ足しをしていませんか。	セットしてある用紙を使いきる前に用紙を継ぎ足すと、用紙にしわがつくことがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使いきってから補給してください。 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」

6.5 その他

6.5.1 ネットワーク関連のトラブル

症状	チェック項目	対処方法
IP アドレスが、本機の電源を入れるたびに変わってしまう	本機の IP アドレスを DHCP サーバーから取得するように設定されていませんか。	固定の IP アドレスを割り当てる場合は、操作パネルを使用して【5 ネットワーク】の【IP アドレスセットアップ】を【パネル】に設定し、割り当てる IP アドレスを【IP アドレス】で入力してください。 参照 •「5.3　メニュー画面項目の説明」 •「1.2.2　IP アドレスを設定する」
CentreWare Internet Services に接続できない	本機の電源が切れていませんか。	電源スイッチの［Ⅰ］側を押して電源を入れてください。 参照 「3.2.1　電源を入れる」
	ネットワークケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	本機の電源を切り、ネットワークケーブルを差し込み直してください。 参照 『セットアップガイド』
	本機の URL は、正しく入力されていますか。	本機の URL をもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IP アドレスを使用して接続してください。

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) CentreWare Internet Services に接続できない	IP アドレスは正しく入力されていますか。	IP アドレスが変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。 現在本機に設定されている IP アドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」 •「1.2.2　IP アドレスを設定する」
	プロキシサーバーを使用していますか。	プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 WWW ブラウザーの設定で、プロキシサーバーを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。 参照 『ネットワークガイド　WWW ブラウザーの設定』
	ポート番号を正しく指定していますか。	工場出荷時のポート番号は、[80] です。正しいポート番号を指定してください。
CentreWare Internet Services が正しく動作しない	ー	CentreWare Internet Servicesが正しく動作しない場合は、『ネットワークガイド』を参照して対処してください。 参照 『ネットワークガイド　CentreWare Internet Services 使用時のトラブル』
CentreWare Internet Services で [更新] ボタンを選択すると、「ページが見つかりません」というメッセージが表示される	各項目の値は正しいですか。	画面上のテキストボックスに無効な値を入力した状態で、[更新] ボタンを選択しています。 正しい値を入力してください。

症状	チェック項目	対処方法
電子メールで状態を確認できない / E メールプリントができない	SMTP/POP3のStatus MessengerまたはE メールプリントは、起動していますか。	操作パネル、またはCentreWare Internet Services を使って、【Status Messenger】または【E メールプリント】プロトコルを起動してください。
	POP/SMTP サーバーの IP アドレスが、正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP ユーザー名およびパスワードが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POPサーバーがAPOPに対応していますか。	POP サーバーが APOP に対応しているかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。
	受信許可メールアドレスを設定していませんか。	自分のメールアドレスが受信許可メールアドレスに含まれているかどうかを確認してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	メール本文に記述したコマンドは正しいですか。	正しいコマンドを入力してください。
	#Password コマンドを先頭に記述していますか。	#Password コマンドは、メールの本文の先頭に記述する必要があります。
	読み取り / フルアクセス / プリントパスワードは正しいですか。	正しいパスワードを入力してください。
	POP/SMTP サーバーは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。
E メールプリントで本文、添付のテキストファイルが印刷されない	操作パネルの【1 システムセッテイ】の【テキストインサツ】で【スル】に設定していますか。	操作パネルで正しく設定してください。 参照 「3.12 E メールプリントをする」
E メールプリントで添付のPDFファイルが印刷されない	添付ファイルのContent-Typeがtext/xxx、Message/xxx 以外になっていますか。	お使いのメールソフトで、使用する PDF ファイルのタイプを text/xxx、Message/xxx 以外（application/pdf）に指定してください。Content-Type は、送信したメールのソースを表示すると、表示されます。 詳細は、お使いのメールソフトの説明書を参照してください。

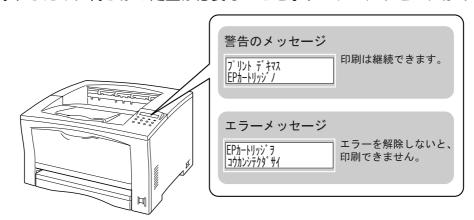
症状	チェック項目	対処方法
電子メールでエラーが通知されない	SMTP/POP3 の Status Messenger は、起動していますか。	操作パネル、またはCentreWare Internet Services を使って、【Status Messenger】プロトコルを起動してください。
	POP/SMTP サーバーの IP アドレスが、正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP アカウントおよびパスワードが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POPサーバーがAPOPに対応していますか。	POP サーバーが APOP に対応しているかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。	CentreWare Internet Services で、メールで通知したい項目をチェックしてください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Services で、正しい送信先を指定してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP/SMTP サーバーは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。

6.5.2 その他のトラブル

症状	チェック項目	対処方法
指定した用紙カセットから給紙されない	使用しているアプリケーション側の設定が、プリンタードライバーの設定よりも優先された可能性があります。	アプリケーション側の給紙トレイの設定を、プリンタードライバーの設定と合わせてください。
印刷速度が遅い	節電モード移行時間が短くありませんか。	節電モード状態中に印刷を指示すると、印刷を開始するまでの時間がかかります。操作パネルを使用して、節電モードに移行する時間を長く設定してください。 参照 「5.2.3 基本的な操作方法（操作例：節電モード移行の設定を変更する）」
異常な音がする	本機は、水平な場所に設置していますか。	本機を安定した平面の上に移動してください。 参照 「8.4.1 プリンターを持ち運ぶときの注意」
	用紙カセットが外れていませんか。	用紙カセットを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機の内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	本機の電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	トップカバーは、完全に閉じていますか。	トップカバーを閉じ直してください。
違うサイズの用紙に印刷される	カセットフィーダーのサイズ設定ダイヤルが、セットしている用紙のサイズと向きに合っていません。	カセットフィーダーのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせてください。 参照 「4.2 用紙カセットに用紙をセットする」
用紙カセットを出し入れできない	印刷中に、トップカバーを開けたり、本機の電源を切ったりすると、起こることがあります。	本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。 無理に用紙カセットを出し入れしないでください。

症状	チェック項目	対処方法
文字化けする	**本機専用のプリンタードライバーを使用していますか。**	**コンピューターの OS に合った、本機専用のプリンタードライバーをインストールしてください。** 参照 「第 2 章　プリンタードライバーのインストール」
	TrueType フォントの印刷方法は、正しく設定されていますか。	**プリンタードライバーの [フォント] タブで、設定を確認してください。**
文字がグレーに印刷される	**アプリケーション上で、文字がカラーに設定されていませんか。**	**アプリケーション上で、文字の設定を黒色にしてください。** 参照 『ネットワークガイド　7.5　CentreWare Internet Services 使用時のトラブル』
	プリンタードライバーでトナーセーブ機能を設定していませんか。	**プリンタードライバーの [グラフィックス] タブで、設定を確認してください。**
節電モードに移行しない	**コンピューターの起動と同時に、CentreWare Simple Status Notification が起動するように設定していませんか。**	**CentreWare SSN の、本機にアクセスする時間設定と、節電モードに移行する時間設定を確認してください。** 参照 「5.2.3　基本的な操作方法（操作例：節電モード移行の設定を変更する）」 『ネットワークガイド』
節電モード 2 に移行しない	**操作パネルで節電モード 2 への移行を【ムコウ】に設定していませんか。**	**操作パネルを使用して、節電モード 2 への移行を【ユウコウ】に設定してください。** 補足 オプション品のネットワーク拡張カードを取りつけている場合は、節電モード（モード 2）は無効です。

6.6 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには

操作パネルのディスプレイに表示されるエラーメッセージの意味と、メッセージが表示されたときの対処方法を説明します。
エラーメッセージには、印刷はできるが注意が必要なことを示す警告メッセージと、エラー状態を解除するために何らかの処置が必要なことを示すエラーメッセージがあります。

エラーメッセージが表示された場合は、次の中から該当するメッセージを探し、適切な処置をしてください。
次のメッセージは、五十音順になっています。

補足
- 「**」、「N」は、数字を表します。
- 「xxxx」は、用紙サイズ、または用紙サイズと向きを表します。

メッセージ	意味と対処方法
- ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｲﾁﾄﾞ ｷｯﾃｸﾀﾞｻｲ	**本機が正常に作動できません。** **【対処】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、表示内容を書き留めたうえで電源を切り、お買い上げの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**
EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞﾉｵｸﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**EP カートリッジの奥で、用紙が詰まりました。** **【対処】 トップカバーを開いて、EP カートリッジを取り出し、詰まった用紙を取り除いてください。** 参照 「7.1.4 EP カートリッジ付近に詰まった用紙を取り除く」
EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**EP カートリッジの交換時期です。** **【対処】 EP カートリッジを交換してください。** 参照 「8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

メッセージ	意味と対処方法
EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	EP カートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。 【対処】 EP カートリッジを、本機の奥に当たるまでしっかり差し込んでください。 参照 「8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
LZW ﾊ ﾀｲｵｳｼﾃｲﾏｾﾝ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルに LZW 圧縮を使用したオブジェクトが含まれています。コンテンツブリッジ拡張キット（オプション）が装着されていない場合は、印刷できません。 【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ｲﾝｻﾂｷﾝｼﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷が許可されていない PDF ファイルは、印刷できません。 【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ｴﾗｰﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルをダイレクトプリント機能を使用して印刷しているときに、エラーが発生しました。 【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｴﾗｰﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルのパスワードとプリンターに設定されているパスワードが一致しません。 【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消します。操作パネルで正しいパスワードを設定し直してから、印刷し直してください。 参照 「5.3.6 PDF Bridge」
ｺﾉ EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊ ﾂｶｴﾏｾﾝ ID ｴﾗｰ	EP カートリッジが不良です。 【対処】 EP カートリッジを交換してください。 参照 「8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」
ｺﾉ EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊ ﾂｶｴﾏｾﾝ ﾗｲﾄｴﾗｰ	EP カートリッジが不良です。 【対処】 EP カートリッジを交換してください。 参照 「8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

メッセージ	意味と対処方法
ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲｶﾞ ｷｴﾏｼﾀ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**NV メモリーに書き込まれているシステム設定が壊れました。** **【対処】 次の手順で、NV メモリーを初期化してください。** **① [排出 / セット] ボタンを押します。** **②【ショキカシマスカ？】と表示されたら、[←]、[→] ボタンで [ハイ] を選択します。** **③ [排出 / セット] ボタンを押します。** **NV メモリーを初期化すると、本機の設定が消える場合があります。プリンター設定リストやパネル設定リストを印刷して、設定内容を確認してください。** 参照 「3.10.1　プリンター設定リストを印刷する」 「5.3　メニュー画面項目の説明」
ﾃｲﾁｬｸﾌﾞ ﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**定着部で用紙が詰まりました。** **【対処】 トップカバーを開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「7.1.3　定着ユニット付近に詰まった用紙を取り除く」 トップカバー 定着部
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲｵｸﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**手差しトレイの奥で用紙が詰まりました。** **【対処】 手差しトレイを開けて、詰まっている用紙を取り除き、トップカバーを開閉してください。** 参照 「7.1.2　手差しトレイ付近に詰まった用紙を取り除く」 トップカバー 手差しトレイ
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲ ﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**手差しトレイに用紙がセットされていません。** **【対処】 手差しトレイに、用紙をセットしてください。** 参照 「4.3　手差しトレイに用紙をセットする」

メッセージ	意味と対処方法
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**手差しトレイに xxxx の用紙がセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙がセットされています。** **【対処】 手差しトレイに xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。コンピューター側で正しく指定してから、印刷し直してください。** 参照 「4.3　手差しトレイに用紙をセットする」 「3.5.2　操作パネルで印刷を中止する」
ﾃﾞﾝｼｿｰﾄｶﾞﾃﾞｷﾏｾﾝ	**メモリー不足のため、電子ソートができません。** **【対処】 プリンタードライバーの [初期設定] タブで、電子ソートを [しない] に設定してください。**
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**トップカバーが開いています。** **【対処】 トップカバーを正しく閉じてください。** トップカバー
ﾄﾚｲ 1-N ﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**すべての用紙カセットに、用紙がありません。** **【対処】 各用紙カセットに用紙を補給してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」
ﾄﾚｲ N ｵｸﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**N 段めの用紙カセットの奥で、用紙が詰まりました。** **【対処】 N 段めの用紙カセットを引き出して、詰まっている用紙を取り除き、トップカバーを開閉してください。** 参照 「7.1.1　用紙カセット付近に詰まった用紙を取り除く」
ﾄﾚｲ N ﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**N 段めの用紙カセットに、用紙がありません。** **【対処】 N 段めの用紙カセットに、用紙を補給してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」

メッセージ	意味と対処方法
ﾄﾚｲ N ﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**N 段めの用紙カセットに xxxx の用紙がセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙がセットされています。** **【対処】 N 段めの用紙カセットに xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。** **コンピューター側で次の項目を確認し、正しく指定してから、印刷し直してください。** • 用紙トレイ選択の設定は正しいですか • 出力用紙サイズの設定は正しいですか 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」」 「3.5.2　操作パネルで印刷を中止する」
ﾄﾚｲ N ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**N 段めの用紙カセットが正しくセットされていません。** **【対処】 N 段めの用紙カセットを、本機の奥までしっかり押し込んでください。**
ﾄﾚｲﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**コンピューター側で指定した xxxx の用紙が、どの用紙カセットにもありません。** **【対処】 用紙カセットに xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側でサイズの指定を間違えた場合は、印刷を中止します。コンピューター側で、正しく指定してから、印刷し直してください。** 参照 「4.2　用紙カセットに用紙をセットする」 「3.5.2　操作パネルで印刷を中止する」
ﾄﾚｲｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**すべての用紙カセットが正しくセットされていません。** **【対処】 すべての用紙カセットを、本機の奥までしっかり押し込んでください。**
ﾌﾟﾘﾝﾄｼｼﾞﾊ ﾑｺｳﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**コンピューター側での設定に従って、印刷できませんでした。** **【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消します。プリンタードライバーで設定を確認してから、印刷し直してください。**
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾉｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	**警告メッセージです。EP カートリッジのトナーが残り少なくなりました。** **交換時期になったら対処できるように、新しい EP カートリッジを準備してください。** 参照 「8.1　EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

困ったときには
6

メッセージ	意味と対処方法
ﾒﾓﾘｰﾌﾞｿｸﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**本機が正常に作動するために必要なメモリーが不足しています。** **【対処】 [排出 / セット] ボタンを押して、印刷を取り消します。増設 RAM モジュールの追加をお勧めします。** 参照 「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」 **増設 RAM モジュールが追加できない場合、次のように設定すると印刷できることがあります。ただし、解像度は低下します。** • プリンタードライバーの[グラフィックス]タブで、[おすすめ画質タイプ] を [速度優先] に設定する
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**両面印刷モジュールの上カバー、または下カバーが開いています。** **【対処】 両面印刷モジュールの上カバー、または下カバーを、正しく閉じてください。** トップカバー 上カバー 下カバー
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**両面印刷モジュールで用紙が詰まりました。** **【対処】 両面印刷モジュールのカバーを開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。詰まっている用紙を取り除いても、メッセージが表示される場合は、トップカバーを開閉してください。** 参照 「7.1.5　両面印刷モジュールに詰まった用紙を取り除く」

6.7 操作パネルの［エラー］ランプが点灯、または点滅したときは

操作パネルの［エラー］ランプは、赤色で本機の異常を表します。本機の使用時に［エラー］ランプが点灯、または点滅した場合は、次を参考にして、適切な処置をしてください。

6.7.1 ［エラー］ランプが点灯している場合

［エラー］ランプが点灯している場合は、紙づまりなど、お客様自身で対処できるエラーが発生しています。ディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、適切な処置をしてください。

参照

エラーメッセージの意味と対処方法は、「6.6　操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照してください。

6.7.2 ［エラー］ランプが点滅している場合

［エラー］ランプが点滅している場合は、お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、本機の電源を切り、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

補足

連絡先は、本機に貼られている保守サポートのお問い合わせ先シールに記載しています。

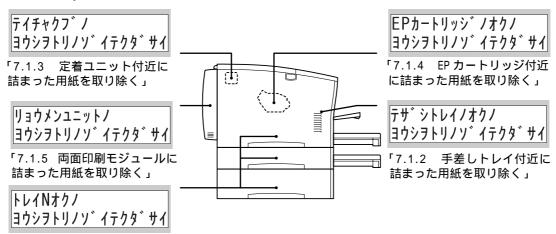
用紙が詰まったときには

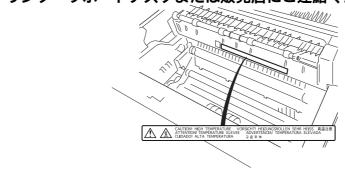
7.1 用紙が詰まったときには

印刷中に用紙が詰まると、本機はエラーメッセージを表示して停止します。すぐに用紙を取り除いてください。

操作パネルのメッセージを確認し、次のページを参照して、対処してください

補足

下の図は、オプション品のカセットフィーダー2段、両面印刷モジュールを取り付けた場合です。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

補足

紙づまりは、本機の設置環境や用紙が原因になっている場合があります。本機は、適切な場所に設置してください。

参照

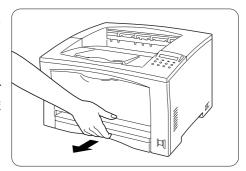
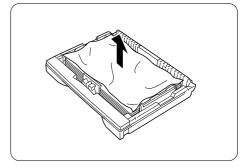
用紙は、「4.1　使用できる用紙と使用できない用紙」を参照して、適切なものを使用してください。

7.1.1　用紙カセット付近に詰まった用紙を取り除く

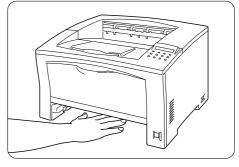
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

1　用紙カセットを本機から引き抜きます。

補足

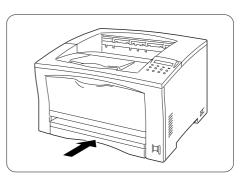
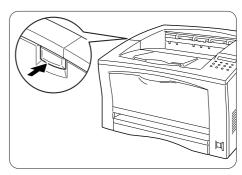
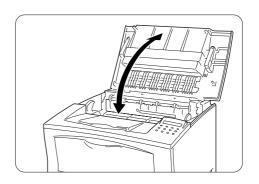
オプション品のカセットフィーダーを取り付けている場合は、すべての用紙カセットを引き抜きます。

2　用紙カセットの中を点検し、シワになっている用紙があれば、取り除きます。

3　カセットフィーダーの奥を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。

補足

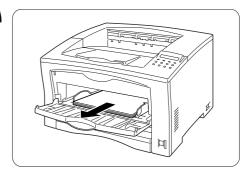
オプション品のカセットフィーダーを取り付けている場合は、すべてのカセットフィーダーの奥を点検してください。

4　用紙カセットを、本機の奥に突き当たるまで押し込みます。

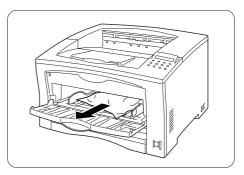
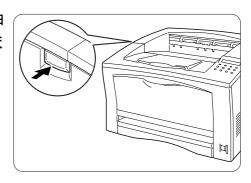
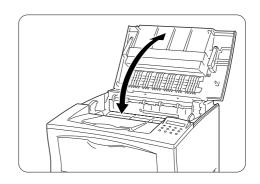
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

補足

オプション品のカセットフィーダーを取り付けている場合は、すべてのカセットフィーダーに用紙カセットをセットします。

5 **本機の左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。**

6 **トップカバーを開閉します。**

7.1.2 手差しトレイ付近に詰まった用紙を取り除く

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

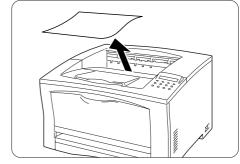
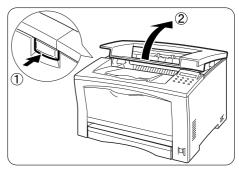
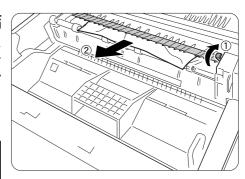
1 **手差しトレイを開き、セットされている用紙を取り出します。**

2 **手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。**

用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 本機の左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。

4 トップカバーを開閉します。

7.1.3 定着ユニット付近に詰まった用紙を取り除く

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

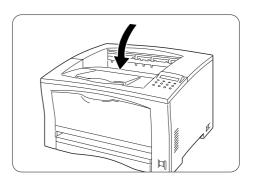
1 排出トレイに用紙がある場合は、取り除きます。

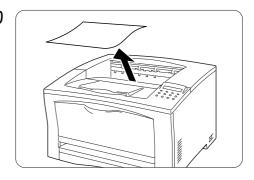
2 本機の左側面のリリースボタンを押し（①）、トップカバーを開きます(②)。

注記

本機内部の部品には、手を触れないでください。

3 定着ユニットのカバーを開き（①）、詰まっている用紙があれば、取り除きます（②）。用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

> ⚠注意
> **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**
> **なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

補足
続いてEPカートリッジ付近の紙づまりを処置する場合は、このまま「7.1.4　EP カートリッジ付近に詰まった用紙を取り除く」の操作を行ってください。

4 トップカバーを閉じます。

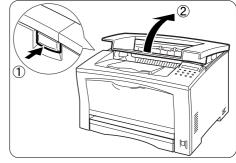
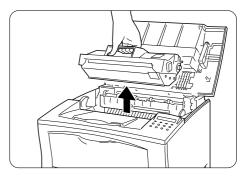
トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

7.1.4 EP カートリッジ付近に詰まった用紙を取り除く

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

1 **排出トレイに用紙がある場合は、取り除きます。**

2 **本機の左側面のリリースボタンを押し（ ① ）、トップカバーを開きます（ ② ）。**

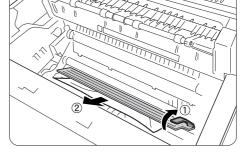
本機内部の部品には、手を触れないでください。

3 **EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。**

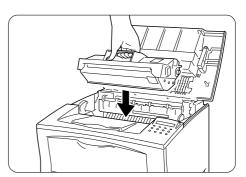
補足

トナーで床などを汚さないように、取り出した EP カートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

4 EP カートリッジを抜き出した奥のレバーを上げて（①）、詰まっている用紙があれば、取り除きます（②）。

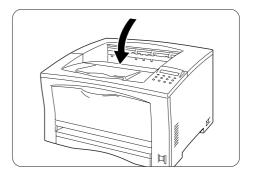
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

補足

レバー（①）は、トナーで汚れていることがあります。トナーは人体に無害ですが、トナーが手についたときは、すぐに洗ってください。

5 EP カートリッジの取っ手を持ち、本機内部の溝に挿入します。

注記

- 本機内部の部品には、手を触れないでください。
- EP　カートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

6 トップカバーを閉じます。

トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

7.1.5　両面印刷モジュールに詰まった用紙を取り除く

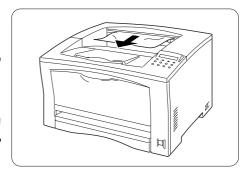
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

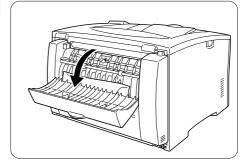
排出口付近に詰まった用紙を取り除く

1　用紙の排出口を点検し、詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

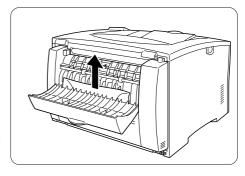
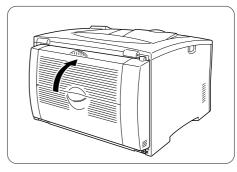
補足

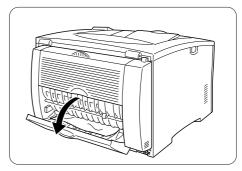
用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「上カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作も行ってください。

上カバー内部に詰まった用紙を取り除く

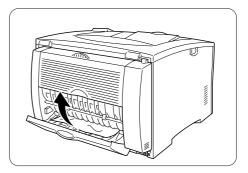
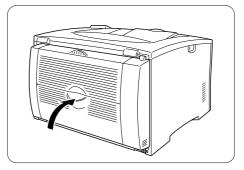
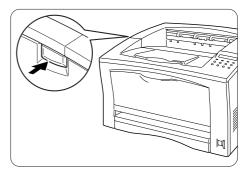
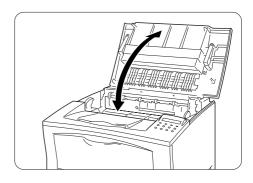
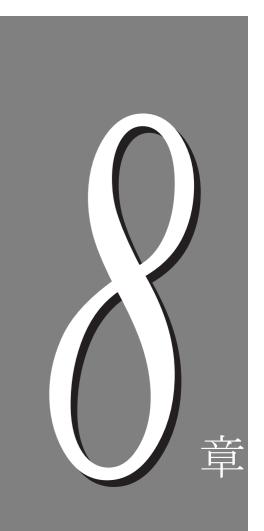
1　両面印刷モジュールの上カバーを開きます。

2　上カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。

用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

補足

用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「下カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作も行ってください。

3 **両面印刷モジュールの上カバーを閉じます。**

下カバー内部に詰まった用紙を取り除く

1 **両面印刷モジュールの下カバーを開きます。**

2 **下カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。**

用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 **両面印刷モジュールの下カバーを閉じます。**

4 **操作パネルのメッセージが【プリントデキマス】に戻らない場合は、本機の左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。**

5 **トップカバーを開閉します。**

8
章

消耗品の交換と日常の
取り扱い

8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換

EP カートリッジは、トナーと感光体（ドラム）が一体化したものです。EP カートリッジは消耗品で、トナーが残り少なくなると操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス EP カートリッジノコウカンジキデス】とメッセージが表示されます。

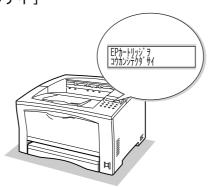
8.1.1 EP カートリッジの交換時期

工場出荷時は、トナーが残り少なくなって【プリントデキマス　EP カートリッジノコウカンジキデス】とメッセージが表示されても印刷が続行され、EP カートリッジのトナーを使い切るように設定されています。EP カートリッジのトナーが不足すると、印字が薄くなったり、白抜けが発生したりします。交換時期がきたら、新しい EP カートリッジと交換してください。

補足

【プリントデキマス　EP カートリッジノコウカンジキデス】と表示されたあとに印刷できる面数を設定すると、設定面数を印刷したあとは操作パネルのディスプレイに【EP カートリッジヲ　コウカンシテクダサイ】と表示され、新しい EP カートリッジと交換するまで印刷できなくなります。
新しい EP カートリッジと交換してください。

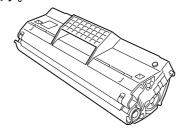
参照

「5.3.1　システムセッテイ」

EP カートリッジには、次の 2 種類が用意されています。

- **6Kpv**

  A4 サイズの用紙の片面に、約 6,000 枚（A4 サイズの用紙で印字比率 5%、濃度が初期設定値の場合）印刷できます。

- **10Kpv**

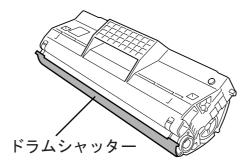
  A4 サイズの用紙の片面に、約 10,000 枚（A4 サイズの用紙で印字比率 5%、濃度が初期設定値の場合）印刷できます。

注記

弊社が推奨していない EP カートリッジを使用された場合、製品本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する EP カートリッジをご使用ください。

8.1.2　EP カートリッジの取り扱い上の注意

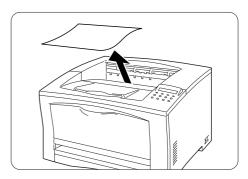
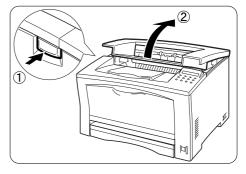
> ⚠注意
> **EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

取り扱い上の注意

- **直射日光や強い光の当たる場所を避けてください。室内の明かりの下でも、できるだけ 5 分以内で作業を終了してください。**
- **EP カートリッジ内の感光体（ドラム）は、光が当たらないようにドラムシャッターによって保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。**

- **感光体（ドラム）表面には、絶対に手を触れないでください。**
- **EP カートリッジを立てたり、裏返したりして置かないでください。**
- **トナーは人体に無害ですが、トナーが手や衣服についたときは、すぐに洗い落としてください。**

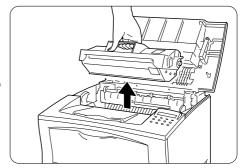
8.1.3　EP カートリッジを交換する

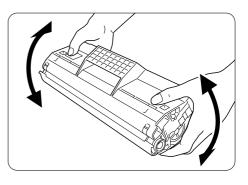
次の手順に従って、EP カートリッジを交換します。

1　排出トレイに用紙がある場合は、取り除きます。

2　本機の左側面のリリースボタンを押し（①）、トップカバーを開きます（②）。

注記
本機内部の部品には、手を触れないでください。

3　EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

補足
トナーで床などを汚さないように、取り出した EP カートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

4　新しい EP カートリッジを梱包から取り出し、図のように、上下に 7 ～ 8 回振ります。

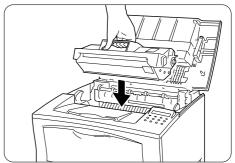
注記
- トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと、起動時に異常音や EP カートリッジ内部の破損が発生することがあります。
- 感光体（ドラム）表面には、絶対に手を触れないでください。

5 EP カートリッジを平らな場所に置き、トナーシールを引き抜きます。

注記

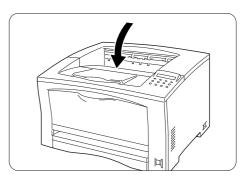
- トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、EP カートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

6 EP カートリッジの取っ手を持ち、本機内部の溝に挿入します。

注記

- 本機内部の部品には、手を触れないでください。
- EP カートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

7 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

8 取り出した EP カートリッジを、交換時に空になった袋と梱包箱に入れます

EP カートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

> ⚠注意
>
> **EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

8.2 清掃について

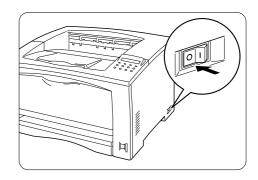
本機を良好な状態に保ち、きれいな印刷ができるように、約1か月に1回、清掃してください。

> ⚠注意
> **機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

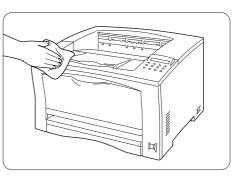
清掃時の注意

- **洗剤を直接本機に向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。**
- **本機内部の部品には、絶対に注油しないでください。本機には注油の必要はありません。**

プリンター外部の清掃

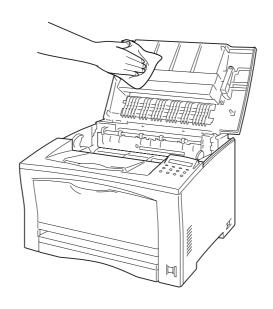
1 **本機の電源スイッチを切ります。**

2 **外部の汚れは、水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふきます。**

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

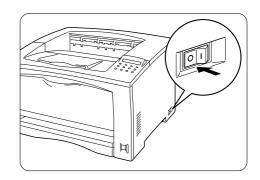
3 **そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。**

プリンター内部の清掃

紙づまりの処置や EP カートリッジの交換のあとは、トップカバーを閉める前に内部の点検を行ってください。

> ⚠注意
> **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**
> **なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

- **紙片が残っている場合は、取り除きます。**
- **ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。**

8.3 長期間使用しないときは

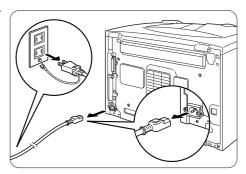
本機を長期間使用しないときは、最後に使用したあと、必ず次の作業を行ってください。

1 本機の電源スイッチを切ります。

2 電源コード、インターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。

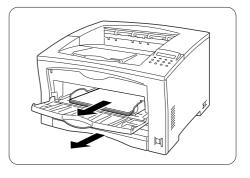
⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 手差しトレイ、用紙カセットから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。

参照

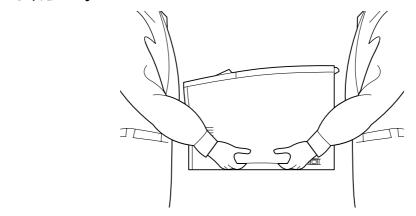
用紙の保管については、「4.1.4　用紙の保管方法」を参照してください。

8.4 プリンターを移動するときは

本機をトラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴う場合の移動手順について説明します。

8.4.1 プリンターを持ち運ぶときの注意

必ず 2 人以上で持ち運んでください

⚠注意

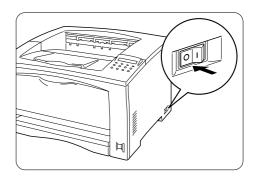
- 機械の重さは、21.4kg（本体、用紙カセット（A3/250 枚）、EP カートリッジ含む）です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。
- 機械を持ち上げるときは、2 人で機械正面（操作パネル側）および背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。
- 機械を下ろすとき、手を挟むおそれがあります。
- 機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

8.4.2　プリンターを移動する

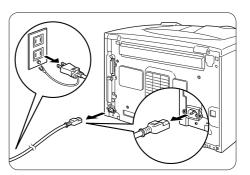
次の手順に従って、本機を梱包してください。

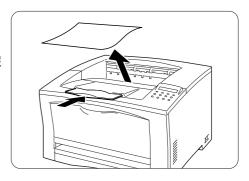
注記
オプション品のカセットフィーダー、両面印刷モジュールを取り付けている場合は、本機から取り外して運搬してください。本機にしっかり固定されていない場合、落下によるケガの原因になります。

補足
設置時に保管しておいた箱を準備してから、作業してください。

参照
移動する場合の取り外し、取り付けは、『セットアップガイド』を参照してください。

1　本機の電源スイッチを切ります。

2　電源コード、およびパラレルケーブルなど、すべての接続コードを外します。

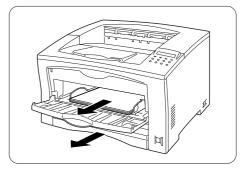
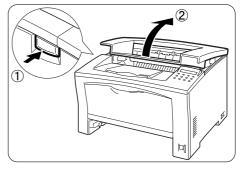
⚠警告
電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
⚠注意
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 排出トレイに用紙がある場合は、取り除きます。

排出延長トレイが引き出されている場合は、元に戻します。

4 用紙カセット、手差しトレイから用紙を取り出します。

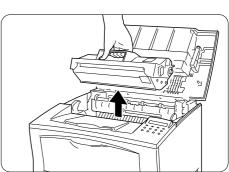
参照

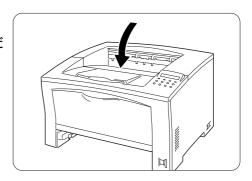
用紙の保管については、「4.1.4　用紙の保管方法」を参照してください。

5 本機の左側面のリリースボタンを押し（①）、トップカバーを開きます（②）。

注記

本機内部の部品には、手を触れないでください。

6 EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

注記

- EP カートリッジは、必ず取り出してください。EP カートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーで本機内部が汚れることがあります。
- 取り出した EP カートリッジを振らないでください。トナーがこぼれます。
- 取り出したEPカートリッジは、強い光に当たらないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

7 トップカバーを閉じます。

トップカバーの中央を押して、カバーを閉じてください。

8 本機を傷つけないように梱包し、運搬してください。

⚠注意

- **プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。**
- **機械を持ち上げるときは、2 人で機械正面（操作パネル側）および背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。機械を下ろすとき、手を挟むおそれがあります。**

参照

移動先の本機の設置場所は、『セットアップガイド』を参照して決めてください。

付　録

A オプション品と消耗品の紹介

本機では、次のようなオプション品と消耗品を用意しています。商品のご注文は、本機を購入した販売店にご連絡ください。

A.1 オプション品

増設 RAM モジュール (128/MB)< 商品コード：EL300066>
増設 RAM モジュール (256/MB)< 商品コード：EC100141>

増設 RAM モジュールを取り付けると、電子ソート機能や長尺サイズの用紙を使用できます。

補足
電子ソート機能とは、複数部数の文書を 1 部ごとにソートをして高速で印刷する機能です。

本機に取り付けられる増設RAMモジュールの仕様は次のとおりです。

- **144 ピン SO-DIMM**

参照
取り付け方については、『セットアップガイド』を参照してください。

カセットフィーダー（A3/250 枚）< 商品コード：EL300053>
カセットフィーダー（A4/500 枚）< 商品コード：EL300052>

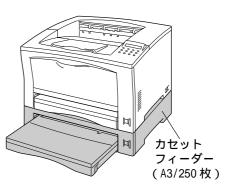
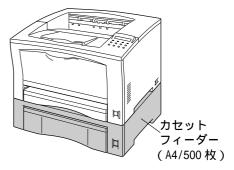
カセットフィーダーには、次の 2 種類があります。オプション品のカセットフィーダーは、2 段まで追加できます。

参照
取り付け方法については、『セットアップガイド』を参照してください。

■カセットフィーダー（A3/250 枚）

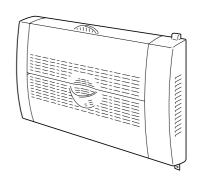
本機に取り付けて、用紙カセット（A3/250 枚）をセットして使用します。A5 〜 A3 サイズまでの普通紙を 250 枚までセットできます。

■カセットフィーダー（A4/500 枚）

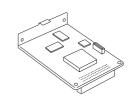
本機に取り付けて、用紙カセット（A4/500 枚）をセットして使用します。A4 サイズの普通紙を 500 枚までセットできます。

両面印刷モジュール <商品コード：EL300055>

両面印刷モジュールを取り付けると、複数ページの文書を用紙の両面に印刷できます。また、プリンタードライバーで設定すると、小冊子を作成できます。

参照

取り付け方法については、『セットアップガイド』を参照してください。

ネットワーク拡張カード <商品コード：EL300164>

本機にはTCP/IPに対応したネットワーク機能があります。NetWareやSMBのネットワーク環境でも印刷できるようにするためには、ネットワーク拡張カードを本機に取り付けます。

参照

取り付け方法については、『セットアップガイド』を参照してください。また、本機のネットワーク環境の設定方法については、「1.2　使用環境を設定する」または『ネットワークガイド』を参照してください。

コンテンツブリッジ拡張キット <商品コード：EL300145>

コンテンツブリッジ拡張キットを取り付けることによって、PDFダイレクトプリント時に、LZW圧縮を使用したオブジェクトを含むPDFファイルの出力と、プロポーショナルフォントを使用した出力が可能になります。

注記

コンテンツブリッジ拡張キットを正しく動作させるために、オプションの増設RAMモジュールを必ず取り付けてください。

参照

取り付け方法については、『コンテンツブリッジ拡張キット設置手順書』を参照してください。

パラレルケーブル

次のパラレルケーブルを、オプション品として用意しています。コンピューターに合ったものを使用してください。

■パラレルインターフェイスケーブル（PC/AT用）フルピッチ
<商品コード：E3200011>

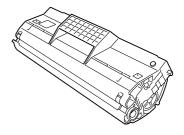
■パラレルインターフェイスケーブル（PC98用）フルピッチ36P
<商品コード：VD14>

■パラレルインターフェイスケーブル（PC98用）ハーフピッチ36P
<商品コード：YH57>

付録

A.2 消耗品

EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）

EP カートリッジは、感光体（ドラム）とトナーが一体化したものです。EP カートリッジのトナーが不足すると、印字が薄くなったり、かすれたりします。交換時期がきたら、新しいEPカートリッジと交換してください。

注記

弊社が推奨していない EP カートリッジを使用された場合、製品本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する EP カートリッジをご使用ください。

参照

「8.1 EP カートリッジ（ドラム / トナーカートリッジ）の交換」

EP カートリッジには、次の 2 種類があります。

■EP カートリッジ（6K）< 商品コード：CT350035>

A4 サイズの用紙の片面に、約 6,000 枚（A4 サイズの用紙で印字比率 5%、濃度が初期設定値の場合）印刷できます。

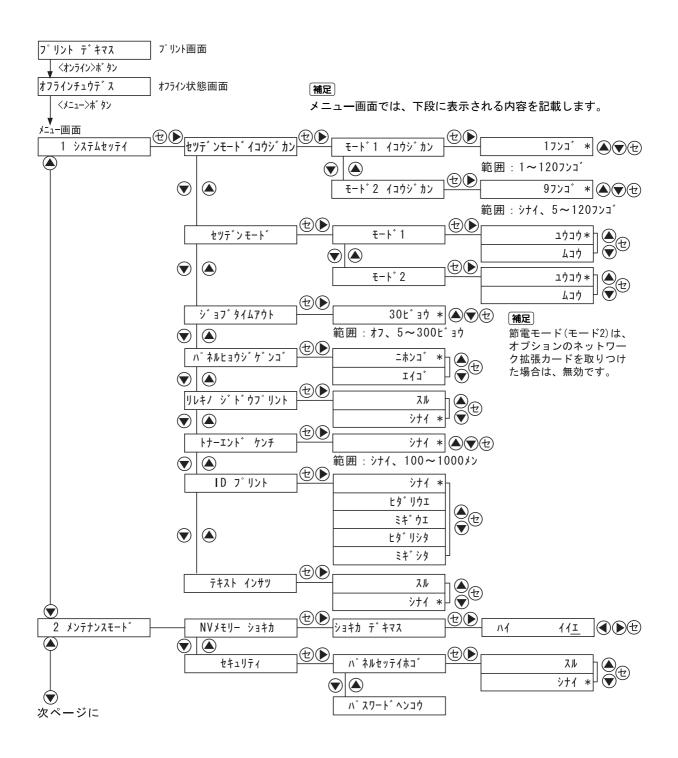
■EP カートリッジ（10K）< 商品コード：CT350036>

A4 サイズの用紙の片面に、約 10,000 枚（A4 サイズの用紙で印字比率 5%、濃度が初期設定値の場合）印刷できます。

補足

- 印刷できるページ数は、次の使用条件を満たした場合の値です。
  - ・用紙サイズ：A4 サイズ
  - ・印字比率：5%
  - ・一度に印刷する枚数：平均 4 枚 / 片面
- 実際に印刷できるページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なります。

付録

B 操作パネルメニュー一覧

・ 記号について

▲▼◀▶	[↑][↓][←] [→] ボタンを押します。	[↑][↓]ボタンは、同階層内でメニューや項目を切り替えます。[↑]ボタンを押すと1つ前、[↓]ボタンを押すと1つあとのメニューや項目が表示されます。 [←] [→] ボタンは、メニューの階層を切り替えたり、設定値のカーソル(_)を左右に移動したりします。 メニューで [→] ボタンを押すと1つ下の階層に移り、[←]ボタンを押すと1つ上の階層に戻ります。
㋝	[排出/セット]ボタンを押します。	1つ下の階層に移ります。または、設定を確定します(設定した値には「*」が付きます)。

・ [取消/中止]ボタンを押しても、1つ上の階層に戻ることができます。
・ メニュー画面を終了するには、[メニュー]ボタンを押します。
・ 「*」および「_」は、工場出荷時の設定値です。

付録

前ページから

- TCP/IP
  - IPｱﾄﾞﾚｽｾｯﾄｱｯﾌﾟ
    - DHCP *
    - ﾊﾟﾈﾙ
  - IPｱﾄﾞﾚｽ
    - 000.000.000.000*
    - 数値選択、カーソル移動
  - ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
    - 000.000.000.000*
    - 数値選択、カーソル移動
  - ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
    - 000.000.000.000*
    - 数値選択、カーソル移動
- IPXﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
  - ｼﾞﾄﾞｳ *
  - 802.3
  - 802.2
  - SNAP
  - Ethernet-Ⅱ
- ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
  - LPD
  - Port9100
  - IPP
  - SMB TCP/IP
  - SMB NetBEUI
  - NetWare
  - FTP
  - SNMP UDP/IP
  - SNMP IPX
  - Status Messenger
  - InternetServices
    - ｷﾄﾞｳ *
    - ﾃｲｼ

    FTP、Status Messengerは、ﾃｲｼ
- ｼﾞｭｼﾝｾｲｹﾞﾝ
  - ﾌｨﾙﾀ1 ｱﾄﾞﾚｽ
  - ﾌｨﾙﾀ1 ﾏｽｸ
  - ﾌｨﾙﾀ1 ﾓｰﾄﾞ
  - ﾌｨﾙﾀ2 ｱﾄﾞﾚｽ
  - ﾌｨﾙﾀ2 ﾏｽｸ
  - ﾌｨﾙﾀ2 ﾓｰﾄﾞ
  - ﾌｨﾙﾀ3 ｱﾄﾞﾚｽ
  - ﾌｨﾙﾀ3 ﾏｽｸ
  - ﾌｨﾙﾀ3 ﾓｰﾄﾞ
  - ﾌｨﾙﾀ4 ｱﾄﾞﾚｽ
  - ﾌｨﾙﾀ4 ﾏｽｸ
  - ﾌｨﾙﾀ4 ﾓｰﾄﾞ
  - ﾌｨﾙﾀ5 ｱﾄﾞﾚｽ
  - ﾌｨﾙﾀ5 ﾏｽｸ
  - ﾌｨﾙﾀ5 ﾓｰﾄﾞ

    ｱﾄﾞﾚｽ、ﾏｽｸ選択時
    - 000.000.000.000*
    - 数値選択、カーソル移動

    ﾓｰﾄﾞ選択時
    - ｼﾅｲ *
    - ｷｮﾋ
    - ｷｮｶ
- NVﾒﾓﾘｰ ｼｮｷｶ
  - ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｽ
    - ﾊｲ ｲｲｴ

補足

は、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けた場合だけ、表示されます。

付録

「5 ﾈｯﾄﾜｰｸ」から

- 6 PDF Gridge
  - ﾘｮｳﾒﾝ
    - ｼﾅｲ ＊
    - ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ
    - ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ
  - ﾌﾞｽｳ
    - 1ﾌﾞ ＊
    - 範囲：1〜999ﾌﾞ
  - ｿｰﾄ
    - ｵﾌ ＊
    - ｵﾝ
  - ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
  - ﾚｲｱｳﾄ
    - ｼﾞﾄﾞｳﾊﾞｲﾘﾂ ＊
    - 100%(ﾄｳﾊﾞｲ)
    - ｶﾀﾛｸﾞ
    - 2ｱｯﾌﾟ
    - 4ｱｯﾌﾟ
  - ﾖｳｼｻｲｽﾞ
    - A4 ＊
    - ｼﾞﾄﾞｳ
  - ﾖｳｼｼｭﾙｲ
    - ﾌﾂｳｼ ＊
    - OHPﾌｨﾙﾑ
    - ｱﾂｶﾞﾐ
  - ｲﾝｻﾂﾓｰﾄﾞ
    - ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ＊
    - ｺｳｶﾞｼﾂ
    - ｺｳｿｸ

「1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ」に

C 製品情報の入手方法

インターネットのホームページでは、次の情報を提供しています。

- **製品の最新情報**
- **最新ソフトウェア （インターネットホームページだけ）**
- **推奨アプリケーション**
- **アプリケーションの制限事項**

URL
http://www.fujixerox.co.jp/

注記
通信費用はお客様の負担になります。ご了承ください。

商品紹介やサービス情報などを
紹介する富士ゼロックスのホームページ
（2002 年 4 月 10 日現在）

主な仕様

D.1　プリンターの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンター
プリント方式		レーザーゼログラフィ方式
プリント速度	DocuPrint 181	18 枚 / 分 (*1)
	DocuPrint 211	21 枚 / 分 (*1)
ウォームアップタイム		電源投入後、14 秒以内 (*2)（温度 22 ℃、湿度 55%RH の場合）
解像度		1200dots/25.4㎜ 、および 600dpi/25.4㎜（切り替え方式）
給紙方法		自動給紙方式
用紙サイズ	用紙カセット（A3/250 枚）	B5、A4、B4、A3、8.5 × 11"（レター）、8.5 × 14"（リーガル）
	用紙カセット（A4/500 枚）	A4
	手差しトレイ	A5、B5、A4、B4、A3、8.5 × 11"（レター）、8.5 × 14"（リーガル）、官製はがき、 ユーザー定義サイズ（幅：87 ～ 297㎜、長さ：100 ～ 900㎜）
用紙種類	用紙カセット	普通紙（60 ～ 90g/m^2）
	手差しトレイ	普通紙 / 厚紙（60 ～ 135g/m^2）、OHP フィルム（XEROX FILM < 枠なし >）、官製はがき、封筒 (*)、ラベル用紙 (*) (*) 封筒やラベル用紙については、紙質、サイズによって使用できないものがあります。
給紙容量（標準紙）	用紙カセット	標準 / オプションカセット（A3/ 250 枚） オプションカセット（A4/500 枚）
	手差しトレイ	150 枚
排出トレイ容量		250 枚
プリント言語（PDL）		XPL2
メモリー容量		標準：16Mbyte（オプション増設により最大 272Mbyte） オプション：128、256Mbyte 増設 RAM モジュール （メモリー用スロットは 1 スロット）
インターフェイス		双方向パラレル（IEEE1284 準拠） USB 1.1 Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T(TCP/IP) (*) (*) オプション品のネットワーク拡張カード増設により、対応プロトコルを追加可能
対応ホスト		IBM PC-AT、および互換機 NEC 社の PC-982x 以降の PC98 シリーズ機

(*1)　A4 サイズの同一原稿を横置きで、連続して印刷した場合。
(*2)　オプション品を取り付けた場合や、ネットワークに接続した場合は、数値が変わります。

項目		仕様
対応 OS		Windows® 95/Windows® 98/Windows® Me/ Windows NT® 4.0（Service Pack 4 以上）/Windows® 2000/ Windows® XP （USB 接続時は、Windows 98 Second Edition/Windows Me/ Windows 2000/Windows XP に対応。ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。）
搭載フォント	日本語（2 書体）	平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 （文字コード JIS X0208-1990 準拠）
	欧文（13 書体）	CS Triumvirate Regular、CS Triumvirate Bold、 CS Triumvirate Italic、CS Triumvirate Bold Italic、 CS Courier Medium、CS Courier Bold、CS Courier Oblique、 CS Courier Bold Oblique、CS Times Roman、CS Times Bold、 CS Times Italic、CS Times Bold Italic、CS Symbol
稼動音		稼動時：50db(A) 以下、待機時：32db(A) 以下
使用電源		100V ± 10%、50/60Hz ± 3Hz
消費電力 (*3)		最大：760W 以下 低電力モード時： 9W 以下（節電モード（モード 1）） 3.5W 以下（節電モード（モード 2））
機械の大きさ		大きさ：459(W) × 430(D)(*) × 310(H)mm (*) 用紙カセット未装着時、および用紙カセット縮小時
質量		質量：21.4kg（EP カートリッジ、用紙カセットを含む）
動作環境		温度 10 〜 32 ℃、湿度 15 〜 85%RH（結露のないこと） ただし、温度が 32 ℃のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH のときは温度は 28 ℃以下

(*3)
- 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
- 工場出荷時（オプション品なし）の数値です。

D.2 ネットワークの仕様

共通仕様

対応規格	Ethernet Ver.2.0 IEEE 802.3
ネットワークプロトコル	TCP/IP、SMB(*)、IPX/SPX(NetWare)(*)
インターフェイス	100BASE-TX、10BASE-T

TCP/IP 対応仕様

対応 OS	Windows® 95/Windows® 98/Windows® Me/Windows NT® 4.0/ Windows® 2000/Windows® XP
フレームタイプ	Ethernet_II(Ethernet II)
プリントプロトコル	LPD(LPR)、Port9100(Windows 95/Windows 98/Windows Me/ Windows 2000/Windows XP の場合に有効)、IPP(Windows Me/ Windows 2000/Windows XP の場合に有効)、SMTP/POP3
マネージメントプロトコル	http、SNMP、SMTP/POP3

SMB 対応仕様 (*)

対応 OS	Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP
プリントプロトコル	SMB(TCP/IP)、SMB(NetBEUI)(*) (*) Windows XP では、サポートされていません。

NetWare 対応仕様 (*)

ネットワーク OS	NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J/4.2J/5J
フレームタイプ	Ethernet_II(Ethernet II)、Ethernet_802.3(IEEE 802.3) Ethernet_802.2(IEEE 802.2)、 Ethernet_SNAP(IEEE 802.1 SNAP)
プリントプロトコル	プリントサーバーモード リモートプリンターモード
マネージメントプロトコル	SNMP

(*) オプション品のネットワーク拡張カードが必要です。

D.3 消耗品について

EP カートリッジの印刷可能ページ数

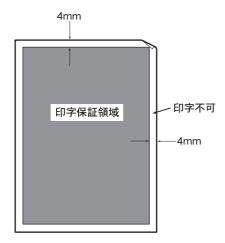
商品名	印刷可能ページ数
EP カートリッジ（6K）	6,000 枚
EP カートリッジ（10K）	10,000 枚

補足
- 印刷できるページ数は、次の使用条件を満たした場合の値です。
  - ・用紙サイズ：A4 サイズ
  - ・印字比率：5%
  - ・一度に印刷する枚数：平均 4 枚 / 片面
- 実際に印刷できるページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なります。

消耗品および部品の保有期間について

弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

D.4 印字保証領域について

本機の印字保障領域は、次のとおりです。

用紙の先端、後端、左端、右端から、それぞれ 4㎜ ずつをマージンとした、その内側が印字保証領域になります（ただし、長さが 509㎜ 以上の用紙は除く）。

E 注意 / 制限事項

本機を使用して印刷するうえでの、注意 / 制限事項について説明します。

項目	使用環境	説明
細線が正しく印刷されない、点線が実線で印刷される	Windows 95/Windows 98/ Windows Me	線幅を 0.25pt 以下に設定していると、起こることがあります。 プリンタードライバーのプロパティで、［グラフィックス］タブの［おすすめ画質タイプ］を［速度優先］以外に設定して印刷してください。正しく印刷されることがあります。
中抜き文字が印刷されない、文字化けが起こる	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Microsoft Word	プリンタードライバーのプロパティで、［グラフィックス］タブの［詳細設定］をクリックし、［イメージモードで印刷］をオンに設定して印刷してください。正しく印刷されることがあります。 補足 通常は、［イメージモードで印刷］はオフに設定してください。 Windows 98/Me の場合は、［フォント］タブで［常に TrueType フォントを使う］を選択して印刷する方法でも、正しく印刷されることがあります。
特定の文字が、文字化けして印刷される	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP	プリンタードライバーのプロパティで、［フォント］タブの［常に TrueType フォントを使う］を選択して印刷してください。正しく印刷されることがあります。
プリンタードライバーの［用紙 / 出力］タブで［ソートする［一部ごと］］をオンにしても、ソートされない	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP/ Microsoft Word 97/ Microsoft Word 2000/ Microsoft Powerpoint 97/ Microsoft Powerpoint 2000	アプリケーション側でソート機能を有効に設定して印刷してください。
SMB ホスト名を変更したあとプロパティを表示しようとすると、ネットワークパスが見つからないためプリンターのプロパティを表示できないというメッセージが表示され、プロパティが開けない	Windows NT 4.0 で SMB 環境で本機を使用	プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください。
プリンタードライバーを削除したのに、パソコンを再起動すると削除したプリンタードライバーが自動的にインストールされている	Windows 2000 でローカルプリンター（LPT）として本機を使用	プリンタードライバーを削除したあと、プリンターの電源を切り、パソコンを再起動してください。

項目	使用環境	説明
イメージが正しく印刷されない	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP	プリンタードライバーのプロパティで、[グラフィックス] タブの [詳細設定] をクリックし、[特定のアプリ向けに設定を変更] をオンに設定して印刷してください。正しく印刷されることがあります。 補足 通常は、[特定のアプリ向けに設定を変更] はオフに設定してください。
694mm を超える長さのユーザー定義サイズ（長尺）の用紙に印刷する場合に、高画質（写真）を選択すると、正常に表示、印刷できない	Windows 95/Windows 98/ Windows Me	プリンタードライバーのプロパティで、[グラフィックス] タブの [おすすめ画質タイプ] を [高画質（写真）] 以外に設定して印刷してください。正しく印刷されることがあります。
[快速印刷] を選択して印刷していたら、汚れが発生した	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP	快速印刷は、文書の 1 ページめを高速に印刷できますが、連続して使用すると汚れが発生することがあります。その場合には、プリンタードライバーのプロパティで、[初期設定] タブの [快速印刷] を [しない] に設定して印刷してください。
[おすすめ画質タイプ] で [高画質]、[高画質（写真）] を選択して印刷しても、きれいに印刷されない	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP/ Adobe Photoshop	プリンタードライバーのプロパティで、[グラフィックス] タブの [詳細設定] をクリックし、[特定のアプリ向けに設定を変更] をオンに設定して印刷してください。正しく印刷されることがあります。 補足 通常は、[特定のアプリ向けに設定を変更] はオフに設定してください。
IP アドレスに [256] 以上の数値が入力できますが、IP アドレスには、[255] 以下の数値を設定してください。	Windows 98	-
FTP での出力について	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP	FTP での出力は、PDF ダイレクトプリント機能を使用して印刷するときだけ可能です。
PDF ダイレクトプリント機能を使用する場合	Windows 95/Windows 98/ Windows Me/ Windows NT 4.0/ Windows 2000/Windows XP	PDF ダイレクトプリント機能を使用する場合は、増設メモリー（オプション）の追加が必要です。

F 用語解説

【10BASE-T】
IEEE802.3の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】
10BASE-Tの拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの１つです。通信速度が100Mbpsで、10BASE-Tの10Mbpsから大幅に高速になっています。

【Ack信号】
プリンターがコンピューターに対して、受信の準備ができていること、あるいはデータを正しく受信したことを表す信号です。

【Busy信号】
プリンターがコンピューターに対して、受信不可能な状態であることを示す信号です。

【CD-ROM】
コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウェアや画像などのデータを記録したものです。

【DHCP】
Dynamic Host Configuration Protocolの略で、DHCPサーバーからDHCPクライアントにIPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】
Domain Name Systemの略で、インターネットでホスト名からIPアドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】
Dot Per Inchの略で、1インチ（約25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【FTP】
File Transfer Protocolの略で、TCP/IP環境でファイルやデータを送受信するためのプロトコルです。

【HTTP】
インターネット上でWWWサーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【IPP】
HTTPを使用して印刷するためのプロトコルです。

【IPアドレス】
TCP/IPプロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた４つの数値（10進数）で表します。

【NetWare®】
Novell社が開発したネットワークOSです。

【NetWareファイルサーバー】
NetWareでネットワークを構築する場合に必要な専用のサーバーのことです。このサーバー上では、サーバーソフトウェアを、クライアントコンピューターではクライアント用ソフトウェアを組み込んで実行します。

【NVメモリー】
Non-Volatile Random Accessメモリーの略で、電源を切っても設定内容を保持できる不揮発のメモリーです。

【Nアップ】
複数ページ分を1枚の用紙に印刷する機能です。本機では、2、4、8、16アップ印刷ができます。

【OS】
コンピューターのハードウェアとソフトウェアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウェアで、Operating Systemの略です。アプリケーションソフトウェアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】
この説明書では、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウェアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示したり、印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】
Windows 2000/Windows XP上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。標準TCP/IP ポートモニタ上で使用できます。

【SDRAM】
従来よりも高速に、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリー）です。

【SMB】
Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 上で使用できます。

【SNMP】
ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。
管理する側には SNMP マネージャーというソフトウェアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウェアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】
DARPANET（Defense Advanced Research Project Agency NetWork)で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】
Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の1 つです。「ホットプラグ」機能に対応しているので、電源を入れたままでコンピューターと周辺機器を接続できます。

【Web 画面】
この説明書では、WWW ブラウザーを使用して情報を表示する画面のことを、「Web 画面」と呼びます。

【WINS】
Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】
World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】
ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。
また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウェア】
コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウェアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウェアが販売されています。

【アンインストール】
コンピューターに組み込んだソフトウェアを削除することをいいます。

【印刷キュー（プリントキュー)】
特定のプリンターに印刷するために、コンピューターから印刷データを一時的に格納しておく場所のことです。

【インストーラー】
ソフトウェアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウェアのことです。

【インストール】
ソフトウェアやハードウェアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウェアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワークカードをプリンターに組み込むことをいいます。
この説明書では、主にコンピューターにソフトウェアを組み込むことを「インストール」と呼び、プリンターにオプション品などのハードウェアを組み込むことを「取り付け」と呼びます。

【インターフェイス】
互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。
インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】
複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。
プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【オフライン】
【オンライン】
プリンターがコンピューターからデータを受信できる状態を「オンライン」、受信できない状態を「オフライン」といいます。印刷するときは、オンラインの状態になっている必要があります。逆に、操作パネルを使用してメニュー操作を行うときは、必ずオフラインの状態にします。
オンラインとオフラインの切り替えは、操作パネルのボタンで行います。

【オンラインヘルプ】
コンピューターの画面に表示される説明書です。

【解像度】
画像の細かさを表現する能力をいいます。通常、1インチの幅で何ドットが区別できるか（dpi）を数値で表します。この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）ことを示します。

【クライアント】
ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことを「サーバー」といい、そのサーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【クリック】
マウスボタンを1回、押して離すことです。
この説明書では、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。
また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】
ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。
逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【ジョブ】
コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】
2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】
複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1,2,3...1,2,3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウェア】
コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウェアもソフトウェアの一種です。

【ドライブ】
ディスクを駆動する装置のことです。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、ハードディスクドライブなどがあります。

【ネットワークパス】
ネットワーク上の目的のコンピューターやファイルまでの経路のことです。
サーバー名を指定する場合などに使用します。

【ネットワークプリンター】
この説明書では、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】
コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の 1 つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】
書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】
インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウェアです。代表的なものには、Netscape® Communicator や Internet Explorer などがあります。

【プラグアンドプレイ】
Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP で採用された、周辺機器をコンピューターに取り付けるだけで自動的に動作環境が設定され、すぐに周辺機器を使用できるようにする機能です。

【プリンタードライバー】
アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。

【プロトコル】
複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウェア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】
コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】
1m^2 の用紙 1 枚の質量です。

【リーガル】
14 × 8.5 インチ（約 356 × 216㎜）の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で契約書など法的文書で使用されています。

【レター】
11 × 8.5 インチ（約 279 × 216㎜）の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で社外内の文書に使用されています。

【ローカルプリンター】
この説明書では、パラレルケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】
コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索　引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

お問い合わせの前に

お問い合わせになる前に、次の項目について確認してください。

● DocuPrint 181/211 の本体機械番号（SERIAL NUMBER）
※ DocuPrint 181/211 の左側面にシールが添付されています。
SER # ____________________

● ご使用のコンピューターのメーカー名と機種（型）名
メーカー名 ____________________
機種名 ____________________

● ご使用の OS
____

● DocuPrint 181/211 プリンタードライバーのバージョン
____

● ネットワークカードのバージョン
____

● プリンターに増設しているメモリーの容量
____________________ MB

● コンピューターに増設しているメモリーの容量
____________________ MB

● ご使用のアプリケーションソフトウェア名、およびそのバージョン
アプリケーションソフトウェア名 ____________________
バージョン ____________________

● ご使用のケーブルのメーカー名と商品名
メーカー名 ____________________
商品名 ____________________

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

•マニュアルの名称	DocuPrint 181/211 取扱説明書	•管理番号	DE3100J1-2

•ご 芳 名		•貴 社 名	
•所属部門		•電話番号	[内線]
•所 在 地			

•ページ	•行	•内容へのご指摘 / ご要望

•富士ゼロックス記入欄		
•記事	•受付 NO.	•受付担当印

1 版

[折り込み線]

富士ゼロックス(株) 社内メール扱い

[送付先]

HID 開発部

マニュアルデザイン グループ (KSP) 行

担当社員

事業部 営業所 課 G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

富士ゼロックス株式会社

● この商品の**保守（修理）、操作**のお問い合わせ、および**消耗品**のご購入については、
商品に貼られている**保守サポートの問い合わせ先シール**のあて先にお問い合わせください。

商品に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX : 03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

● 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100 フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

● インターネットホームページで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

http://www.fujixerox.co.jp

この説明書の本文は再生紙を使用しております。

2002年10月　1版　　部番： 80P 8175　　帳票番号：DE3100J1-2